

## 地域コミュニティ協議会アンケート調査結果

### 1 調査の目的

地域コミュニティ協議会の現況を把握し、本市コミュニティビジョンに基づくこれまでの取組の検証及び今後のコミュニティ施策の方向性を検討する基礎資料とする。

### 2 調査内容

#### 【会長】

① 活動について	6問
② 構成団体について	7問
③ 行政支援について	3問
④ 協議会の課題について	4問
⑤ コーディネーターについて	2問
⑥ 協議会設立の評価について	1問
⑦ 協議会と町内会について	1問
	<hr/>
	計 24問

#### 【部会長】

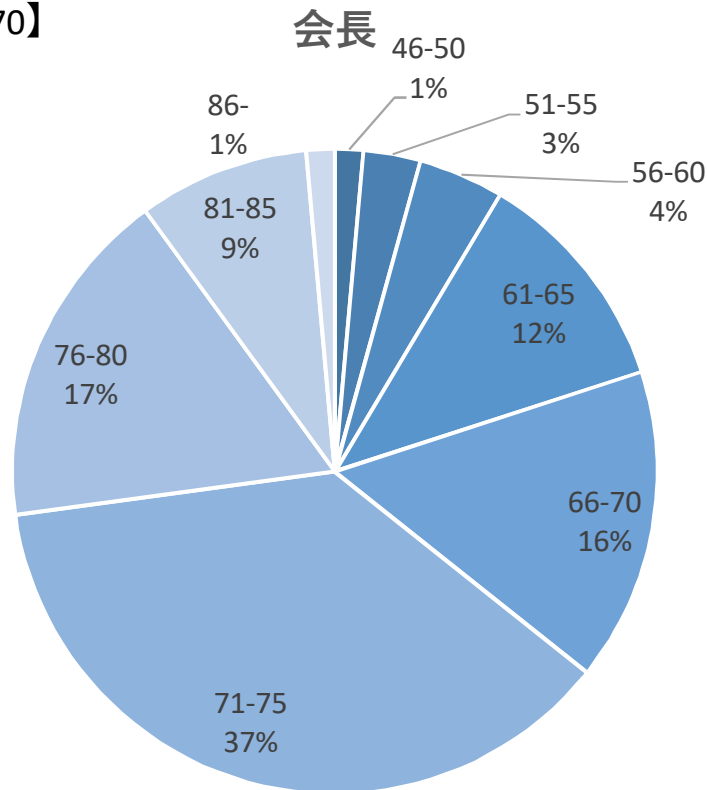
① 活動について	2問
② 構成団体について	4問
③ 協議会の課題について	1問
④ コーディネーターについて	1問
⑤ 協議会設立の評価について	1問
	<hr/>
	計 9問

### 3 調査の対象及び調査方法

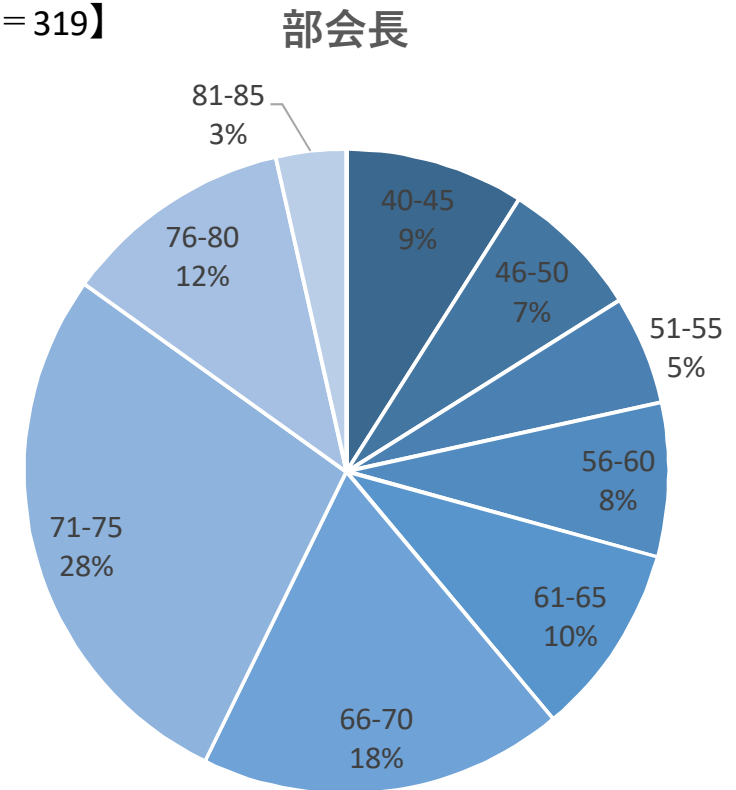
① 調査地域	市内全域	
② 調査対象者	79 協議会	
	【会長】	79人
	【部会長】	404人
③ 調査方法	郵送・メール・Webによる	
④ 調査期間	令和4年8月6日～8月26日	
⑤ 回収数	【会長】 70人	回収率 88.6% (Web回答率：31.4%)
	【部会長】 319人	回収率 79.0% (Web回答率：43.3%)

# 会長・部会長の年齢分布

【N = 70】



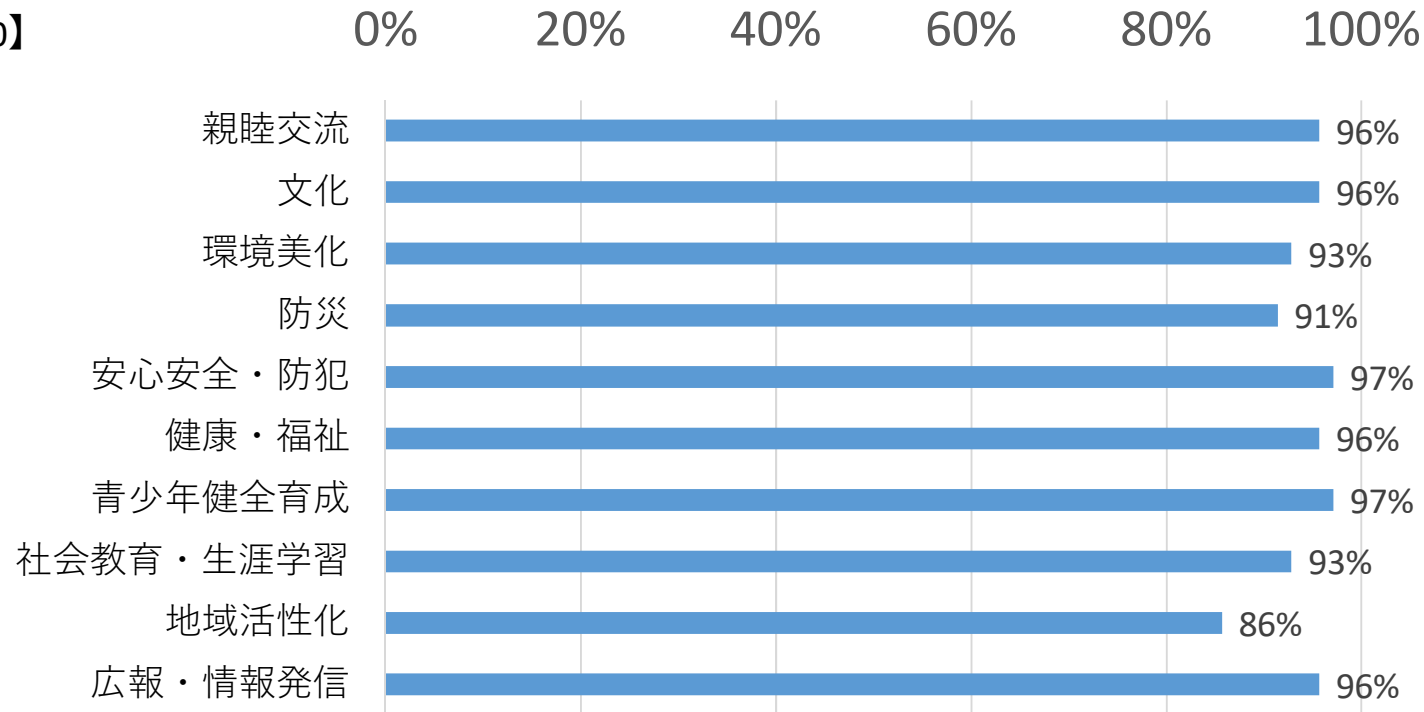
【N = 319】



65歳以下の会長は2割、部会長は4割となっており、会長・部会長ともに66歳以上が中心となっている。

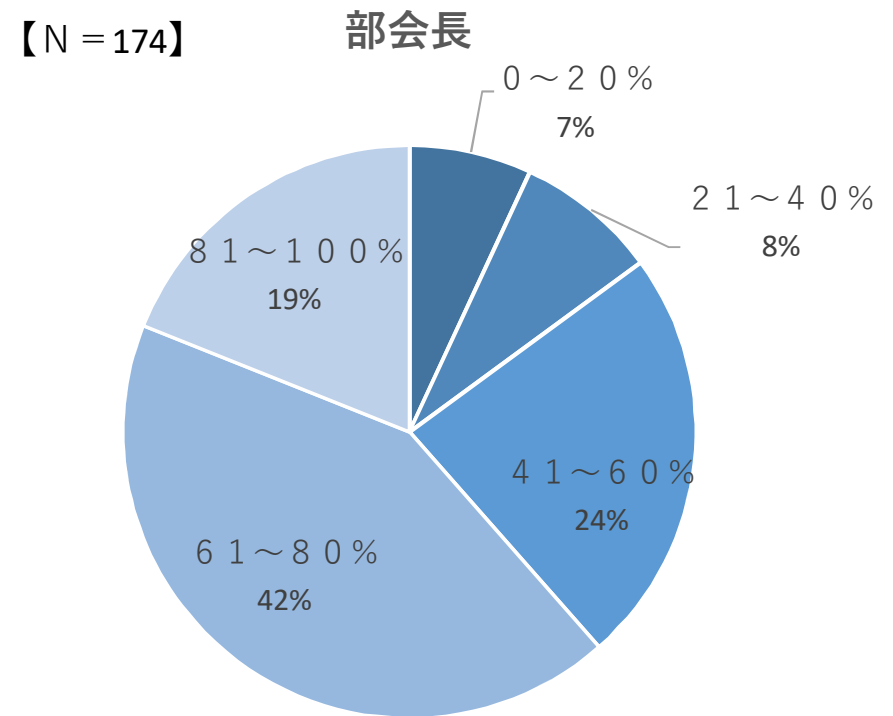
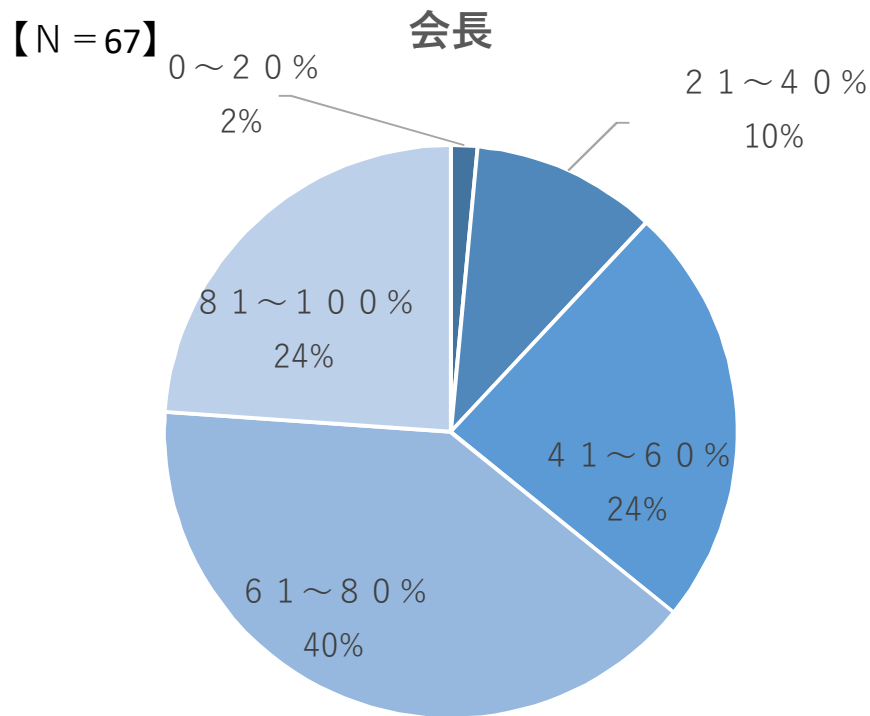
# 1. 活動分野別取組状況（複数回答）

【N = 70】



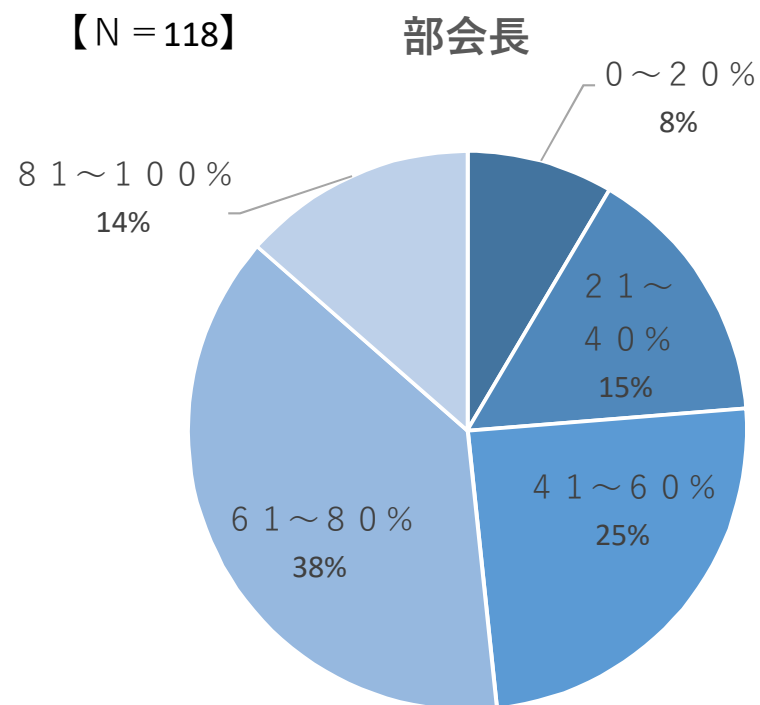
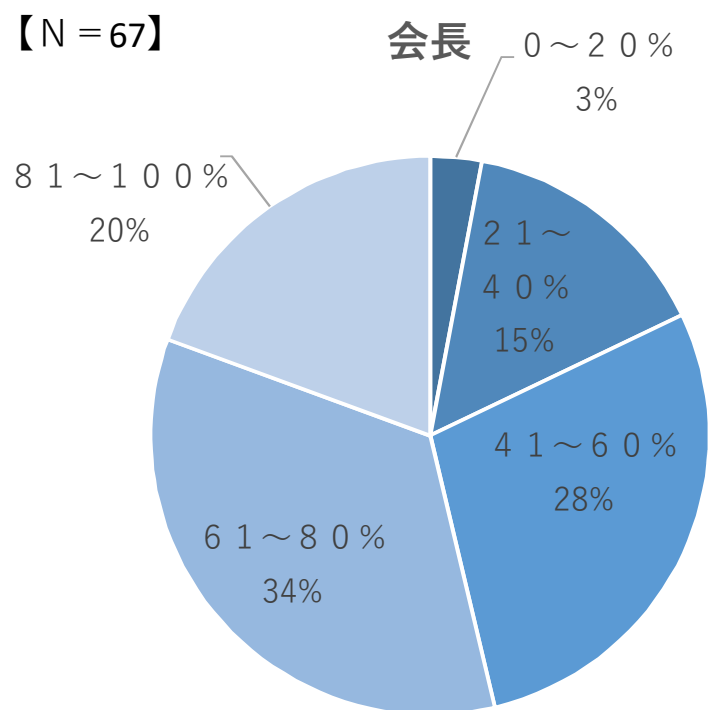
多くの協議会がすべての分野に取り組んでいる。

## 2. プラン達成状況 【親睦交流活動】



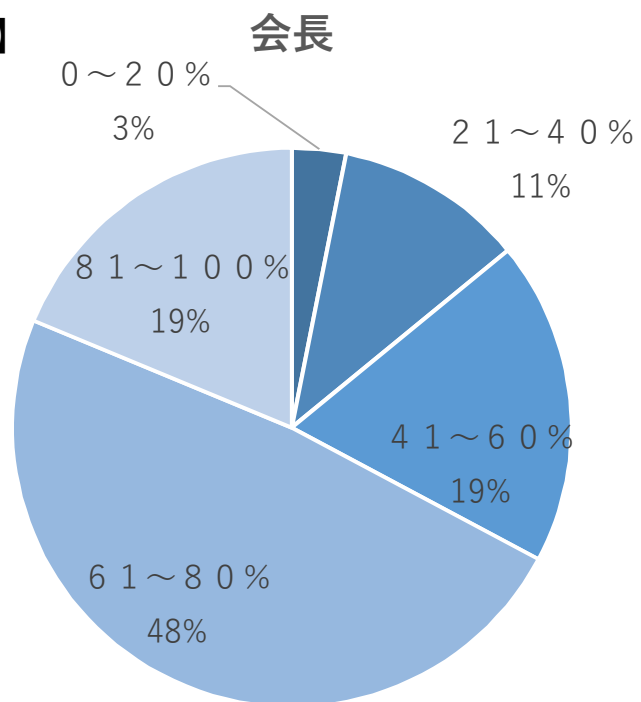
- ・達成度が高い分野：「安心安全・防犯」、「青少年健全育成」、
- ・達成度が低い分野：「文化」、「防災」
- ・会長と部会長の間に大きな差はみられないが、わずかに会長の評価が高い傾向にある。

## 2. プラン達成状況 【文化活動】

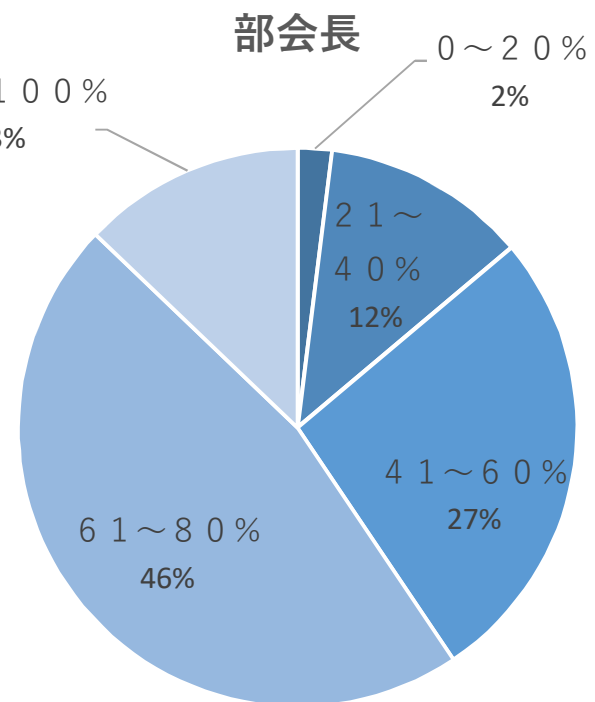


## 2. プラン達成状況 【環境美化活動】

【N = 64】

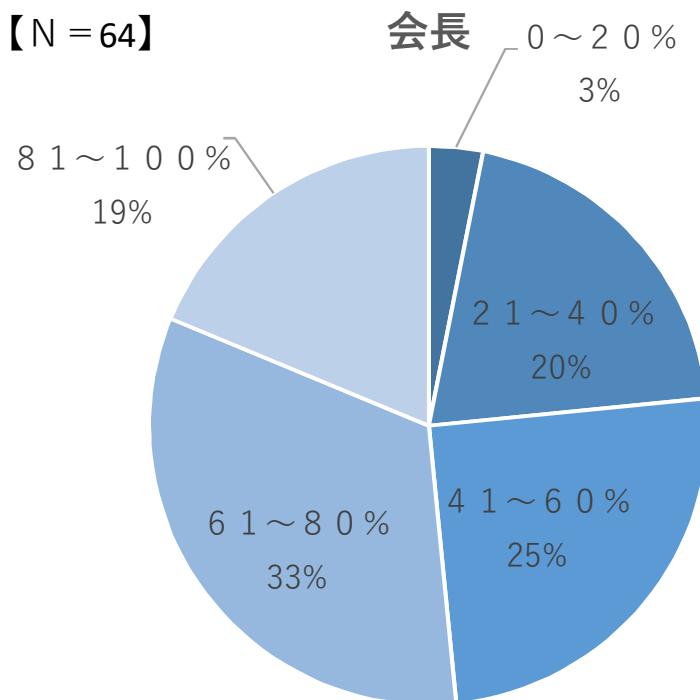


【N = 101】

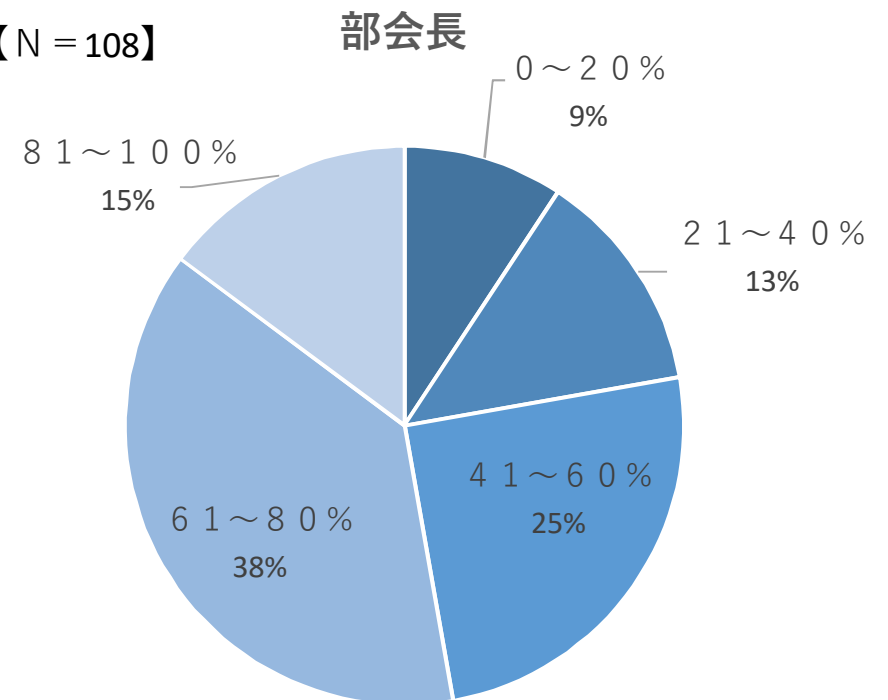


## 2. プラン達成状況 【防災活動】

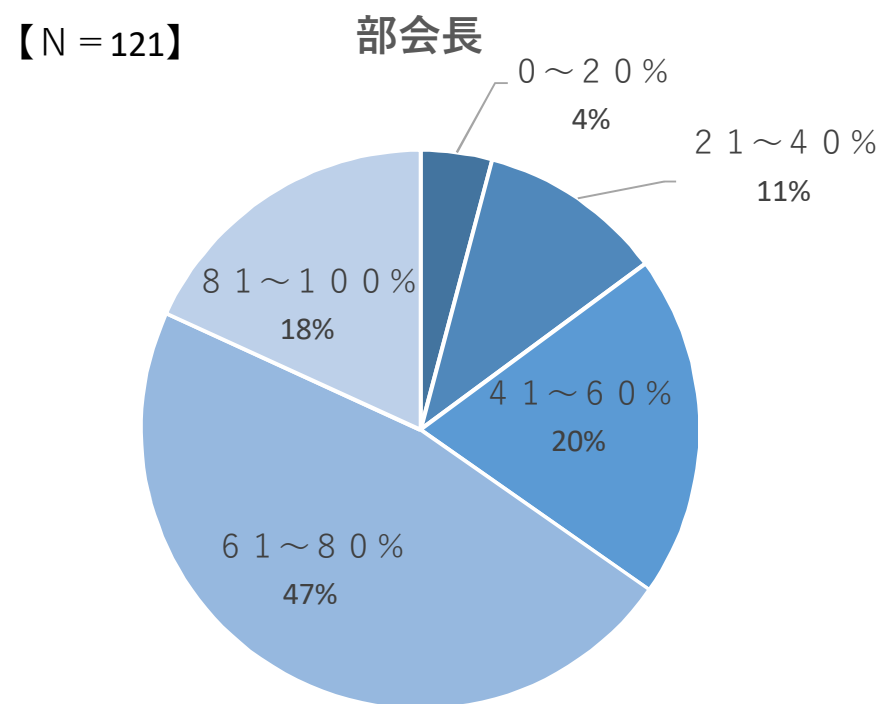
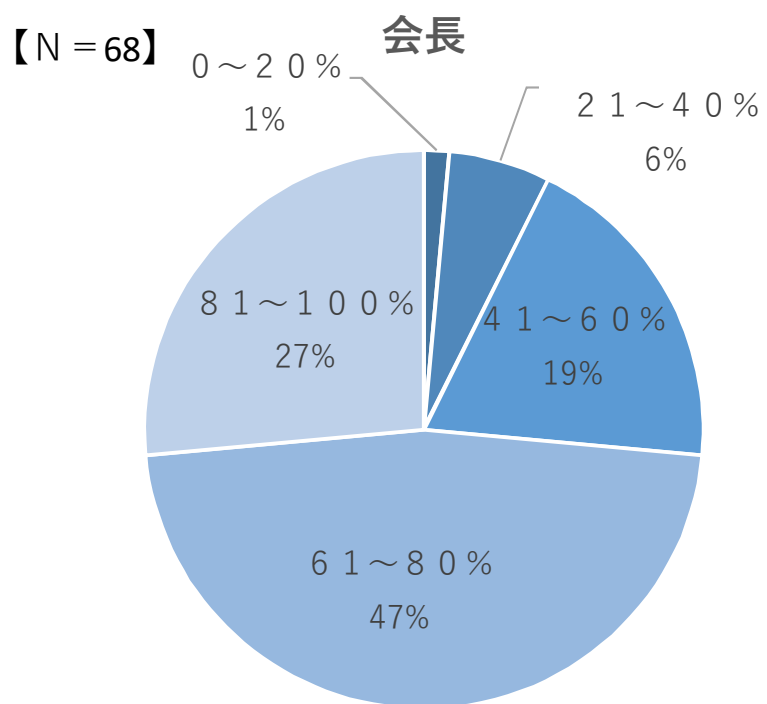
【N = 64】



【N = 108】



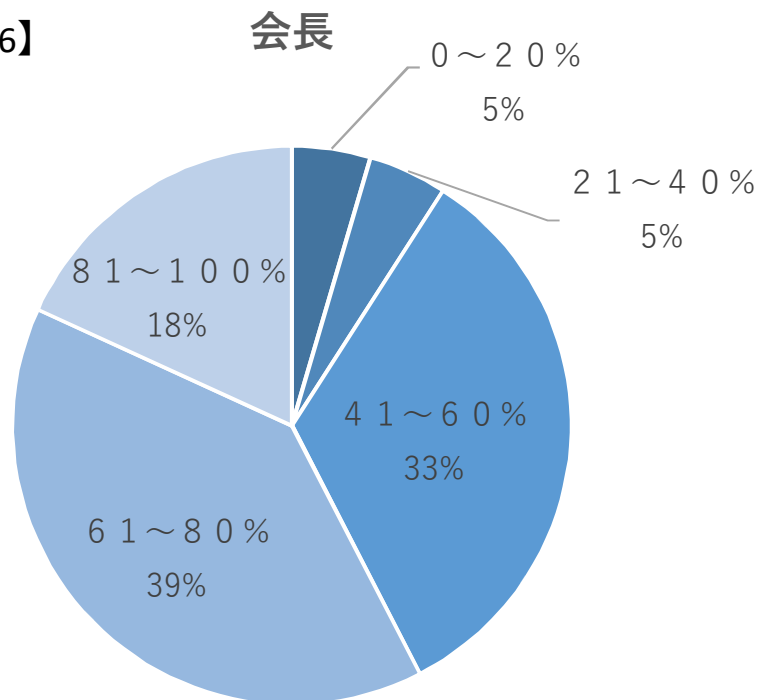
## 2. プラン達成状況 【安心安全・防犯活動】



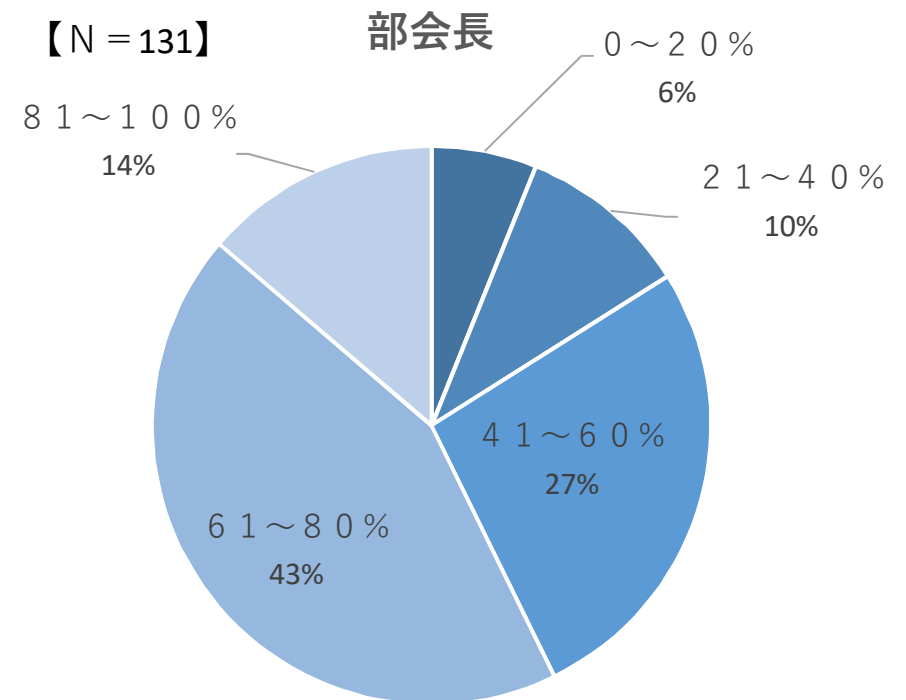


## 2. プラン達成状況 【健康・福祉活動】

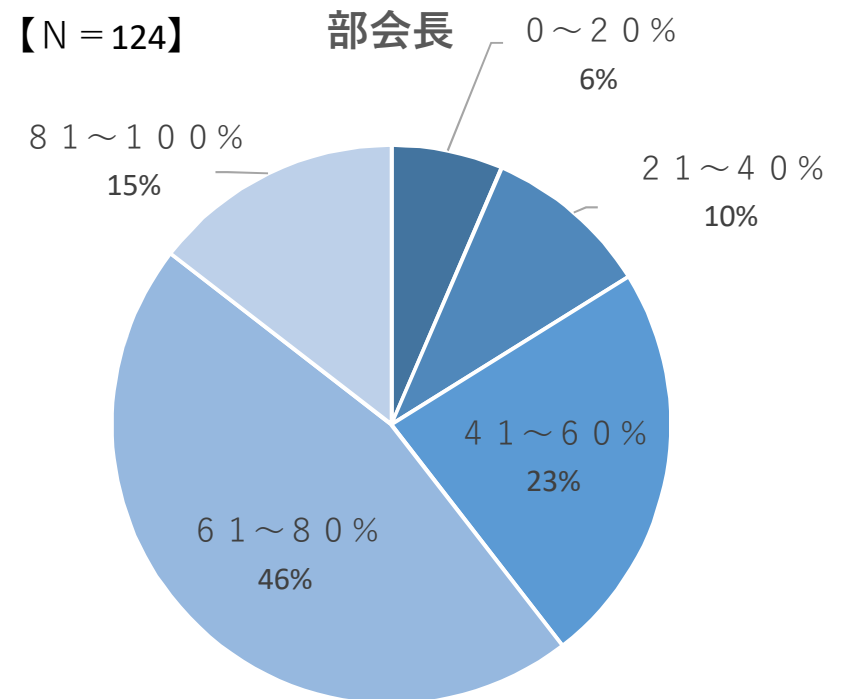
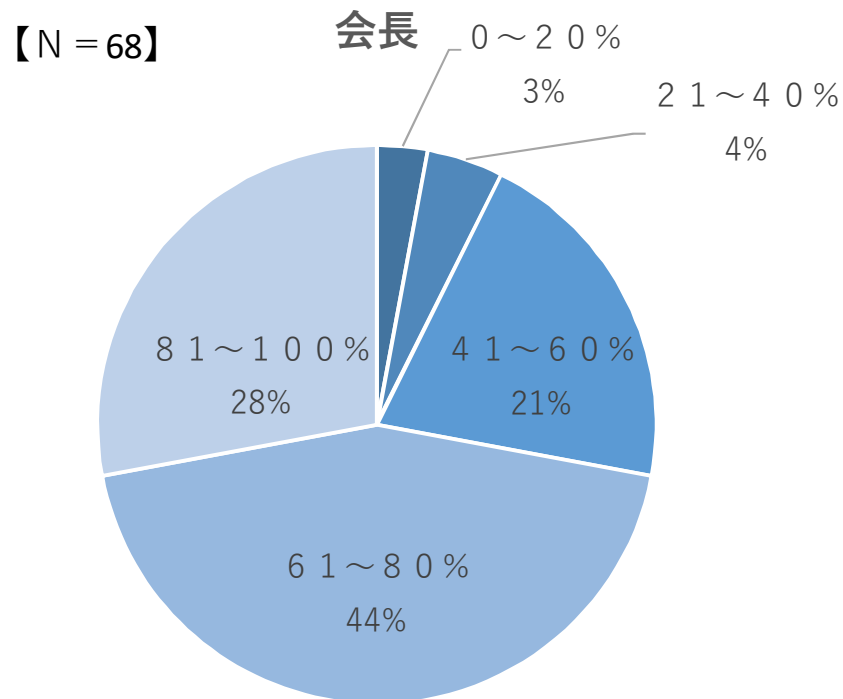
【N = 66】



【N = 131】



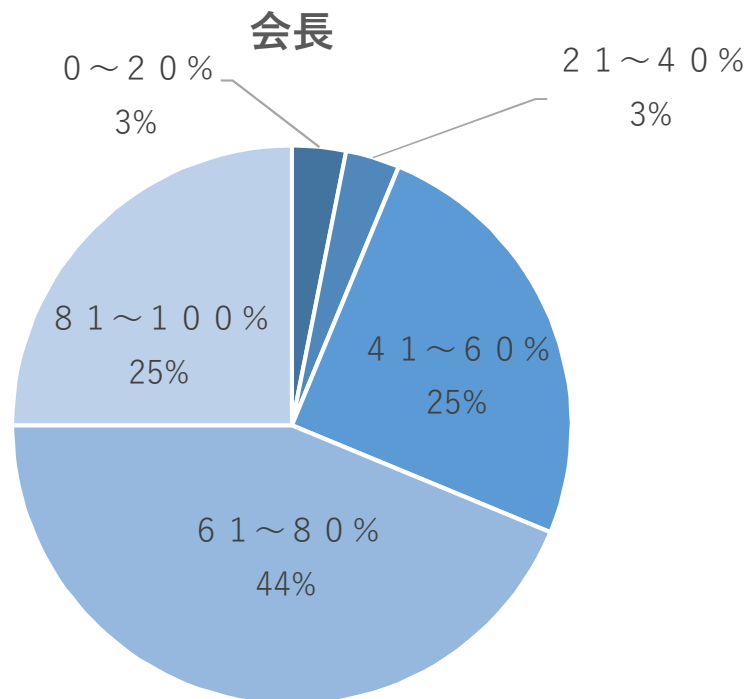
## 2. プラン達成状況 【青少年健全育成活動】



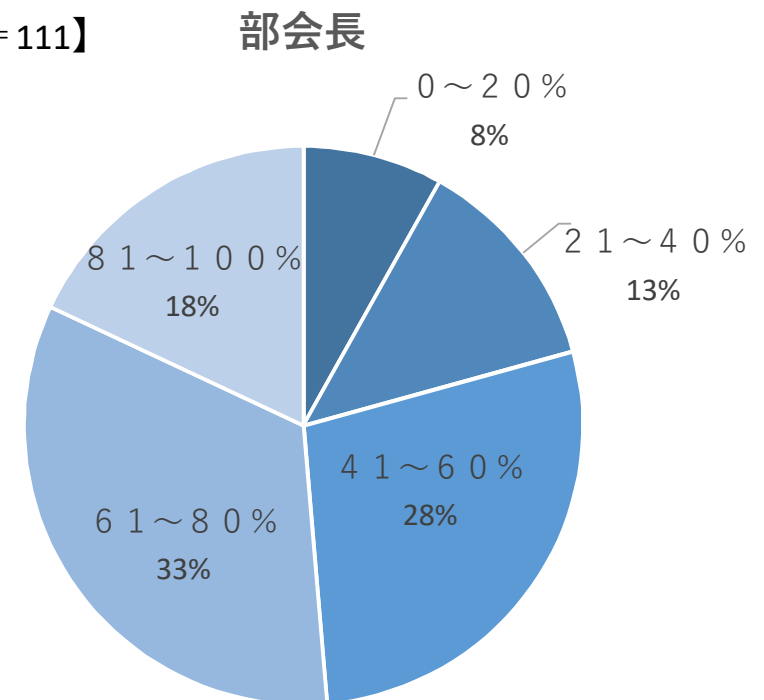
## 2. プラン達成状況

### 【社会教育・生涯学習活動】

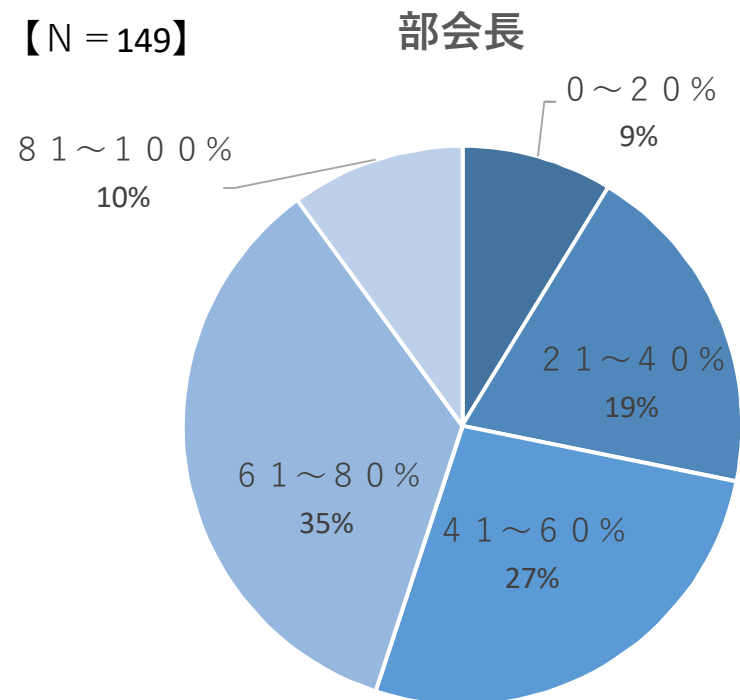
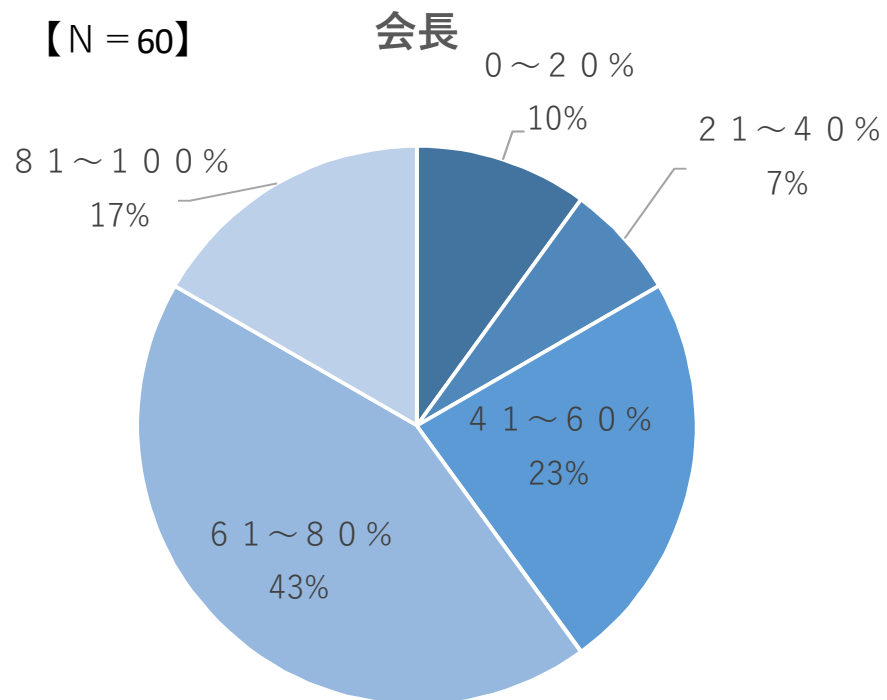
【N = 64】



【N = 111】

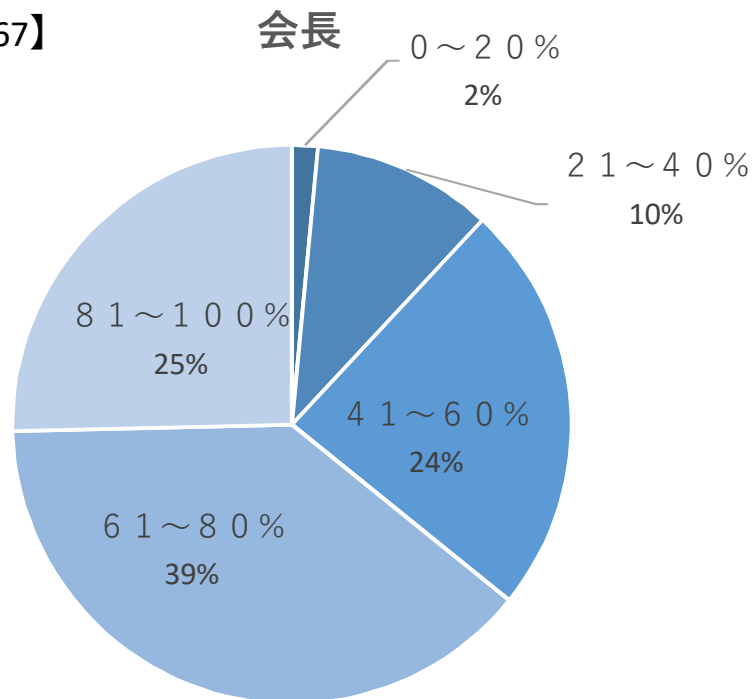


## 2. プラン達成状況 【地域活性化活動】

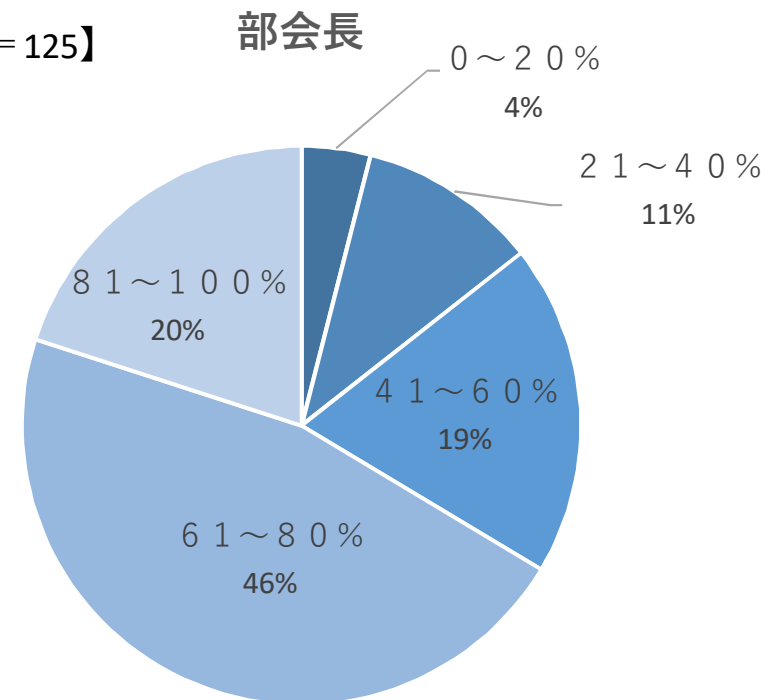


## 2. プラン達成状況 【広報・情報発信活動】

【N = 67】



【N = 125】



# <検証>

## 2. プラン達成状況に対する会長・部会長の認識の差

- 「環境美化」や「防災」、「安心安全」分野に比べ、「親睦交流」、「青少年健全育成」、「社会教育・生涯学習」、「地域活性化」の分野については達成度に対する認識の差が大きい。
- このうち、「青少年健全育成」及び「社会教育・生涯学習」については、特に会長の達成度が高い（部会長の達成度が低い）傾向にある。

※複数の部会長が回答した分野については、平均値を採用

### 《達成度が低い理由》【部会長のみ】

- ・ 部会や行事の参加者がいつも一緒
- ・ 忙しく新しい活動ができない
- ・ 町内会以外の構成団体の関与が少ない等

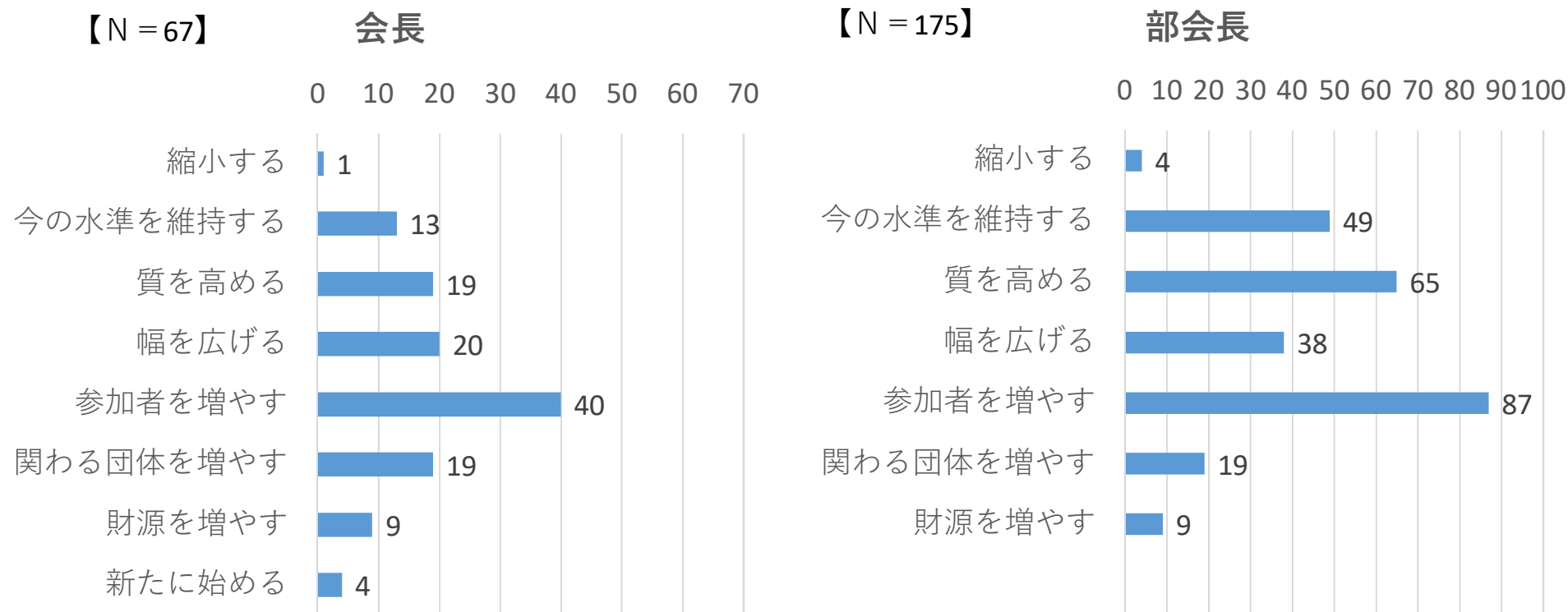
	部会長に対し 会長の達成度が 2段階以上高い (A)	部会長に対し 会長の達成度が 2段階以上低い (B)	会長・部会長 ともに回答があり 比較できた協議会 (C)	割合 (A+B)/C
親睦交流	7	6	60	<b>22%</b>
文化	5	4	55	16%
環境美化	2	3	45	11%
防災	3	3	53	11%
安心安全 防犯	4	2	58	10%
健康・福祉	6	2	57	14%
青少年 健全育成	<b>10</b>	<b>2</b>	57	<b>21%</b>
社会教育 生涯学習	<b>7</b>	<b>3</b>	51	<b>20%</b>
地域活性化	8	7	52	<b>29%</b>
広報 情報発信	4	5	54	17%



# 3. 今後の活動の方向性（複数回答）

## 【親睦交流活動】

### ① 会長・部会長の比較



・ 会長と部会長の間に大きな差はみられなかった。  
・ 65歳以下と66歳以上で大きな差はみられなかった。  
・ 殆どの分野で「参加者を増やす」が最も多く、次いで「現状維持」、「質を高める」が多かった。一方、「関わる団体を増やす」、「財源を増やす」は少なかった。



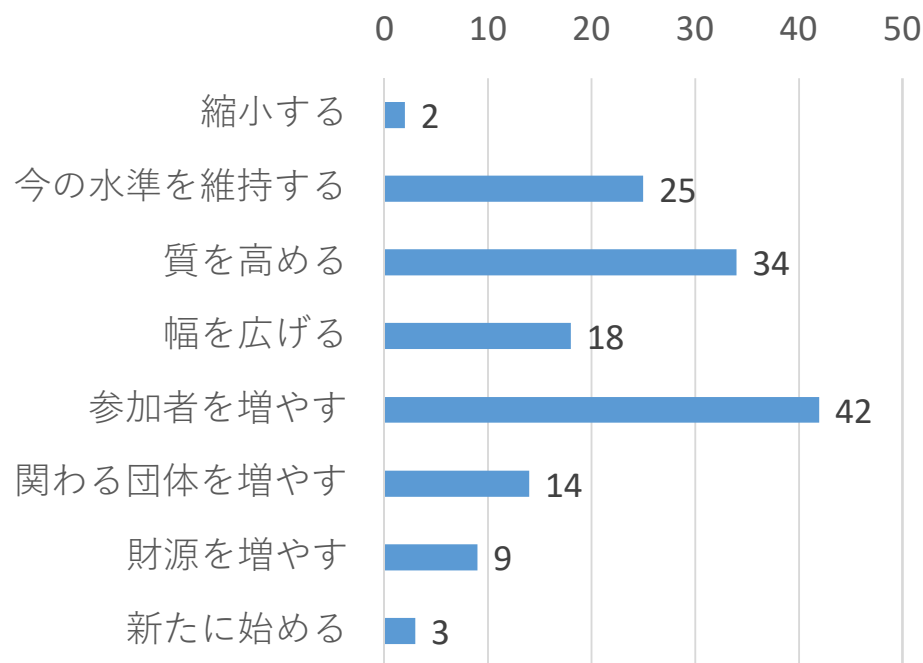
# 3. 今後の活動の方向性 (複数回答)

## 【親睦交流活動】

### ② 年齢別比較

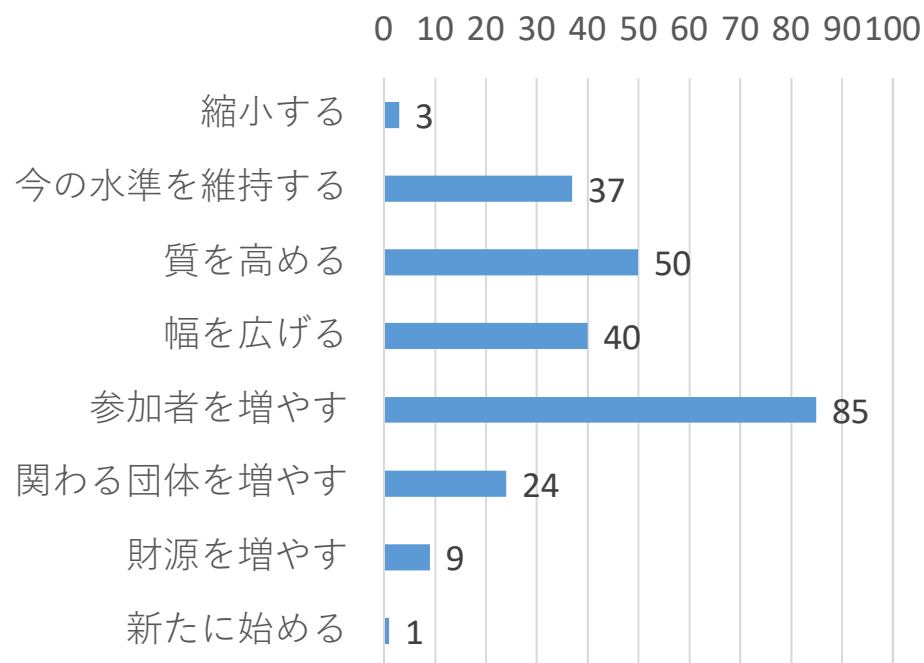
【N = 75】

～65歳



【N = 168】

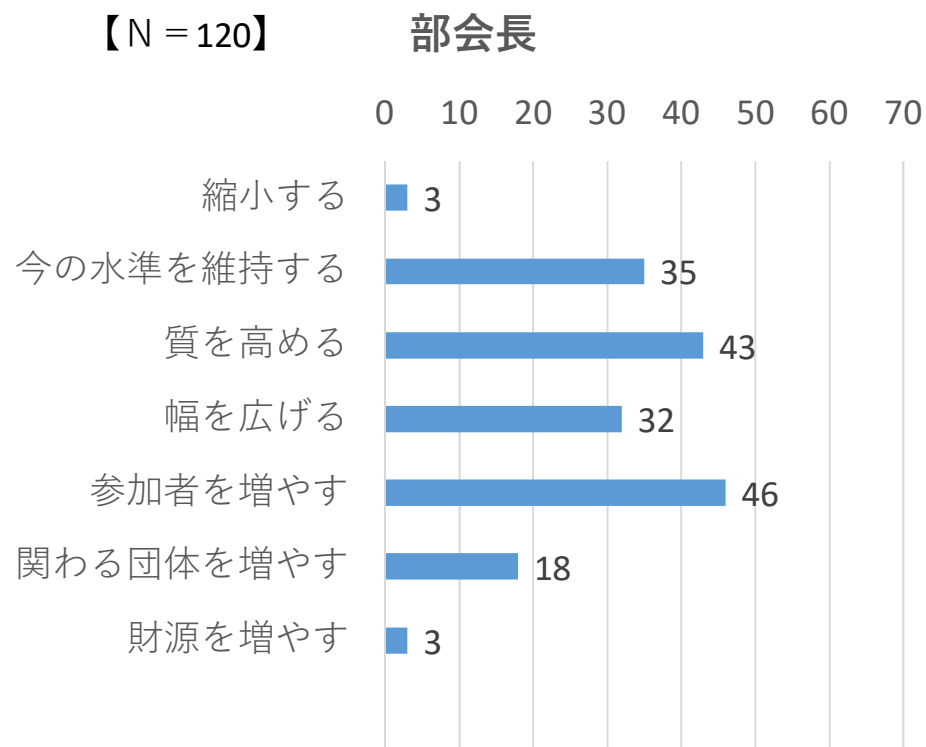
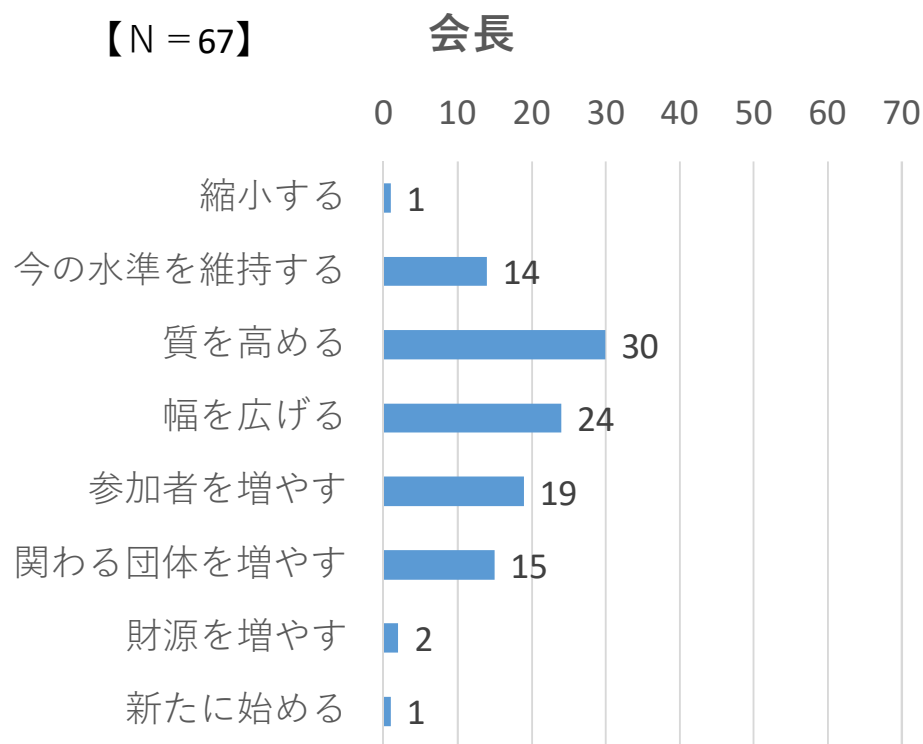
66歳～



# 3. 今後の活動の方向性（複数回答）

## 【文化活動】

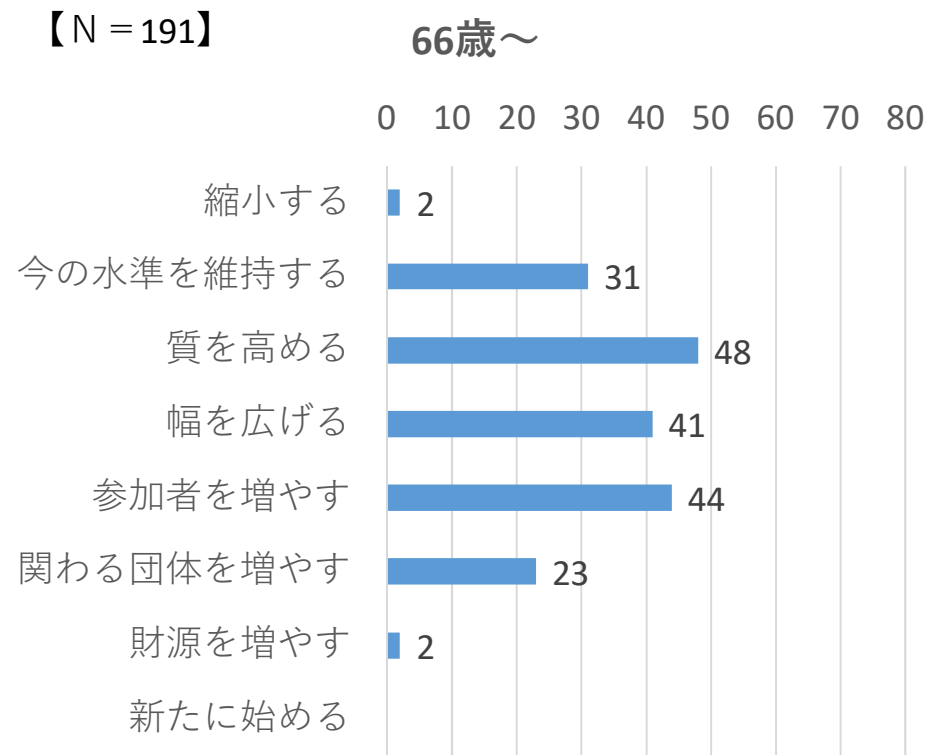
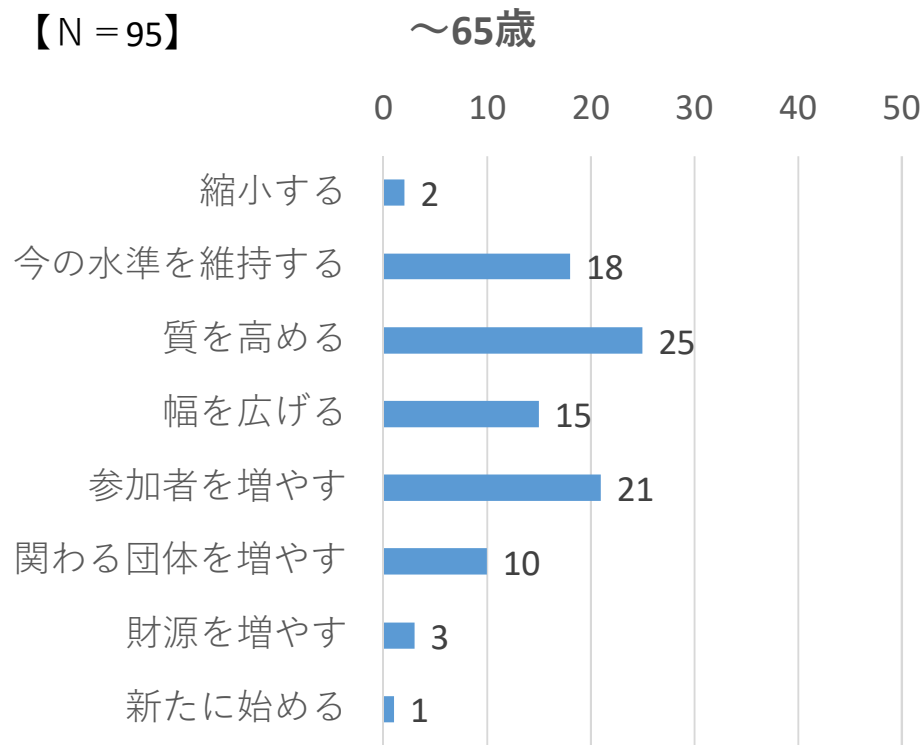
### ① 会長・部会長の比較



# 3. 今後の活動の方向性 (複数回答)

## 【文化活動】

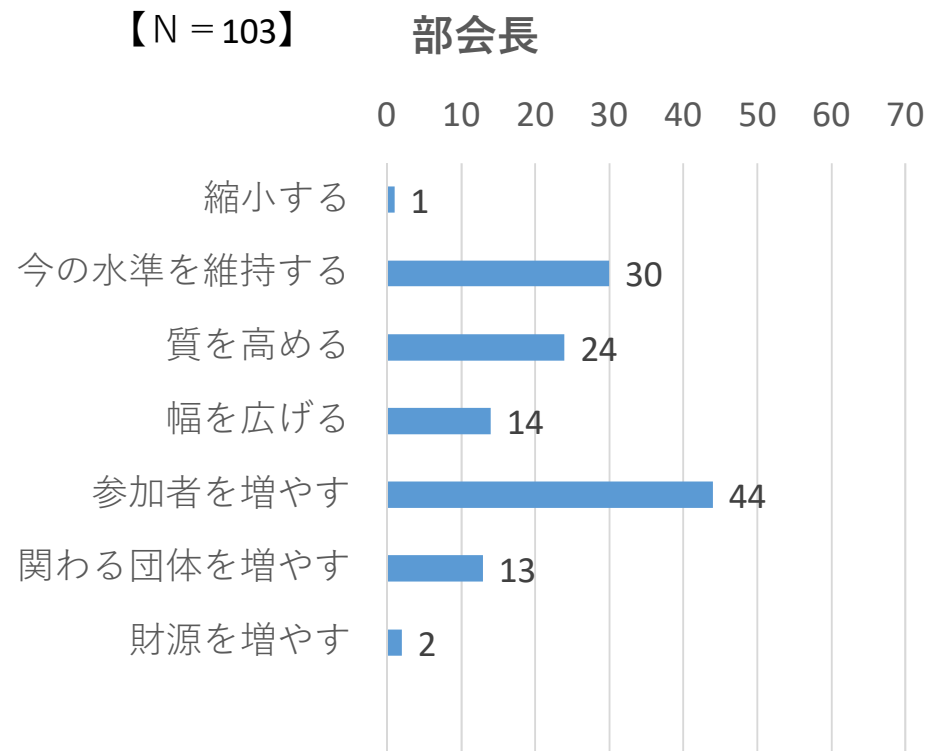
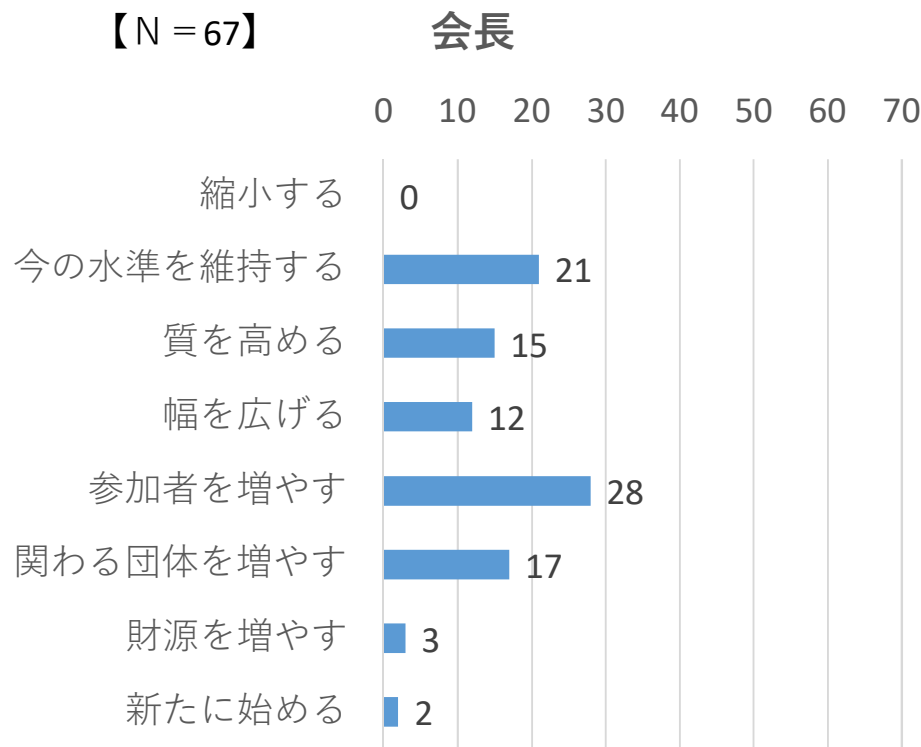
### ② 年齢別比較



# 3. 今後の活動の方向性（複数回答）

## 【環境美化活動】

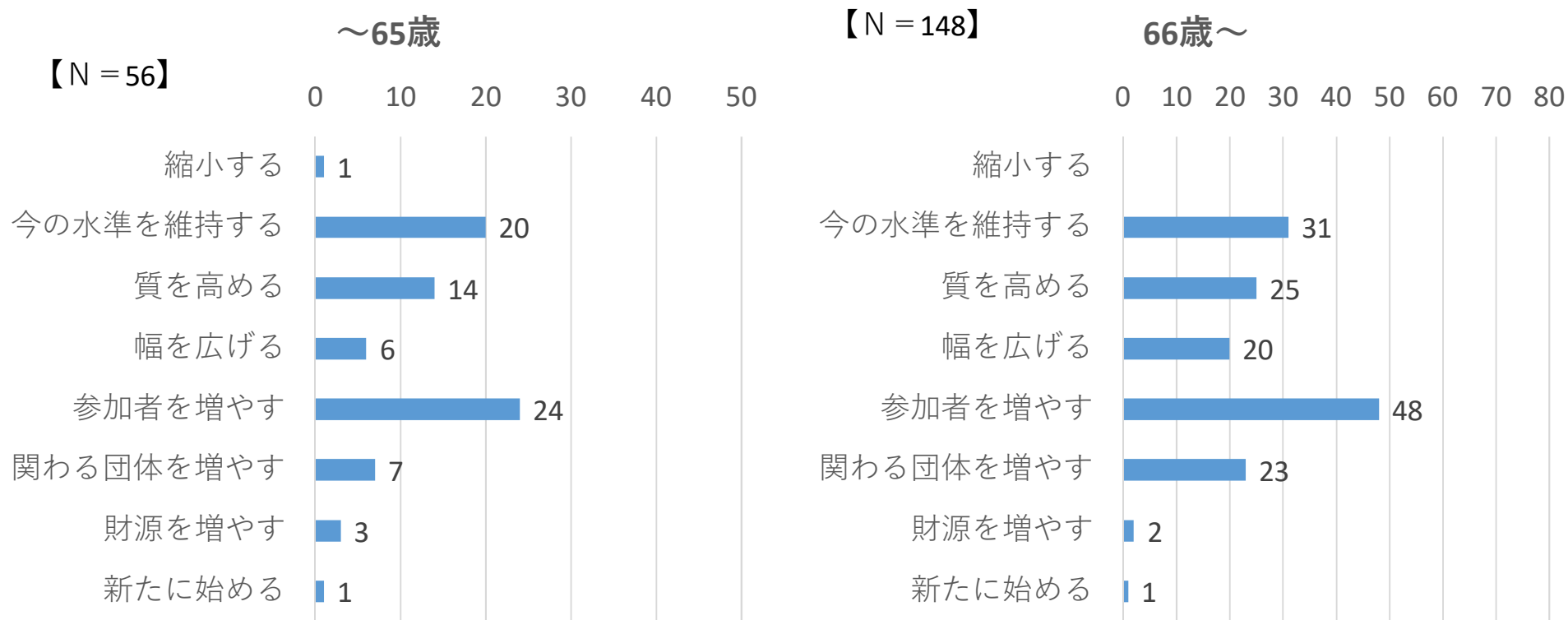
### ① 会長・部会長の比較



# 3. 今後の活動の方向性 (複数回答)

## 【環境美化活動】

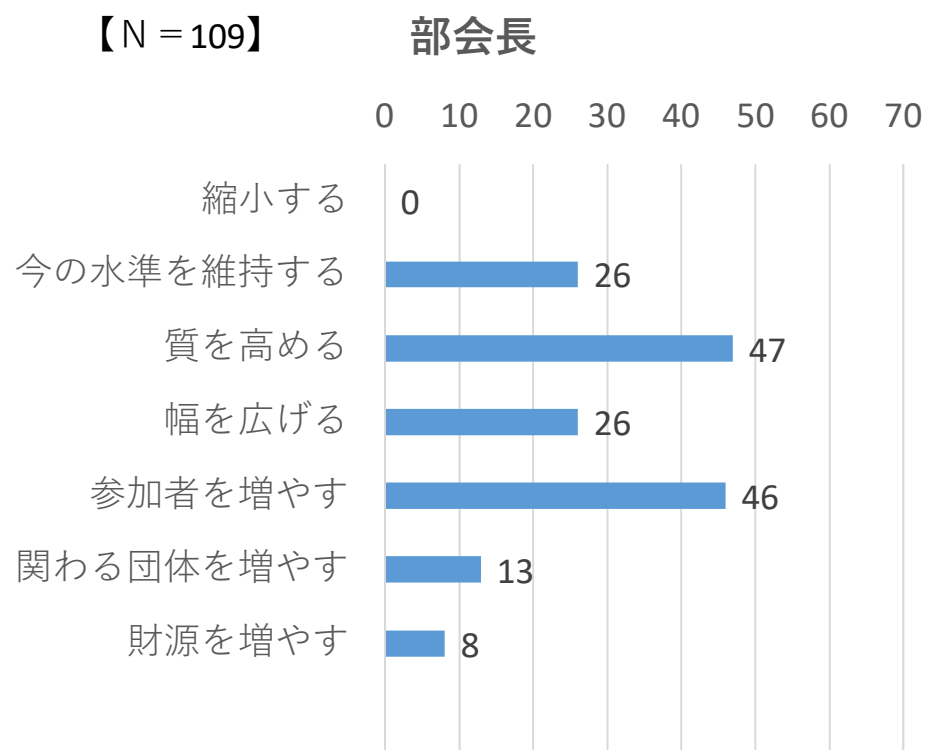
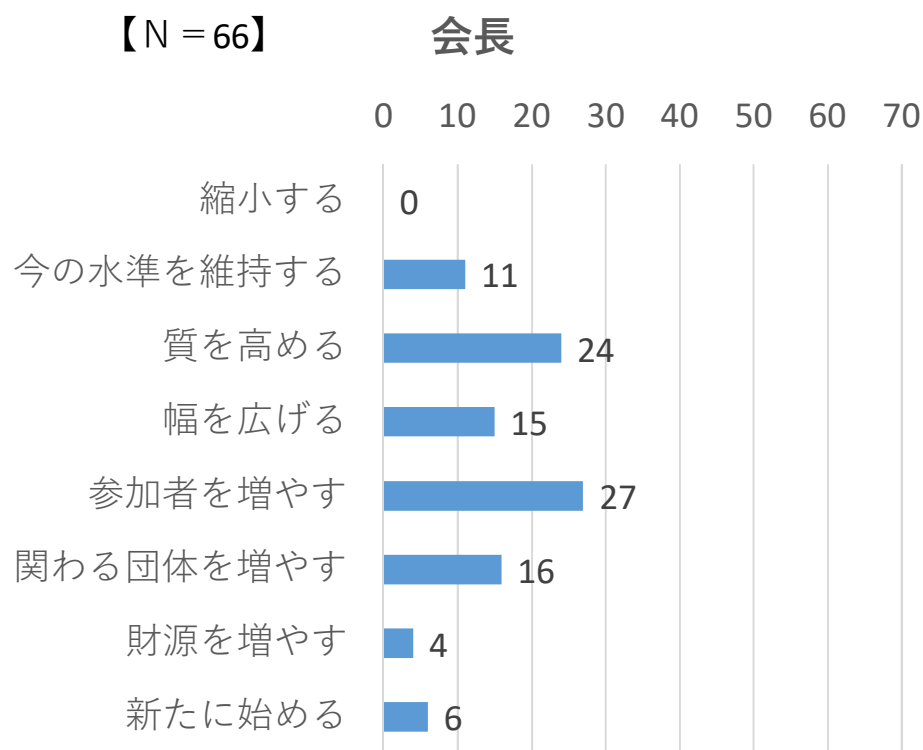
### ② 年齢別比較



# 3. 今後の活動の方向性（複数回答）

## 【防災活動】

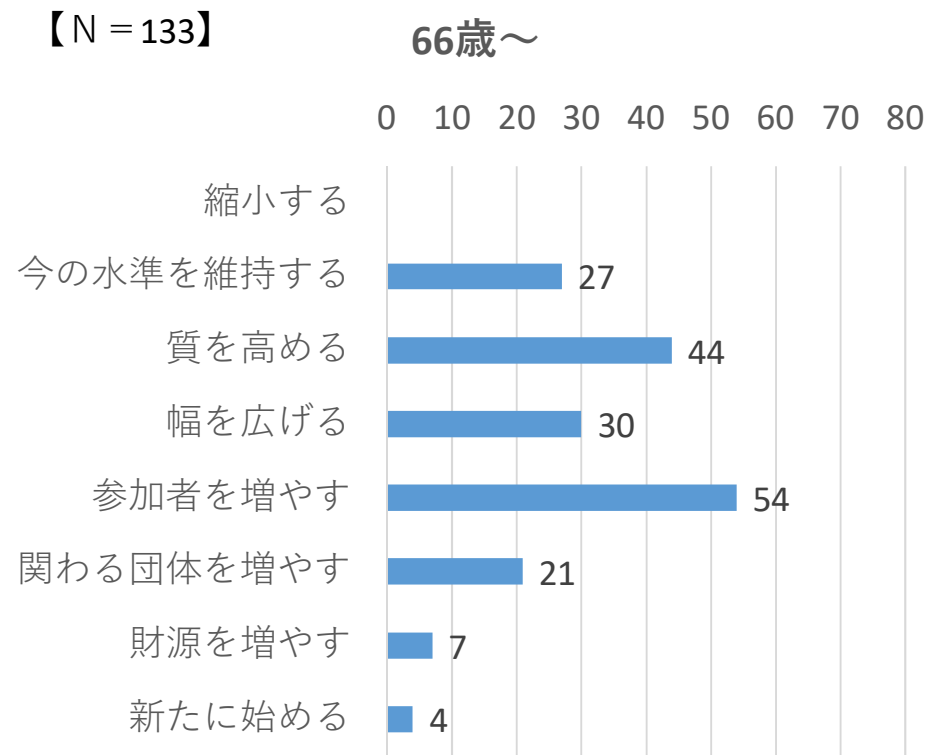
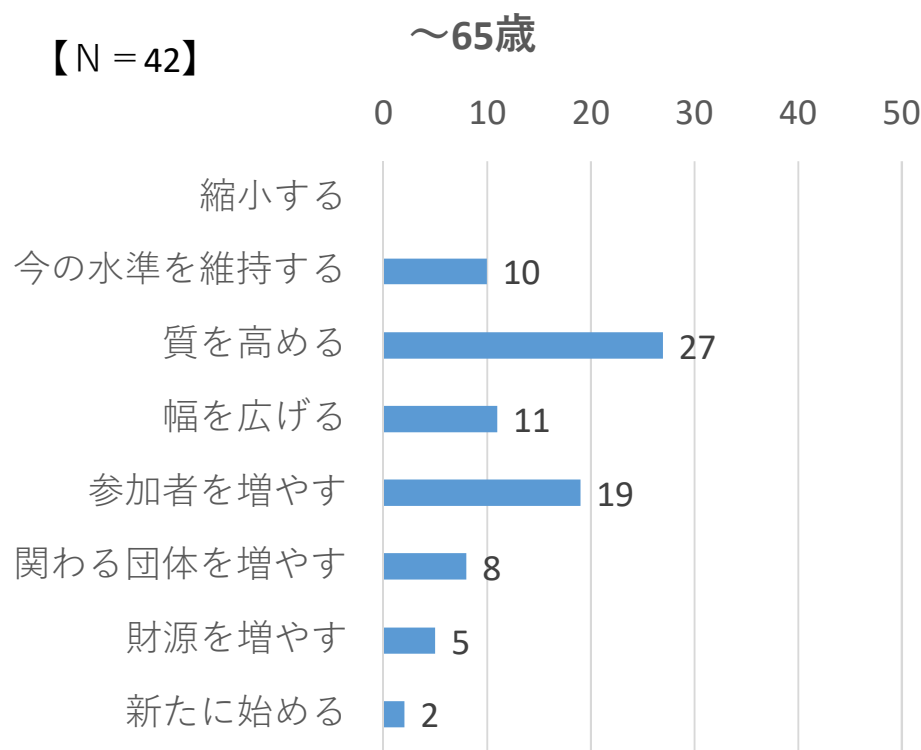
### ① 会長・部会長の比較



# 3. 今後の活動の方向性 (複数回答)

## 【防災活動】

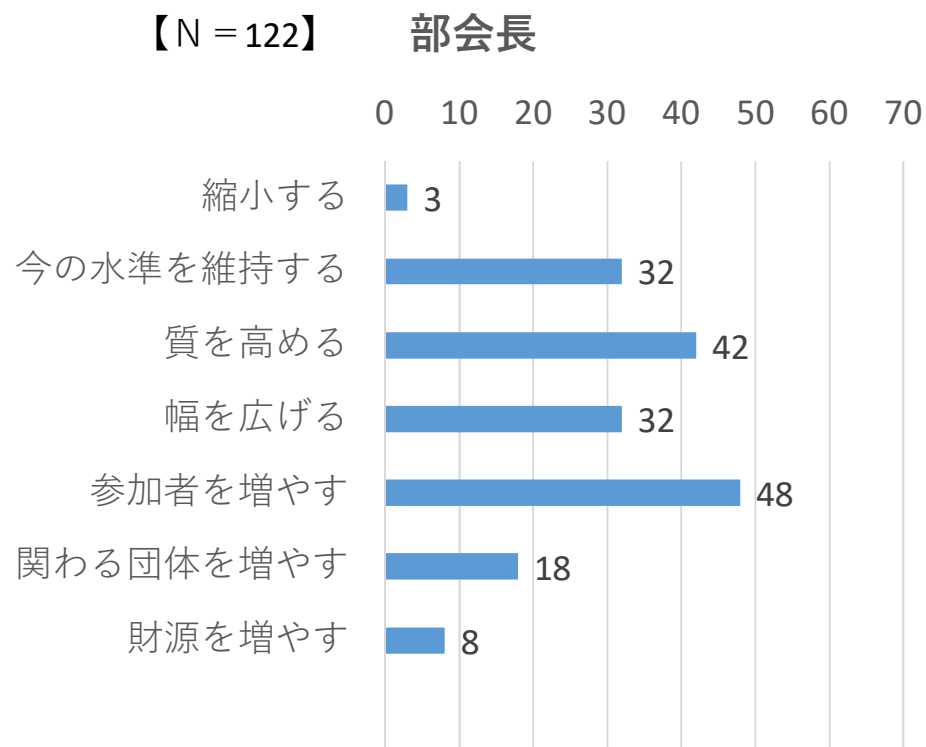
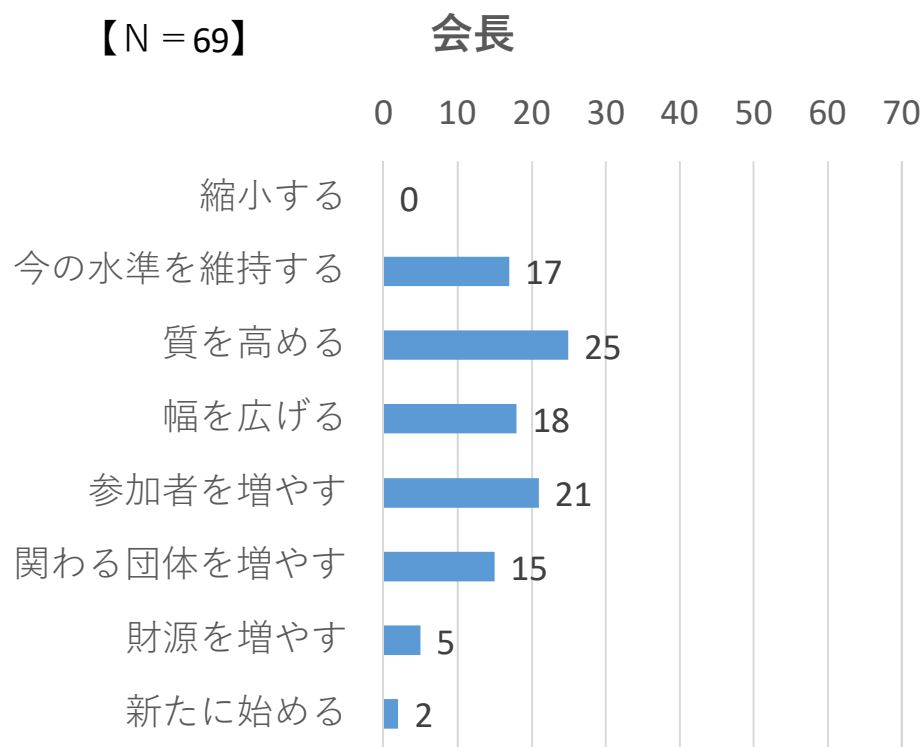
### ② 年齢別比較



# 3. 今後の活動の方向性（複数回答）

## 【安心安全・防犯活動】

### ① 会長・部会長の比較

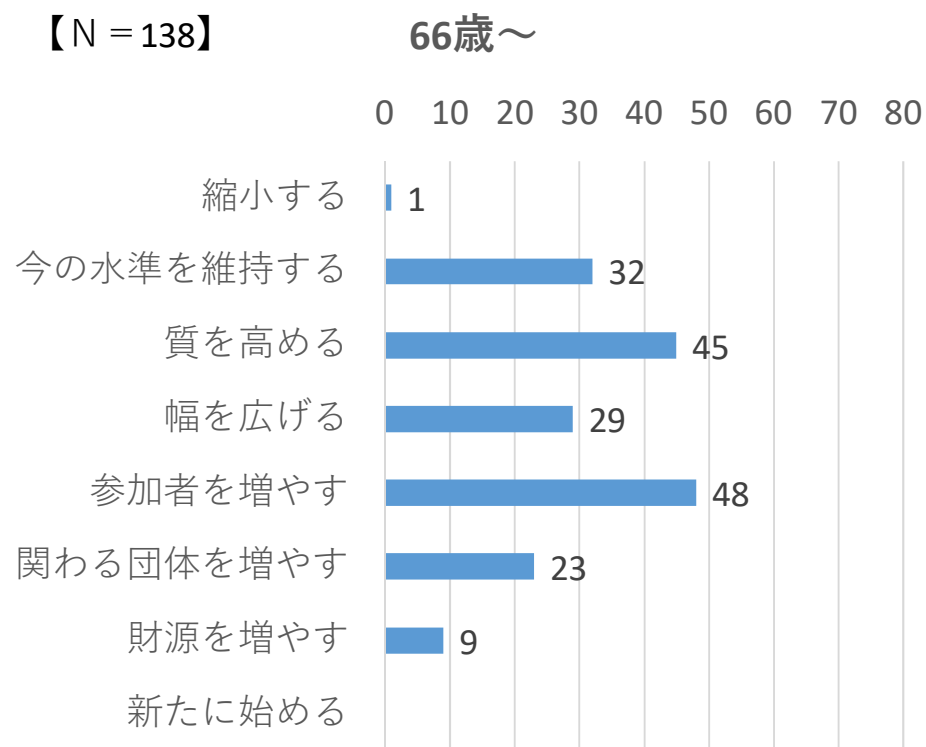
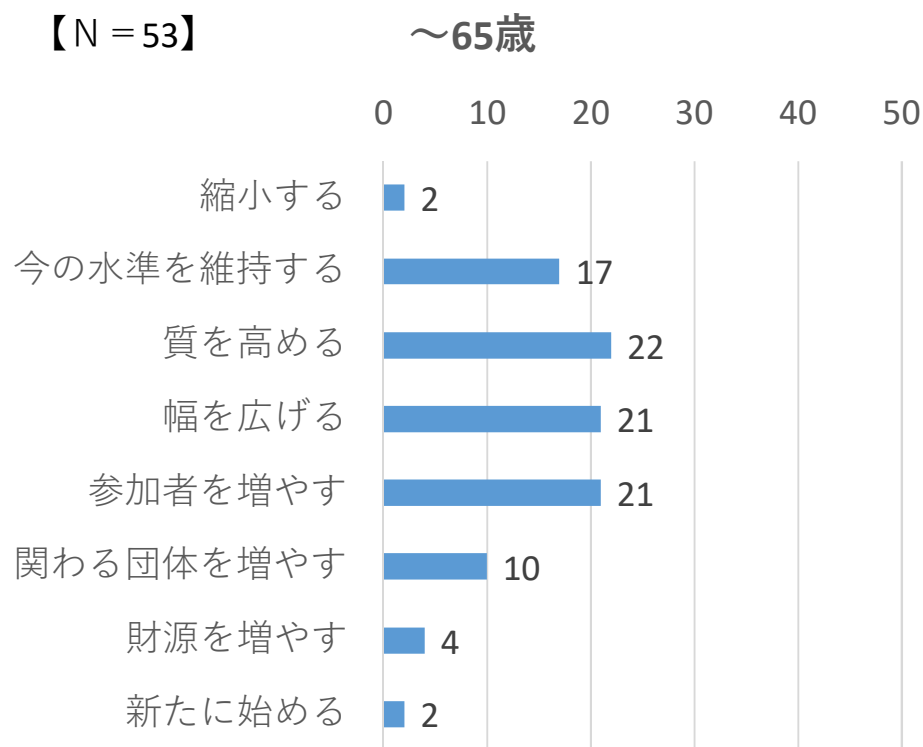




# 3. 今後の活動の方向性 (複数回答)

## 【安心安全・防犯活動】

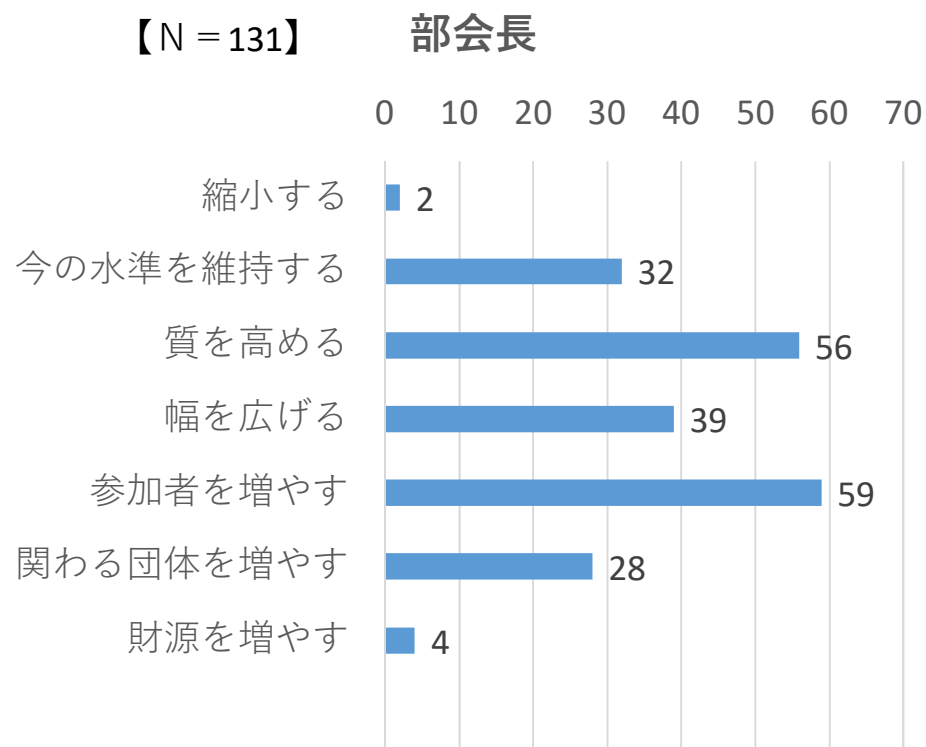
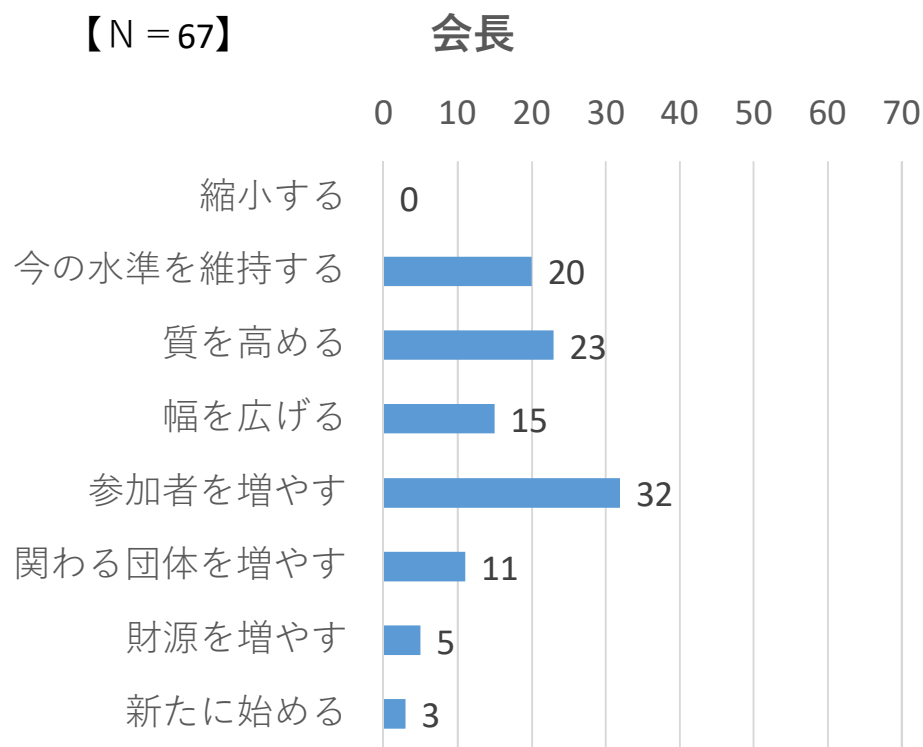
### ②年齢別比較



# 3. 今後の活動の方向性（複数回答）

## 【健康・福祉活動】

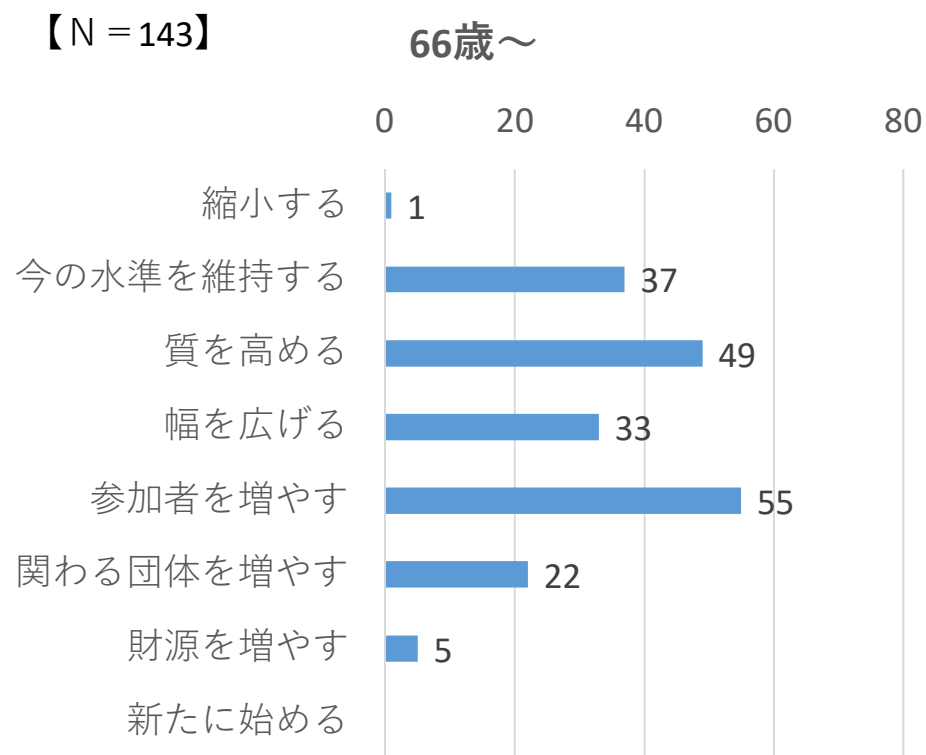
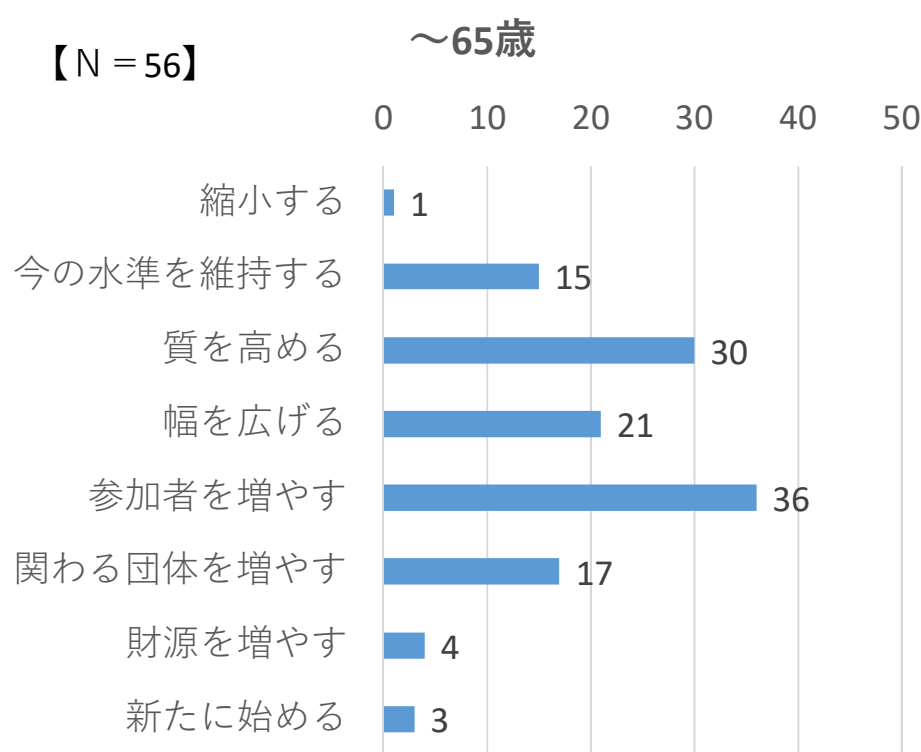
### ① 会長・部会長の比較



# 3. 今後の活動の方向性 (複数回答)

## 【健康・福祉活動】

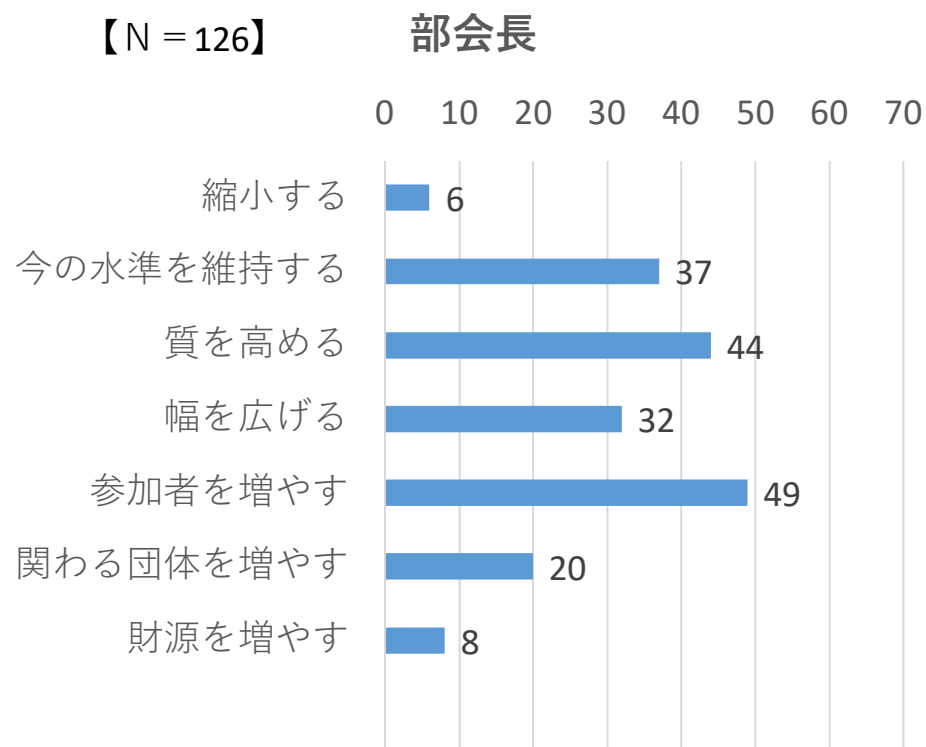
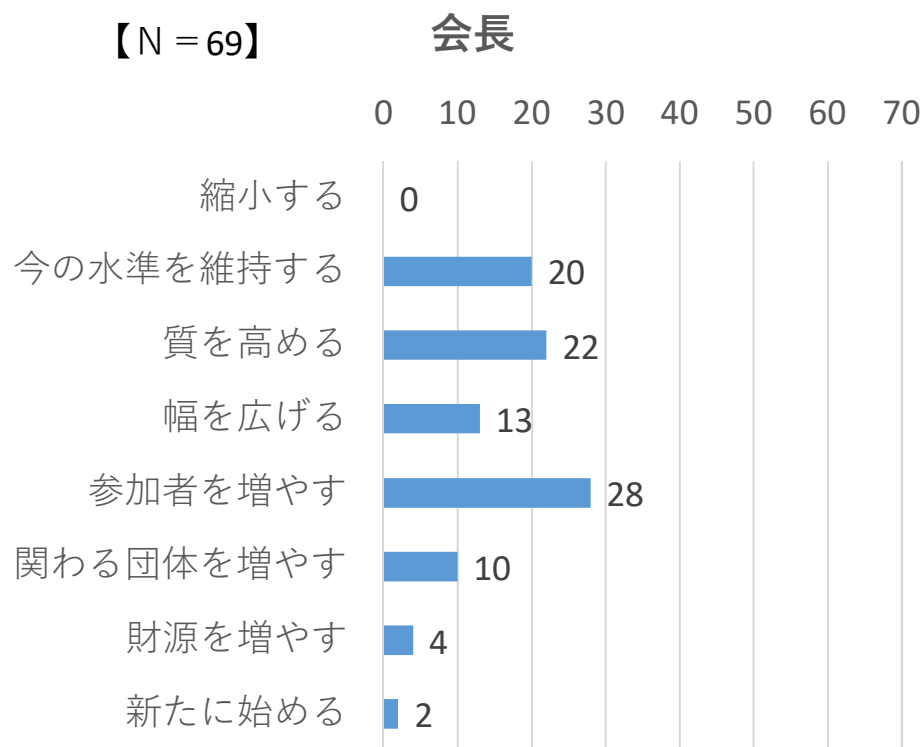
### ② 年齢別比較



# 3. 今後の活動の方向性 (複数回答)

## 【青少年健全育成活動】

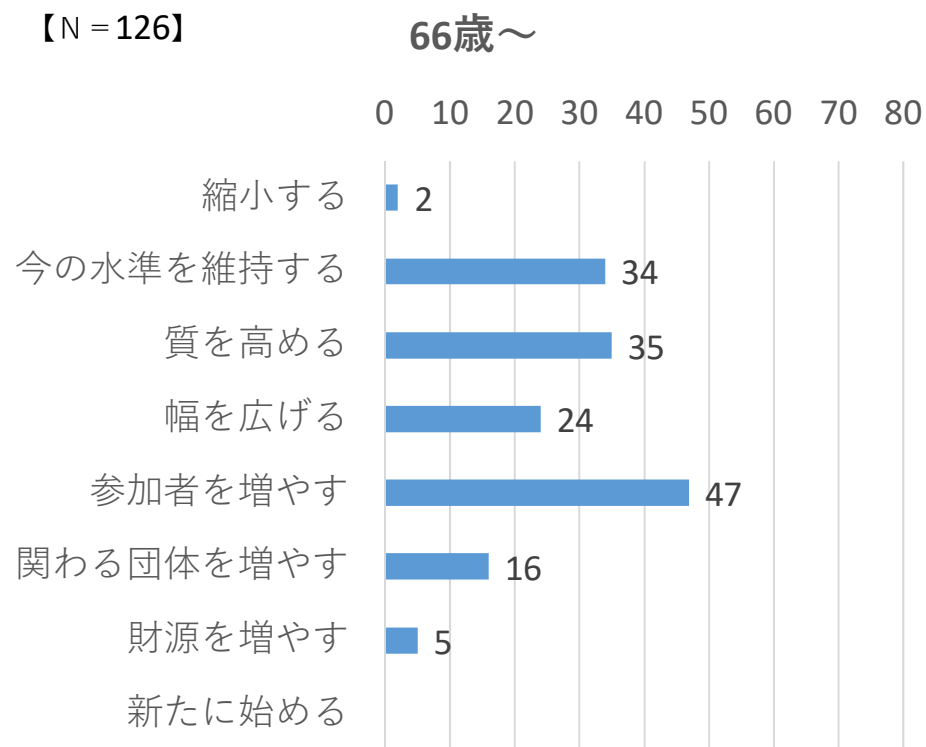
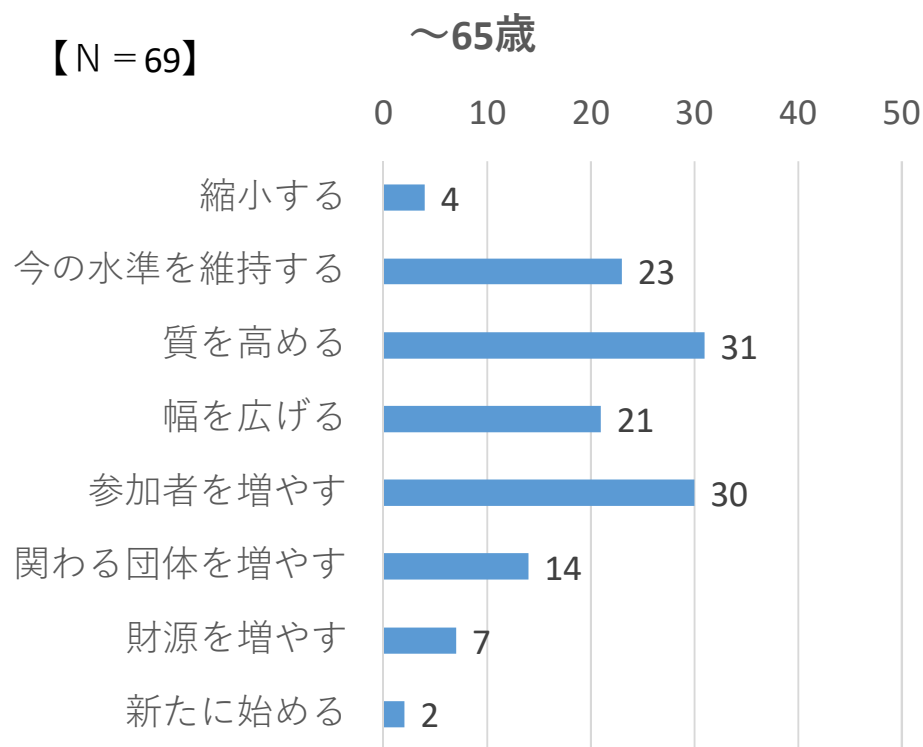
### ① 会長・部会長の比較



# 3. 今後の活動の方向性 (複数回答)

## 【青少年健全育成活動】

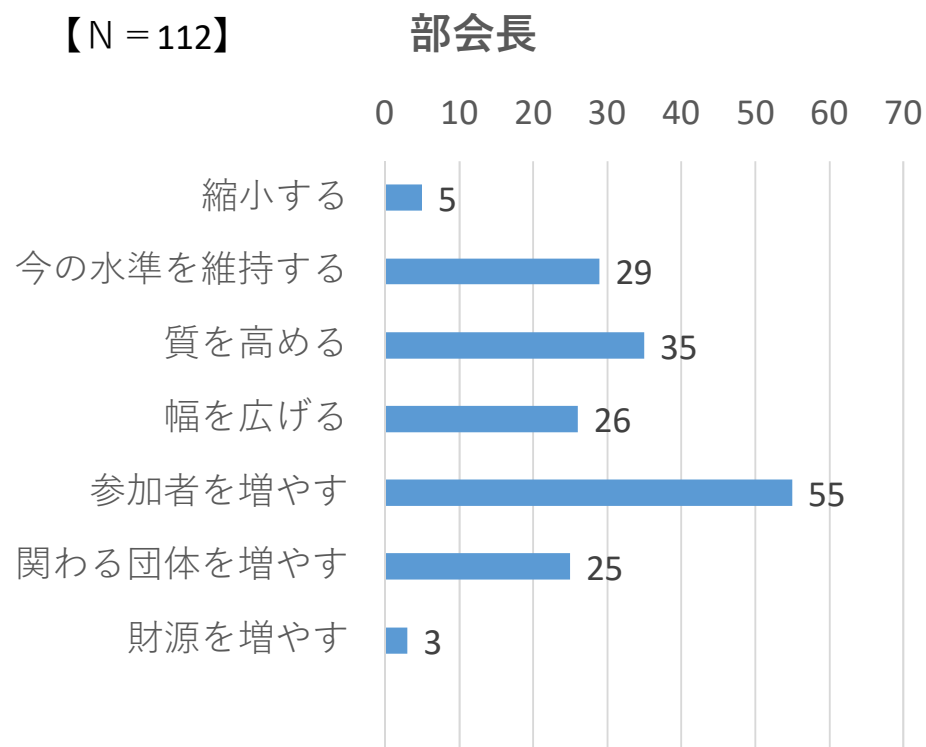
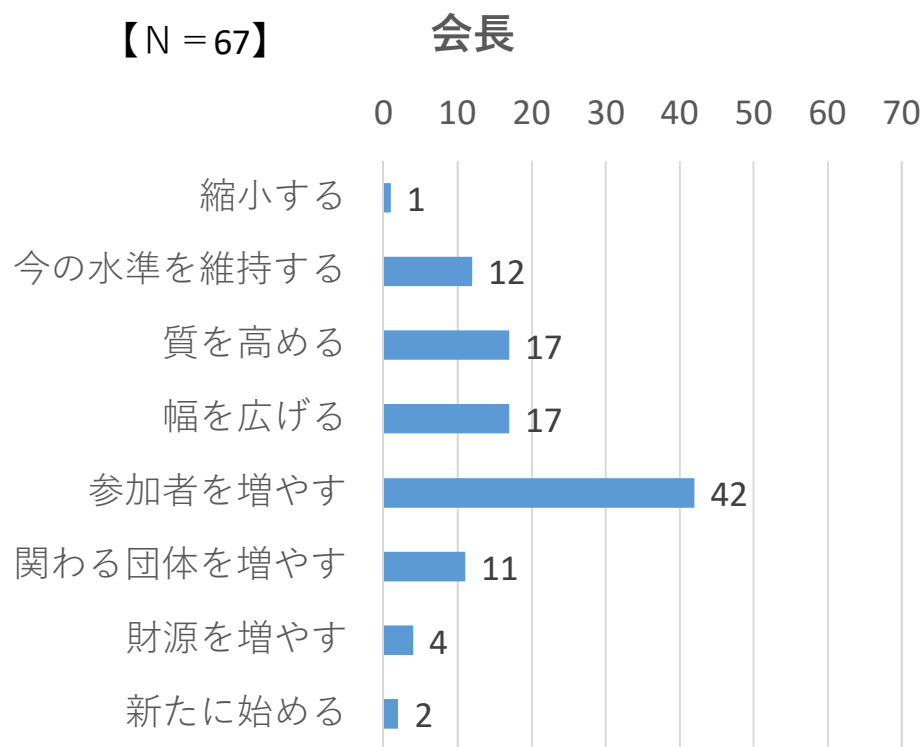
### ②年齢別比較



# 3. 今後の活動の方向性 (複数回答)

## 【社会教育・生涯学習活動】

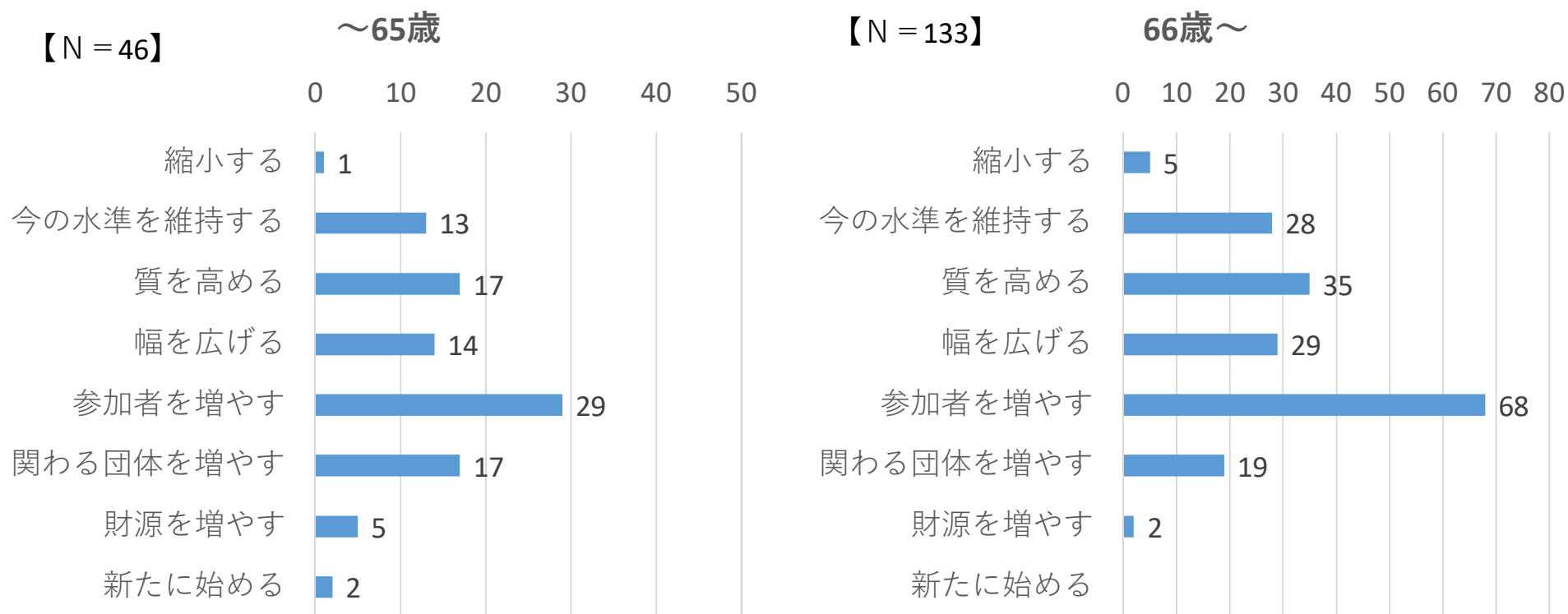
### ① 会長・部会長の比較



# 3. 今後の活動の方向性 (複数回答)

## 【社会教育・生涯学習活動】

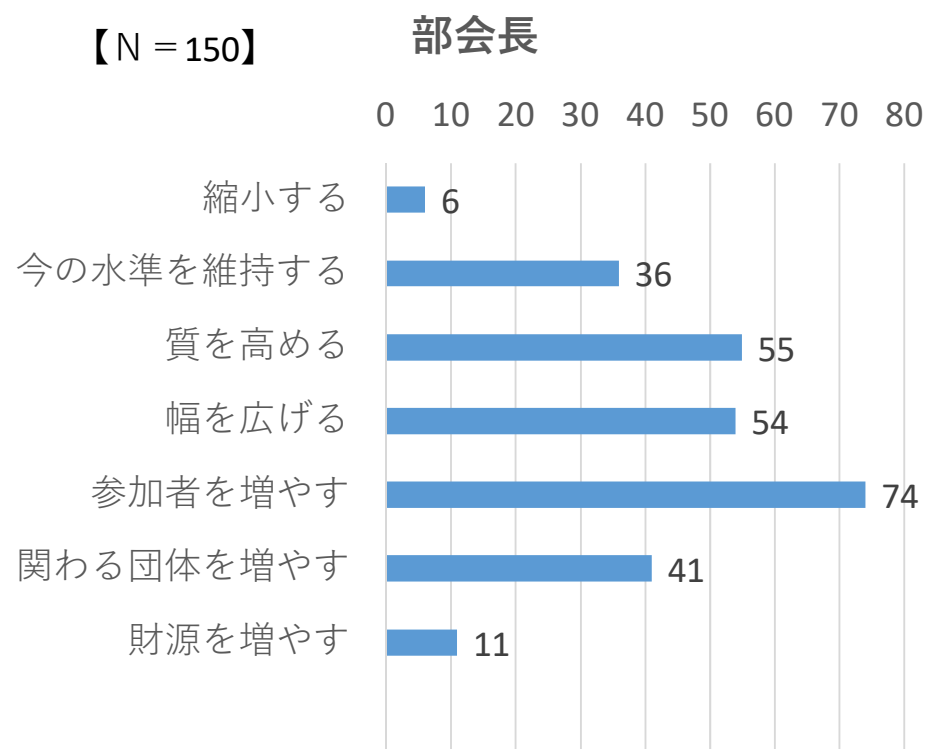
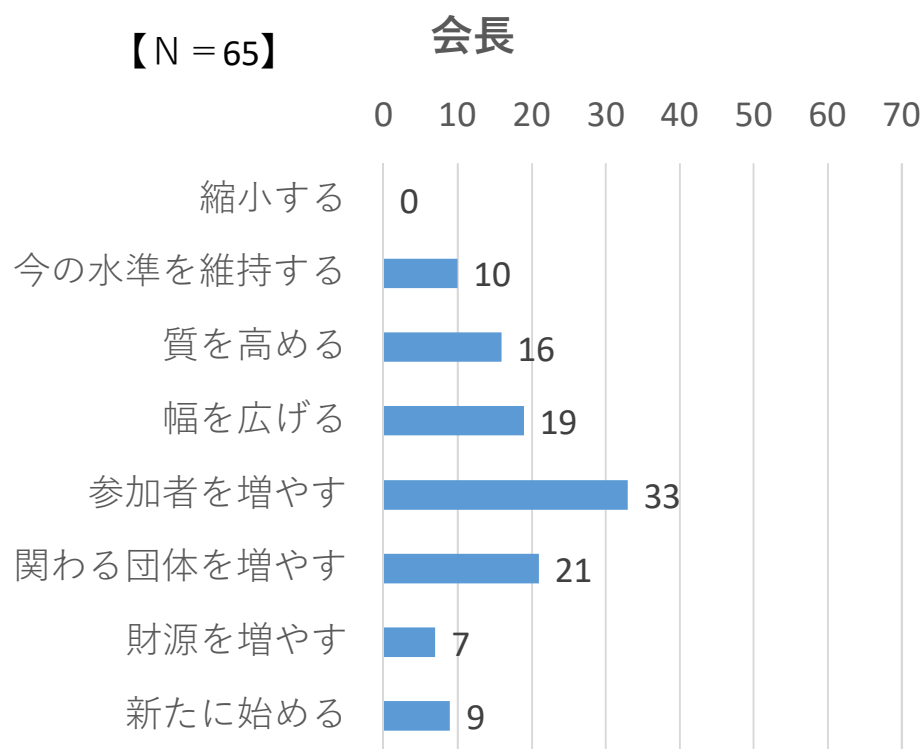
### ②年齢別比較



# 3. 今後の活動の方向性 (複数回答)

## 【地域活性化】

### ① 会長・部会長の比較

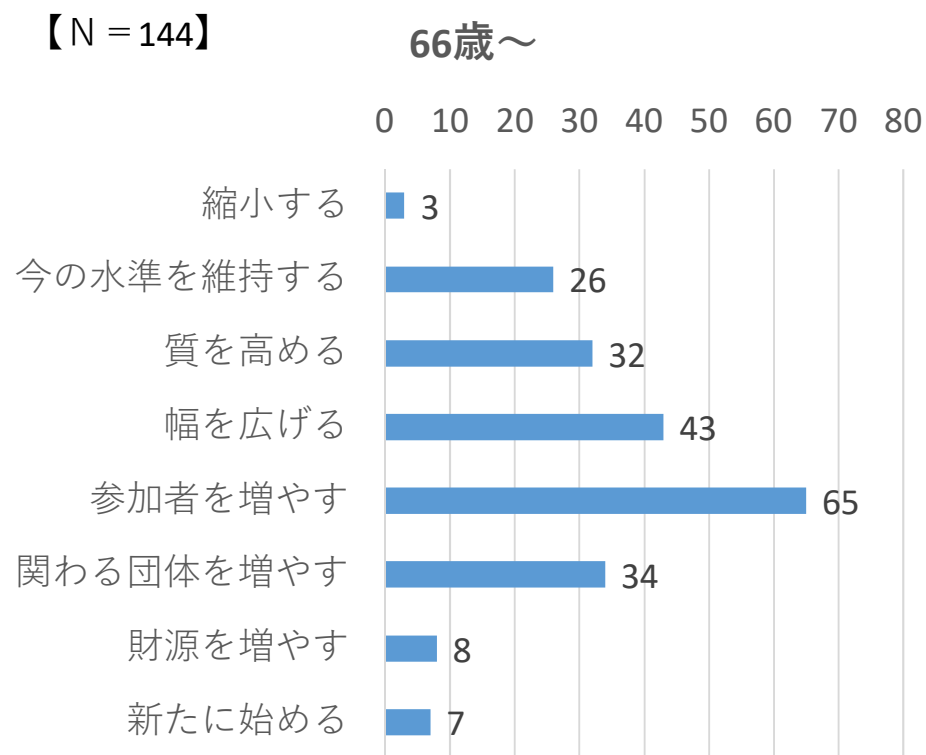
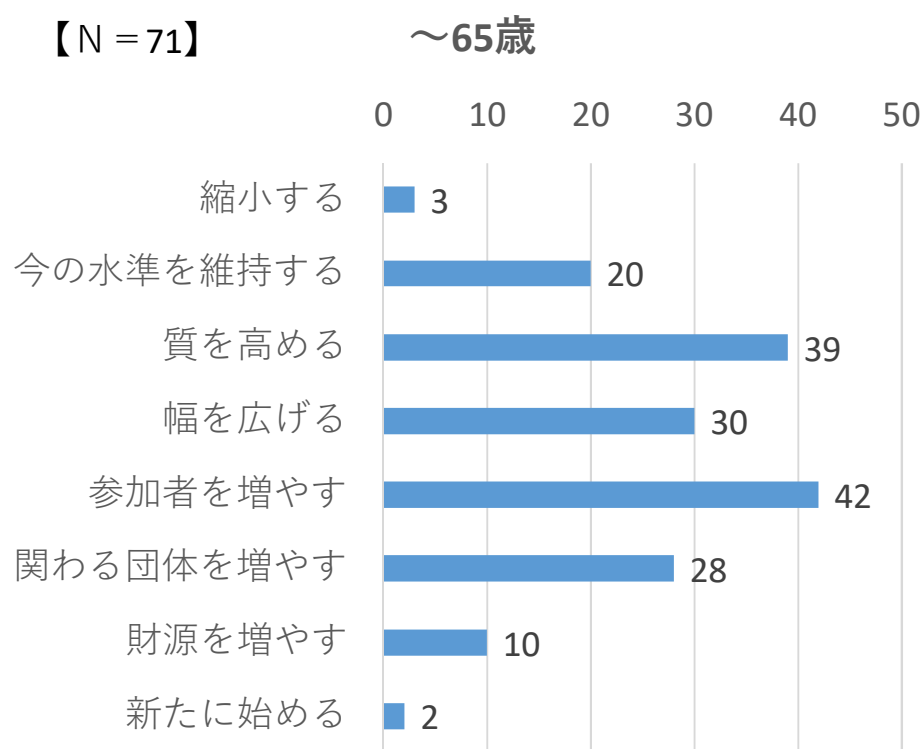




# 3. 今後の活動の方向性 (複数回答)

## 【地域活性化】

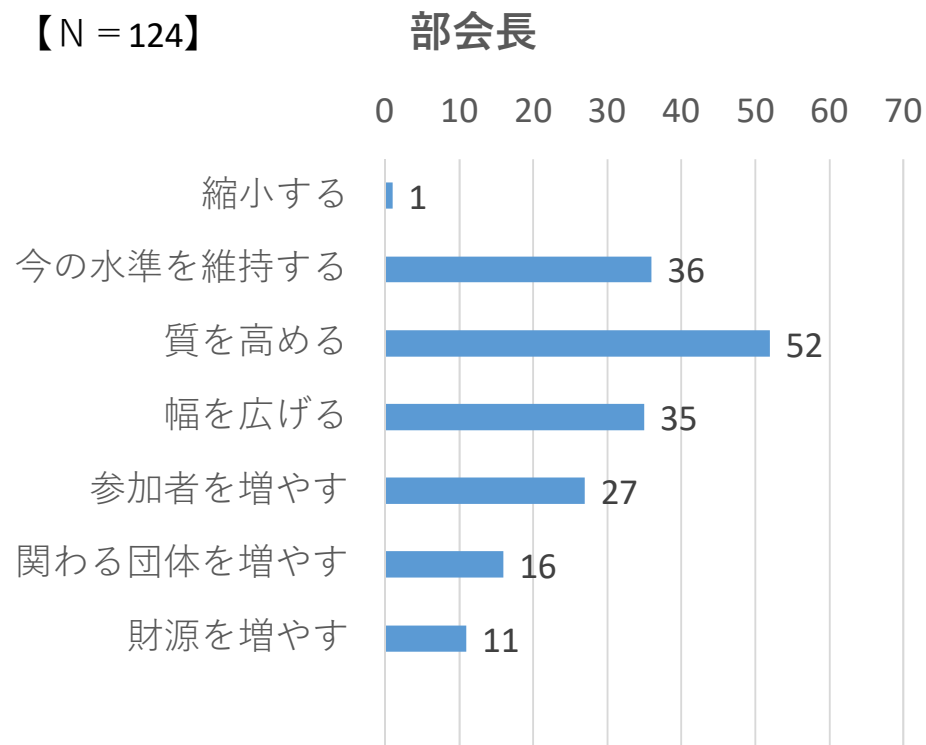
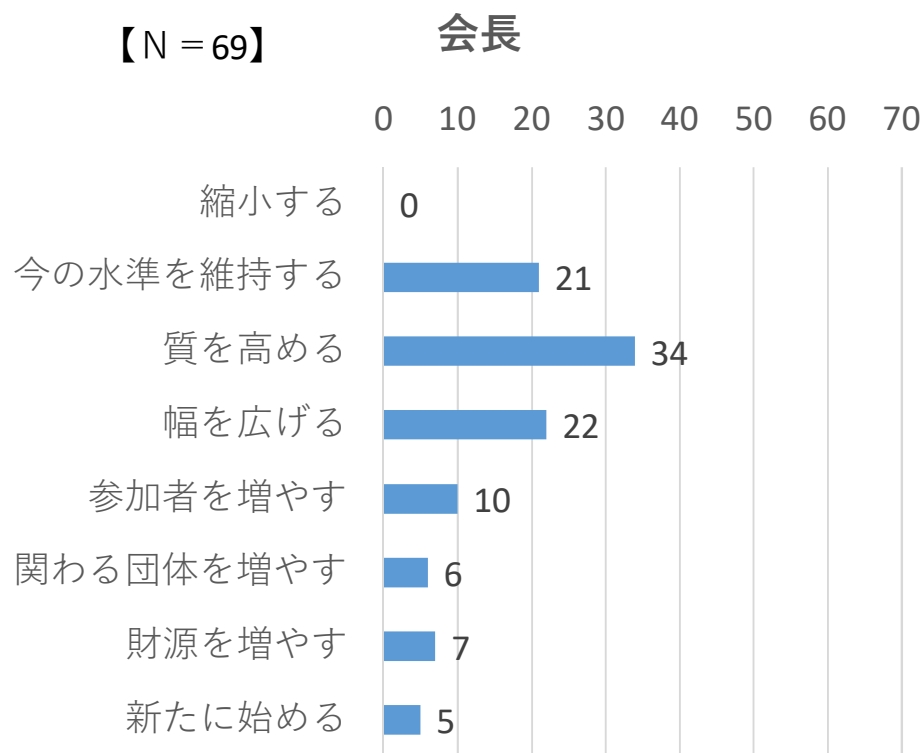
### ② 年齢別比較



# 3. 今後の活動の方向性 (複数回答)

## 【広報・情報発信】

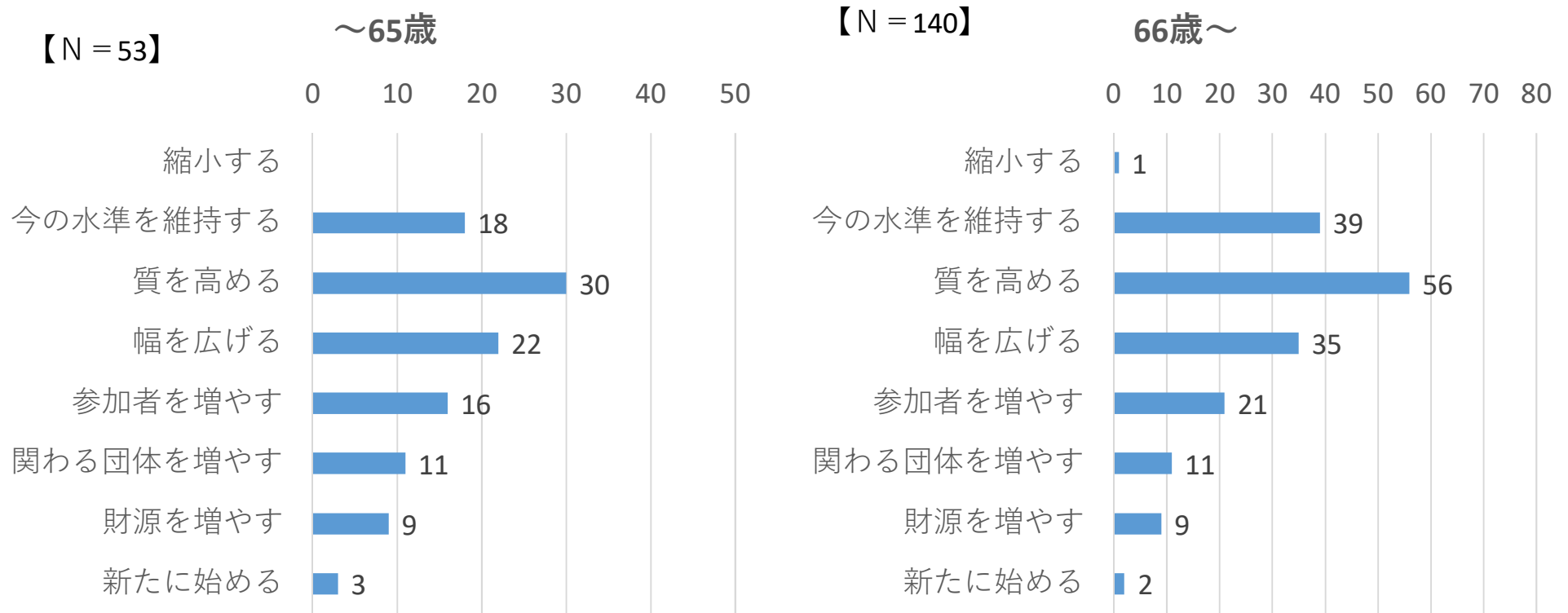
### ① 会長・部会長の比較



# 3. 今後の活動の方向性 (複数回答)

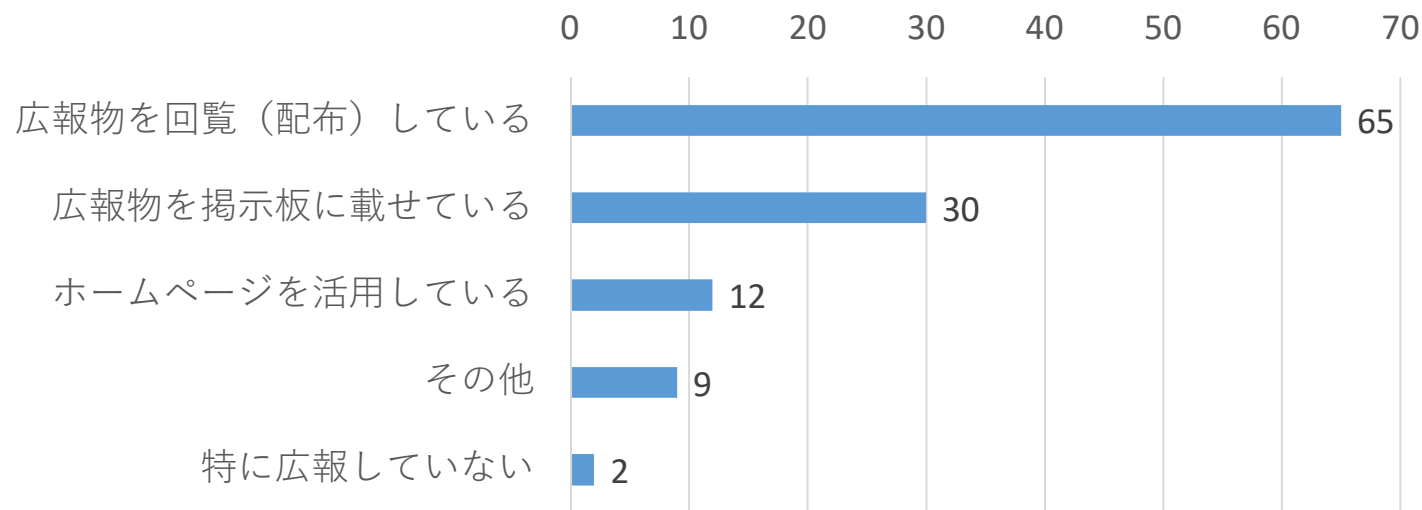
## 【広報・情報発信】

### ② 年齢別比較



## 4.活動の広報について（複数回答）

【N = 70】



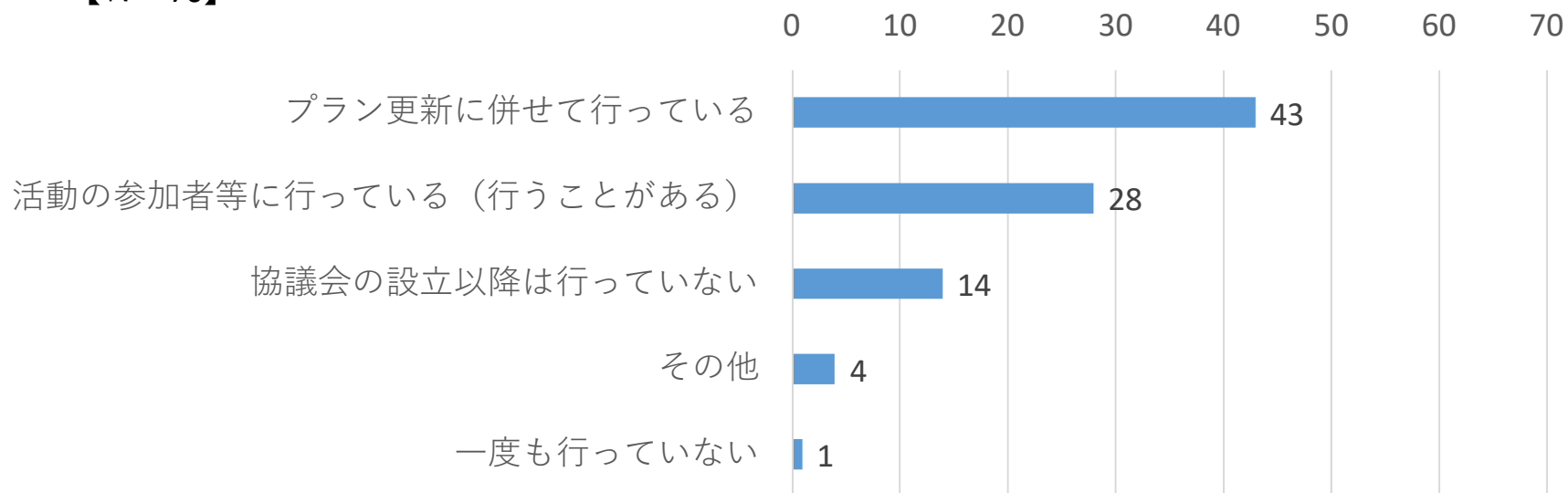
### 【その他の意見】

- ・ 防災無線の活用（宮、牟礼岡、本名、生見、瀬々串）
- ・ 全戸配布を年に数回実施（八幡、吉野東）

紙媒体の広報誌を活用している協議会が多く、ホームページを活用している協議会は2割程度にとどまった。

# 5.地域住民へのアンケートについて (複数回答)

【N = 70】



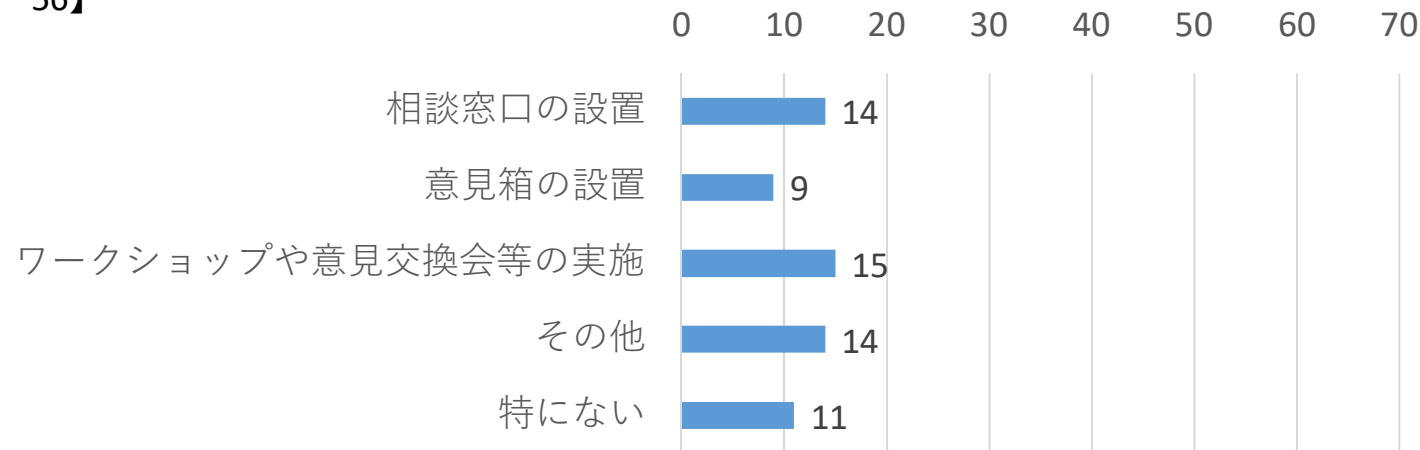
## 【その他の意見】

- ・ 前回のプラン更新時にはアンケートを行った (皇徳寺)
- ・ 各町内会 (役員会等) で評価し、町内会としての評価としている (川上)

プラン更新に併せてアンケートを行っている協議会が多い。

# 6.住民の声を聞く取組み（複数回答） （アンケート以外）

【N = 56】



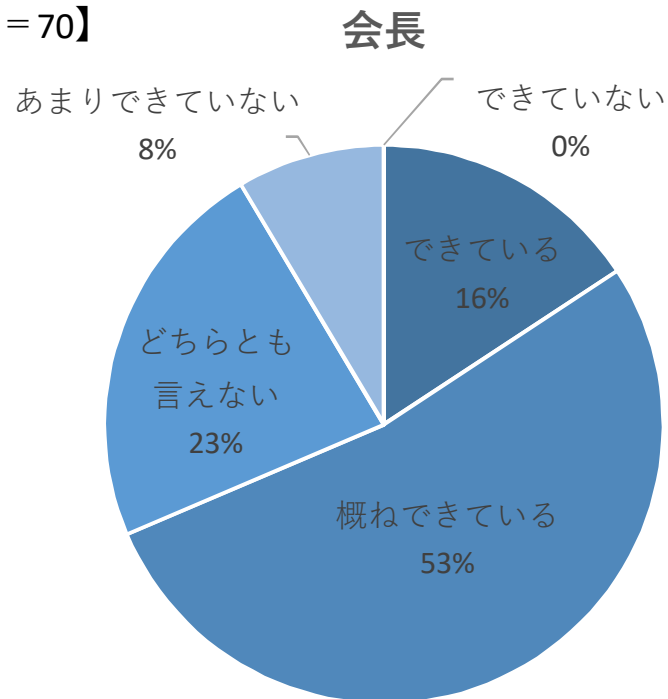
## 【その他の意見】

- ・日常生活時の会話で住民の声を聴くことが多い
- ・各町内会の役員会等で実施
- ・スクールゾーン委員会、各町内の総会や夏祭りへの参加

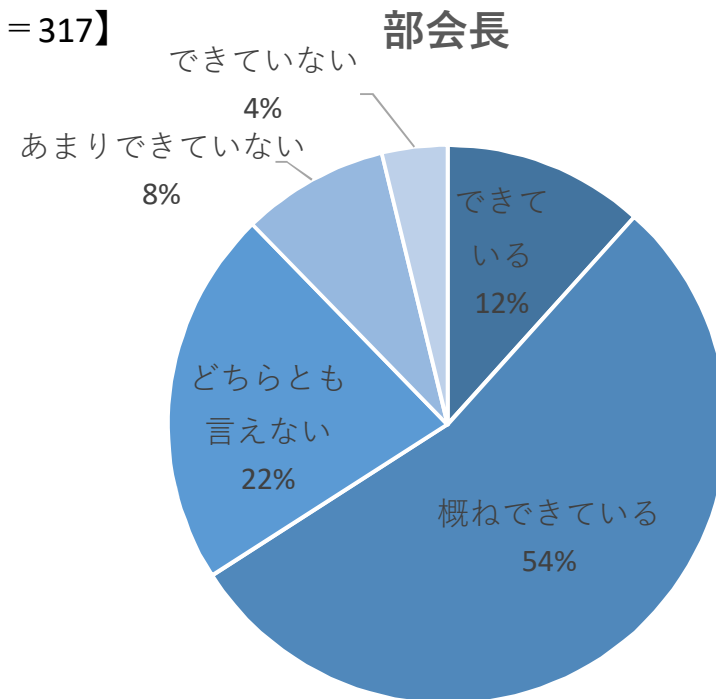
アンケート以外にも各協議会において、様々な方法で住民の声を聞く取組みを行っている。

# 7. 構成団体の特性を生かした活動

【N = 70】



【N = 317】



会長と部会長の間に大きな差はみられず、会長・部会長ともに7割が「できている」又は「概ねできている」と回答している。

# 8.構成団体との連携（記述） （うまくいかなかった事例）

《事例》会長	校区 (一例)	《事例》部会長	校区 (一例)
地域のこどもが参加する行事で地域PTA・あいご会との連携が十分でなかった。相互の連絡・調整の場がないことが問題。	武岡	役員の任期が短く、交流・親睦が一過性となる。また、事業の内容や運営を理解するには多少の時間が必要なため、改善点まで話し合いの中で決定することが難しい。	桜ヶ丘西
福祉部会の事業はすべて校区社協や民生委員会、老人クラブなどの事業と重なる部分が多くうまくいかないことが多かった。	武岡台		大龍 西伊敷 坂元台 西陵 清水
行事のなかには、参加者が各町内会ばかりで、地域住民含む各団体は不参加のケースも。	鴨池	参加団体が決まってきており、本業が忙しい等を理由に部会に出てこない団体もある。	
頻繁に部会長が変わると、継続性の面で運営がうまく行かないことがある。	牟礼岡	通学ボランティアに関わる団体が複数あり、関係性が複雑で調整に手間取る。	西伊敷
あいご会やPTAなど学校関連団体と連携が取れないことがある。	宇宿 本名	どうしても小中学校との行事になってしまうので、幼・高・支援学校との共催事業は難しかった。	武岡台
部会に関わる事業を仕事としている構成団体は、事業そのもののポテンシャルが高いため、一般部会員とはレベルがあわない。そのため、専門性の高い事業所は部会への出席率が低い。	春山	校区社協、民生委員会、福祉施設等との行事と重なる部分が多く、話し合うことができない。	武岡台

連絡・調整の場がないことでコミュニケーションが十分にとれず、事業の棲み分けや参加協力に関する課題が見られる。

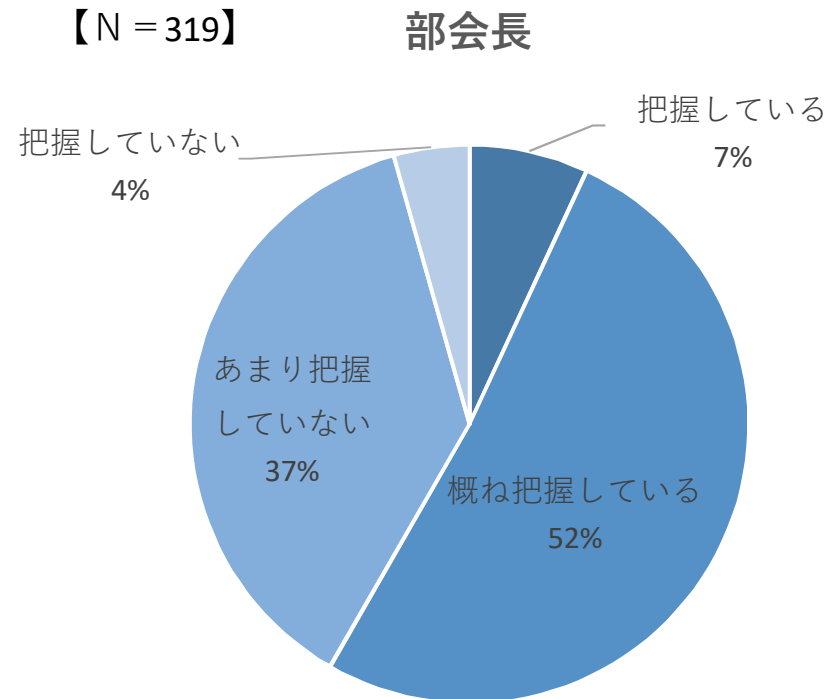
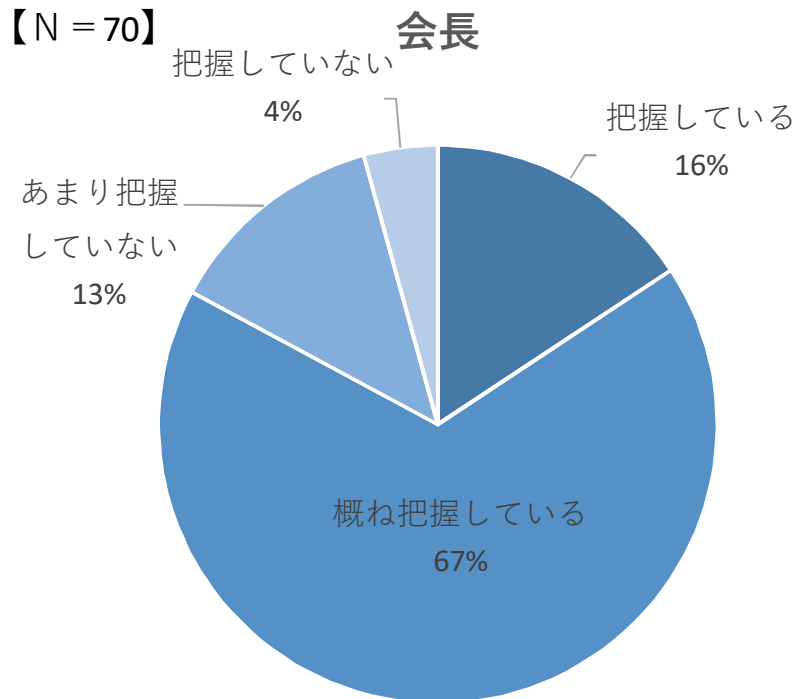


# 9.構成団体との連携（記述） （うまくいった事例）

《事例》会長	校区 (一例)	《事例》部会長	校区 (一例)
社会福祉協議会等と協力して、各部員の特性を生かした効率的な事業ができています。	武岡、喜入、大龍	商工会と連携し、谷山ふるさと祭やおはら祭に、協議会のゆるキャラ「谷じい」と一緒に参加することで、谷山の魅力・特色発信につながった。	谷山
施設入居者参加型の各種事業を企画した。	星ヶ峯東、中山	すこやか祭りを校区社協との共催。中央保健センター、長寿あんしんセンター、医療福祉施設等の協力を得ながら健康相談等の事業を行った。	八幡
大学と連携し、教職員人材の活用や学生との交流（事業協力）を実施した。	錦江台、紫原	校区内でバラバラに活動するボランティアを安心安全ネットワークとして構築し情報の共有や連帯感を醸成して校区内の安心安全に取り組む。	田上
文化祭に併せて消防車の展示や活動演技、医療機関による健康相談を実施した。	松原	桜島地域全体を一つとして、各校区コミュニティ協議会とも連携し、地域支援を行っている。例えば、高齢者のワクチン接種予約代行サービスを桜島地域一体となってコミュニティ協議会員が実施。	桜峰
部会に所属する構成団体同士のネットワーク事業を実施した。（例）医療福祉、学校、自主防災等	八幡	青少年研修センター、地域の企業との協力し、異世代交流のものづくり教室を実施。	石谷
構成団体の代表者が出席する運営委員会を開催し、相互に意見交換する場を設置した。	谷山、西谷山		
商店街と連携し、コロナ対策を協議しながら夏祭りを開催した。	向陽		

- ・ 構成団体同士のコミュニケーションが取れており、互いの特性を生かした事業が好事例として多く紹介されている。
- ・ 八幡校区コミュニティ協議会は構成団体が連絡・調整する場を部会とは別途設けており、構成団体同士のネットワーク強化に取り組んでいる。

# 10. 校区内で地域活動に取り組む団体



会長の約8割が「把握している」又は「概ね把握している」と回答している一方で、部会長は「把握している」又は「概ね把握している」の回答が6割にとどまっている。

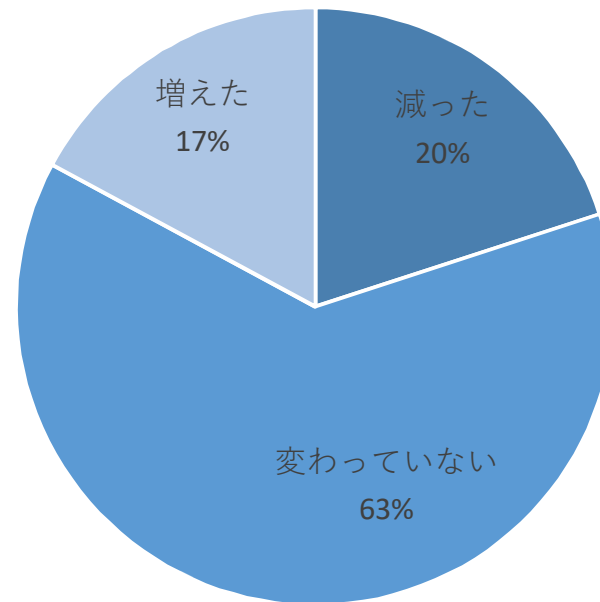
# 11.民間企業の参画について（記述） （医療福祉事業者以外）

業種	具体的な企業名・参画の内容など	校区（一例）
建設業	清掃美化活動に参加	伊敷台 向陽
建設業	建設業の方が地域貢献として、行事に協力的である。	平川
建設業、その他	飲食店、建設会社等、日赤関連、小規模企業等	桜ヶ丘西
農業	JA鹿児島みらい小山田支店	桜峰
農業、観光	谷山観光協会、JA坂之上支店	錦江台
農業、その他	農協、郵便局、ボランティアグループ	谷山
情報、交通	情報通信会社、交通事業者	武
不動産	不動産会社	松元
インフラ、金融	(株)コアガス (株)南日本銀行 (株)鹿児島銀行	小山田
その他	校区内の各種事業所が「広報活動への資金提供」や「リサイクル活動」に協力	鴨池
その他	宗教法人と社団法人は入れないこととしている	八幡

建設業や農協の参画が多く、その他地域の不動産会社等の参画もみられた。

# 12.構成団体数の変動について

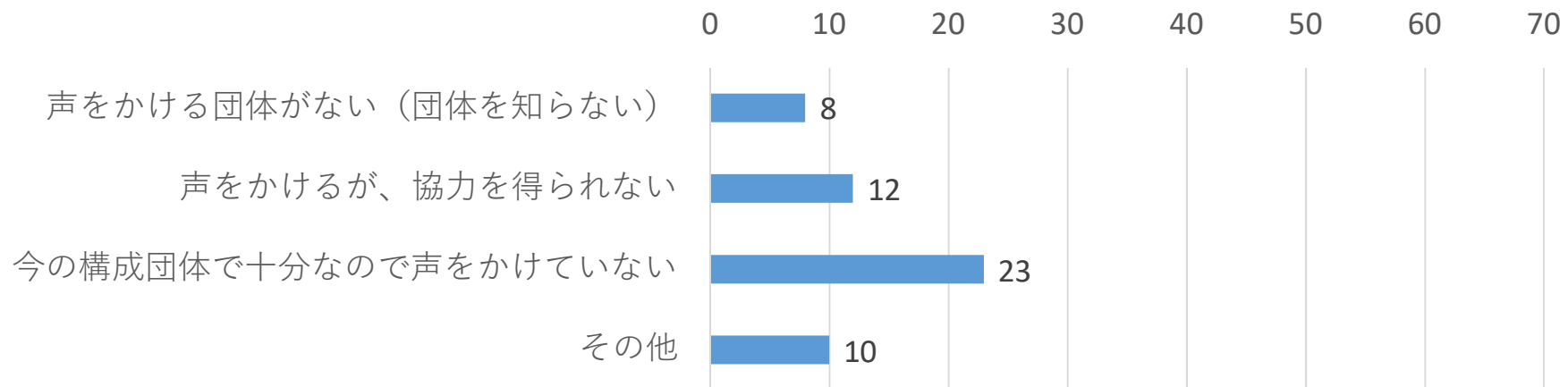
【N = 70】



協議会設立以降、構成団体が増えた協議会は約2割にとどまっている。

# 13.構成団体が増えていない原因 (複数回答)

【N = 52】



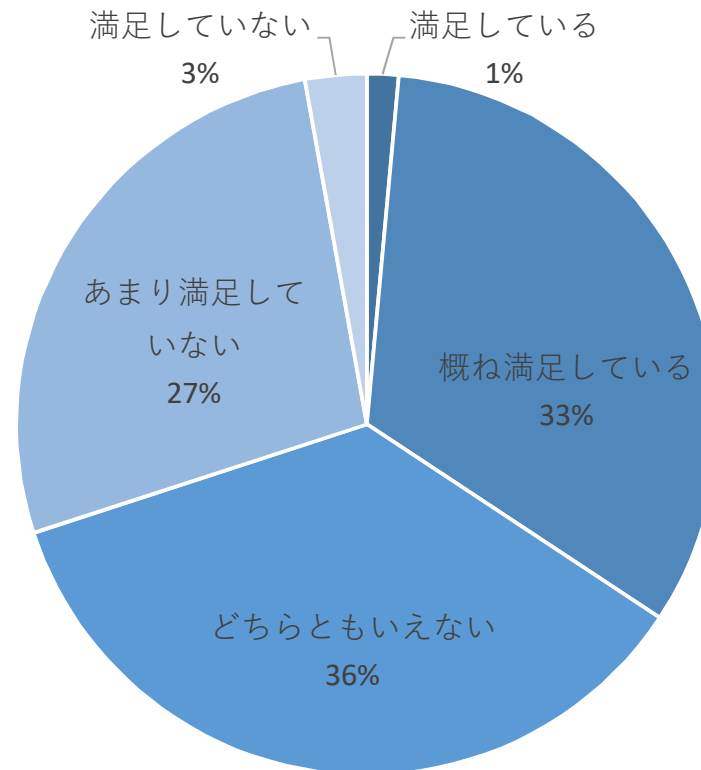
## 【その他の意見】

- ・これまでの団体のコミュニティへの移行に重点を置いた。
- ・主な構成団体が教育団体であり地域団体に参加を呼びかけても遠慮する。
- ・年5回の定例会の参加者が34名にのぼるため、これ以上増えると運営が大変。
- ・コミ協の組織に興味を持っていない。

団体が増えていない原因としては「今の構成団体で十分」が最も多い。

# 14.鹿児島市の施策への評価 【市民への意識啓発】

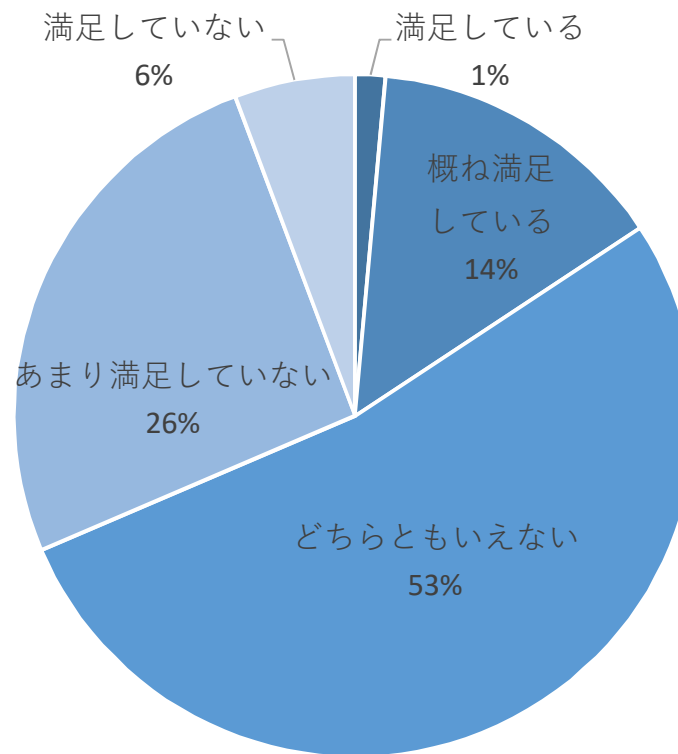
【N = 70】



「コーディネーターの育成」、「施設」、「各種情報提供」については満足度が高く、「意識啓発」、「会長や事務局の人材育成」、「構成団体の連携支援」については、相対的に満足度が低い傾向にあった。「補助金」については、満足度している声が多い一方で、「あまり満足していない」も一定数寄せられた。

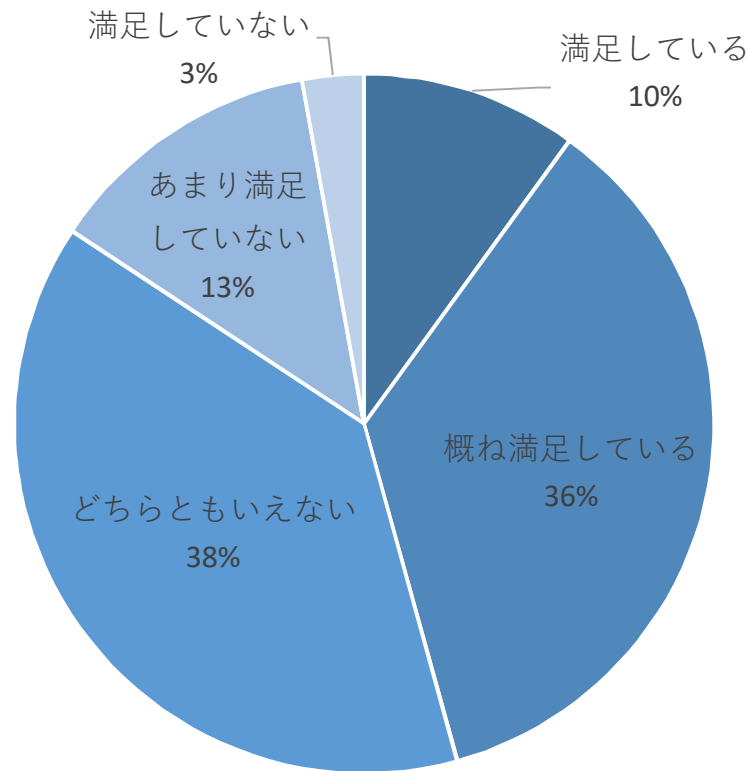
# 14.鹿児島市の施策への評価 【リーダーの育成】

【N = 70】



# 14.鹿児島市の施策への評価 【事務局の人材育成】

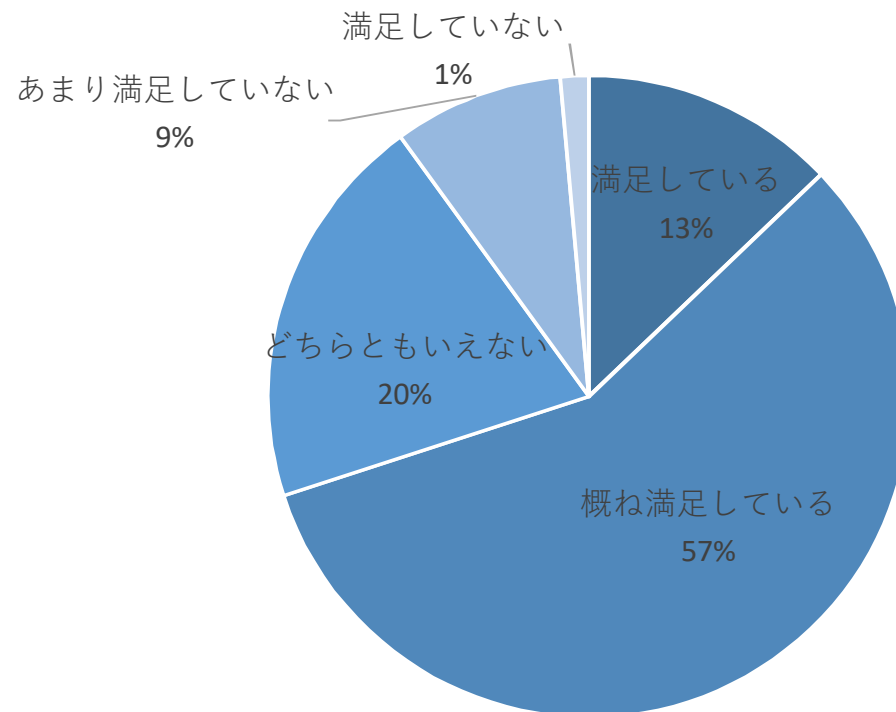
【N = 70】





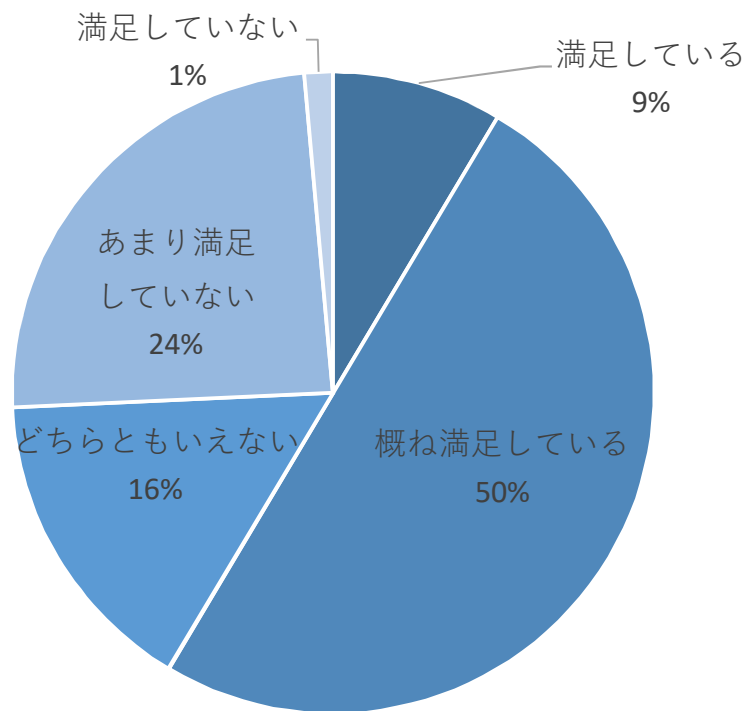
# 14.鹿児島市の施策への評価 【コーディネーターの育成・派遣】

【N = 70】



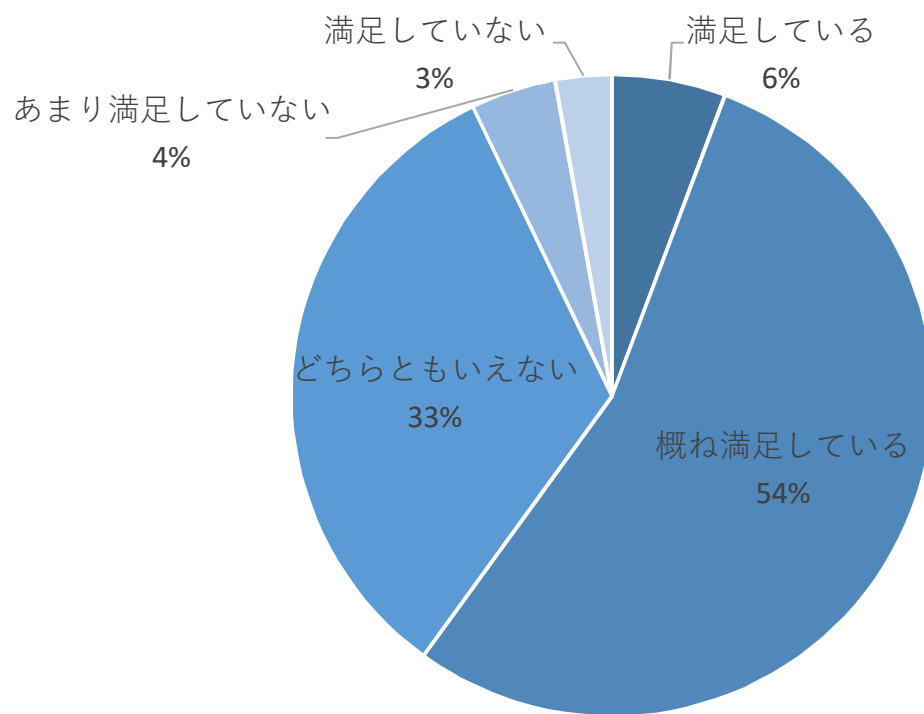
# 14.鹿児島市の施策への評価 【補助金制度】

【N = 70】



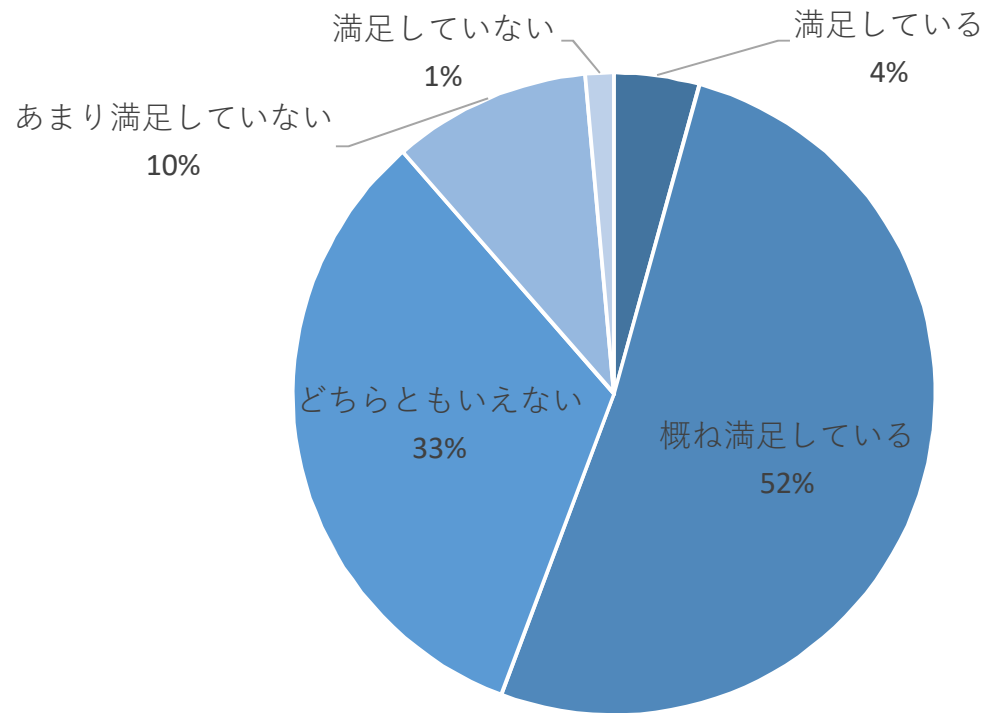
# 14.鹿児島市の施策への評価 【活動拠点の確保】

【N = 70】



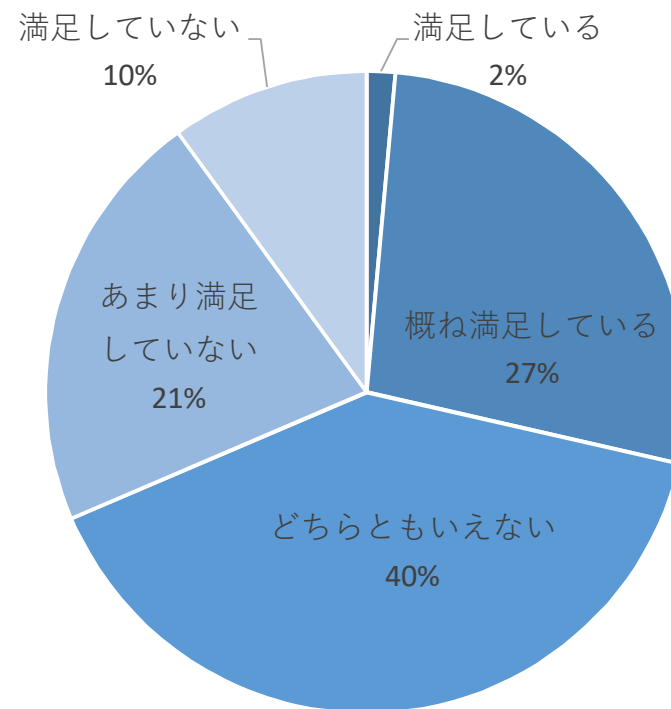
# 14.鹿児島市の施策への評価 【各種情報提供】

【N = 70】



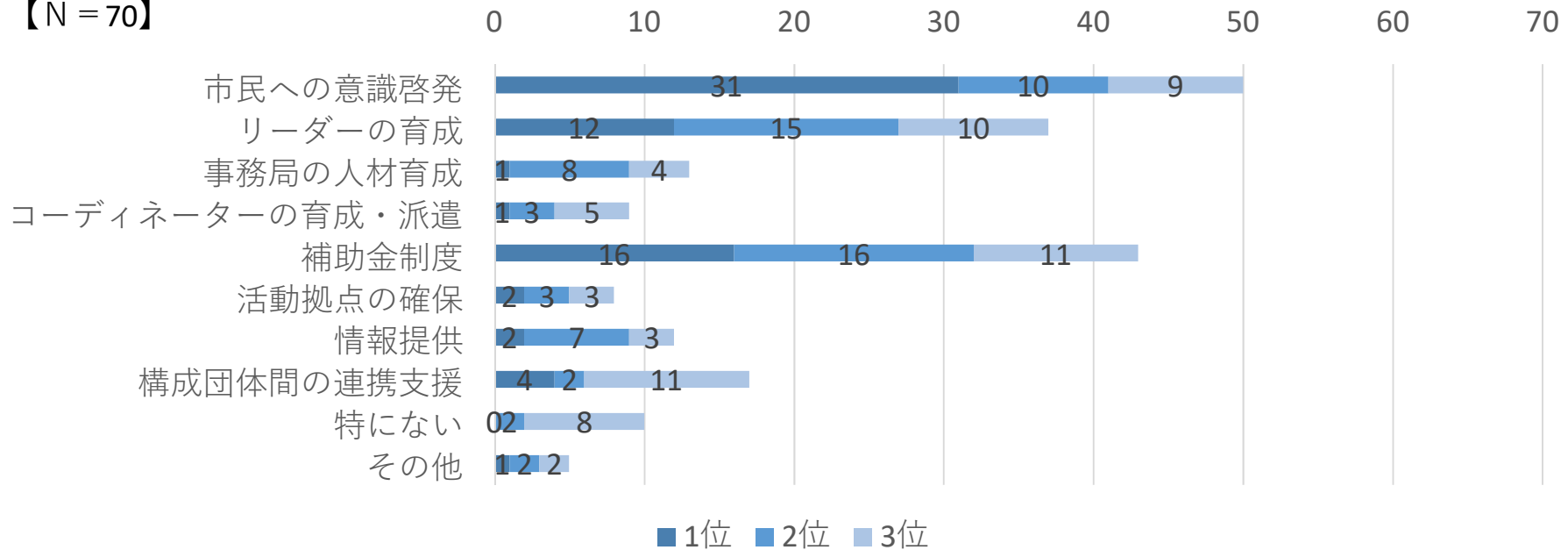
# 14.鹿児島市の施策への評価 【構成団体間の連携支援】

【N = 70】



# 15. 今後、鹿児島市に期待する施策 (上位3つ)

【N = 70】



## 【その他の意見】

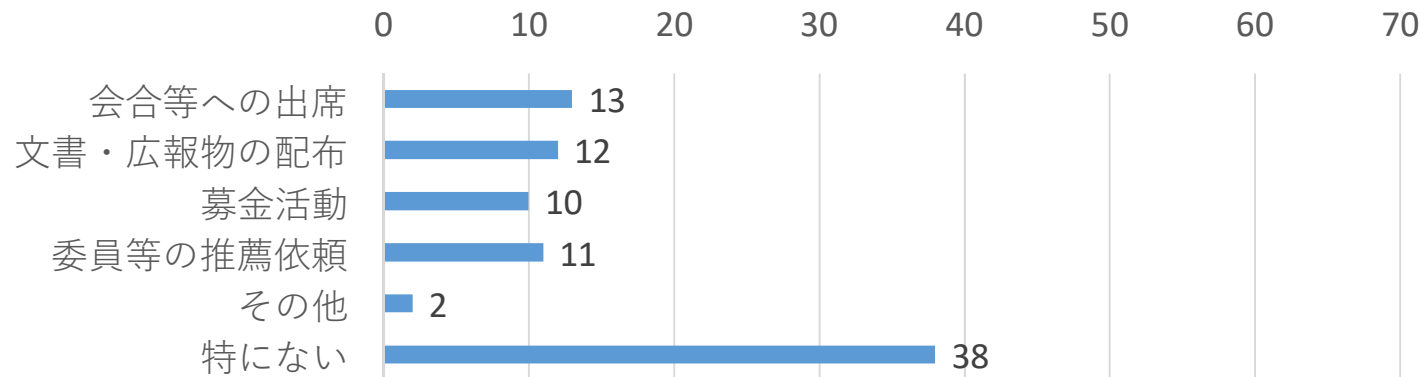
町内会の加入率向上、校区に住む市職員の活動協力  
過疎地域への更なる支援、若年層への活動参加への案内

「市民への意識啓発」、「リーダーの育成」、「補助金制度」を望む声が多い。

# 16. 行政の連絡業務の負担について

(複数回答)

【N = 70】

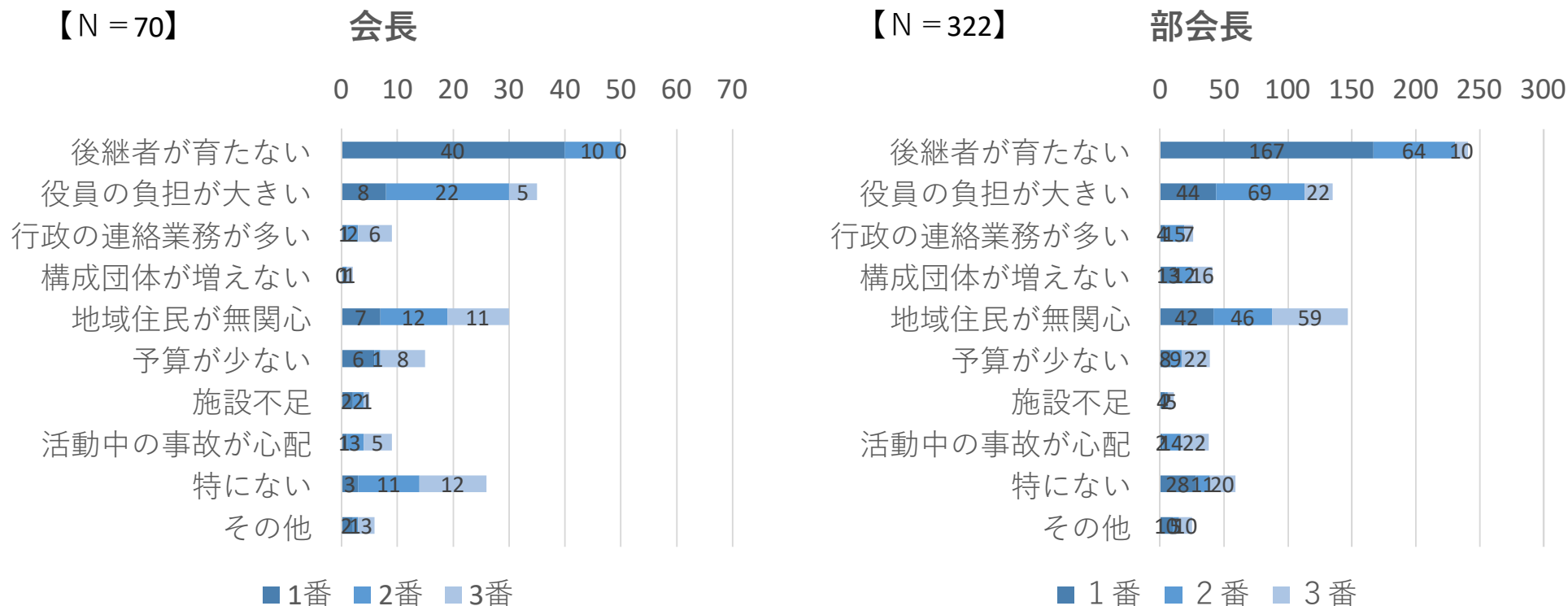


依頼の種類	具体的な依頼元
会合等への出席	連絡協議会、地域公民館、安心安全課など
文書・広報物の配布	地域公民館、社会福祉協議会
募金活動	日本赤十字社、社会福祉協議会、緑の羽根募金
委員等の推薦依頼	民生委員選考委員会、教育委員会
その他	各種アンケート

「特にない」が5割で最も多く、各依頼の種類もそれぞれ2割程度となっている。

# 17. 協議会の運営と活動に関する課題

## ① 会長・部会長の比較 (上位3つ)

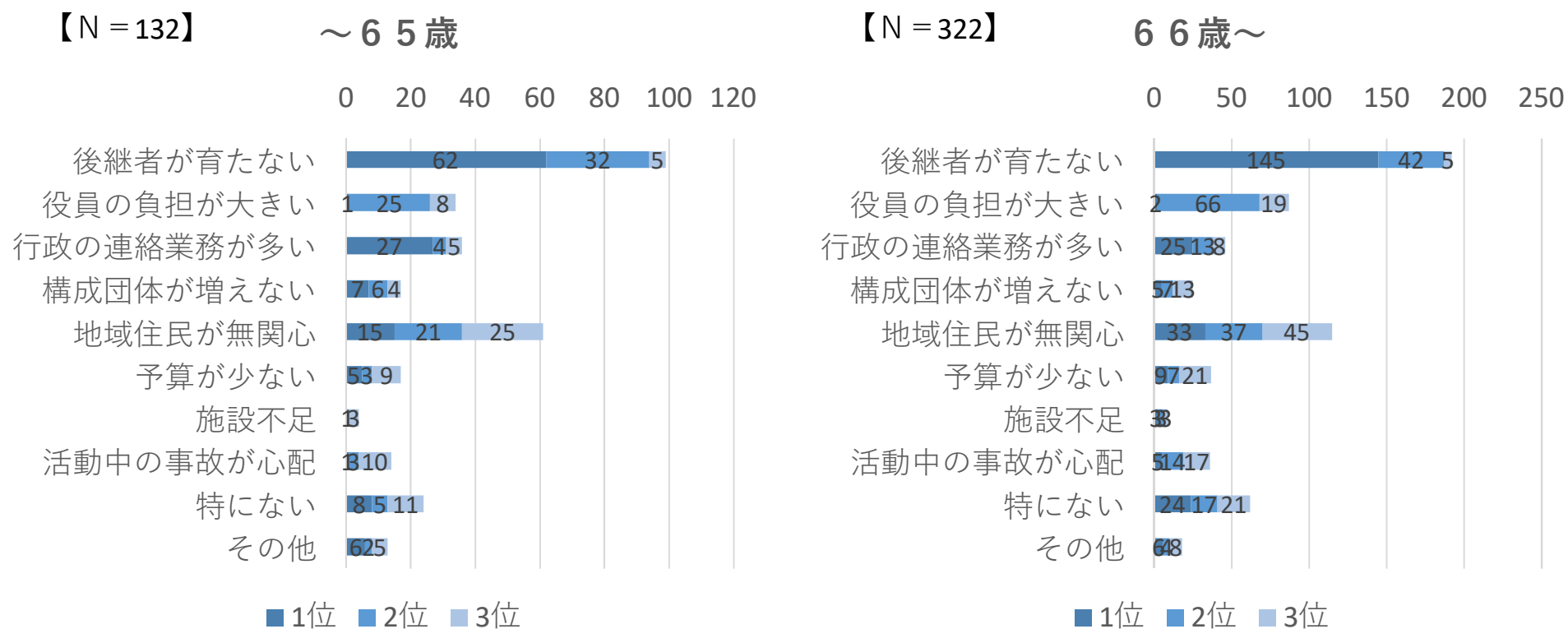


・「後継者が育たない」が最も多く、「役員の負担が大きい」、「地域住民が無関心」が会長・部会長ともに多い。市に期待する施策として「市民への意識啓発」、「リーダーの育成」が望まれる背景には上記の課題に起因すると考えられる。

・一方、市に期待する施策に「補助金制度」が多くみられたが、協議会の課題として「予算が少ない」を選ぶ協議会は限定的だった。



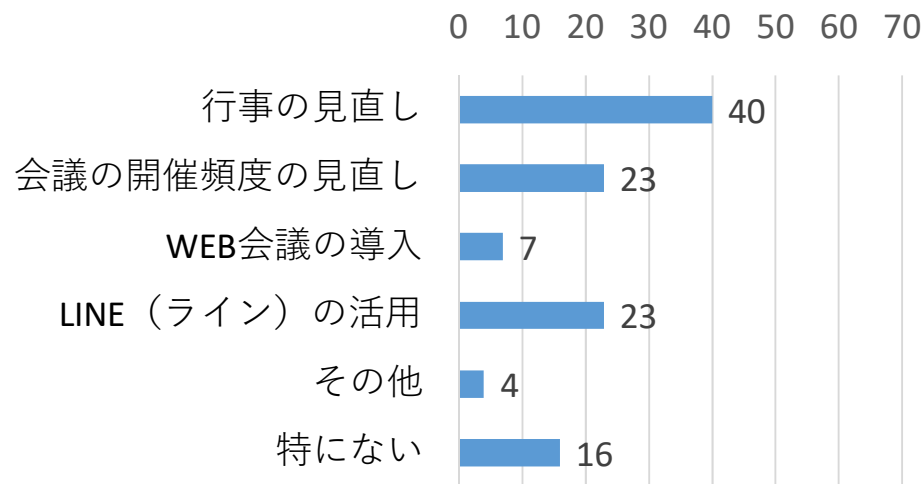
# 17. 協議会の運営と活動に関する課題 ② 年齢別比較 (上位3つ)



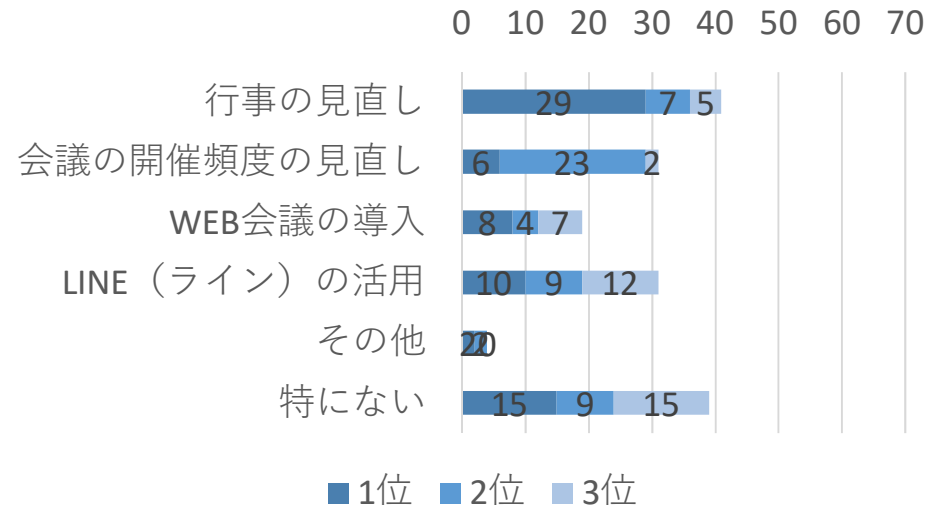
65歳以下と66歳以上で比較したが、その傾向に大きな差はみられなかった。

# 18-19.運営の負担軽減策

【N = 70】 実施済の負担軽減（複数回答）



【N = 70】 関心がある負担軽減策（上位3つ）



【その他意見】

- ・タブレットを活用したペーパーレス化（鴨池）
- ・連絡アプリ「バンド」の活用（大龍）
- ・会議の時間帯（桜ヶ丘西）

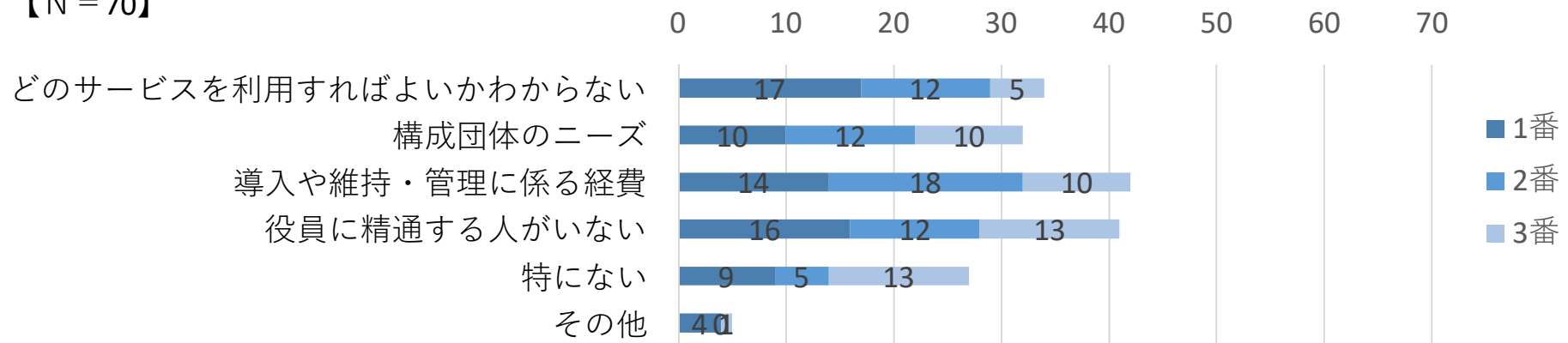
【その他意見】

- ・支所との連携を充分にする（中名）
- ・コミュニティ協議会と町内会が一体のため、何かと二重活動である。町内会のみで良いです。（錫山）
- ・会議開催時間の設定（花野）

- ・実施済の負担軽減策は「行事の見直し」が最も多く、次いで「会議の見直し」、「LINEの活用」が多い。また、関心がある軽減策についても同様の結果だった。
- ・2割の協議会は負担軽減に関心がないと回答している。

# 20. ICTの活用に対する不安・課題 (上位3つ)

【N = 70】



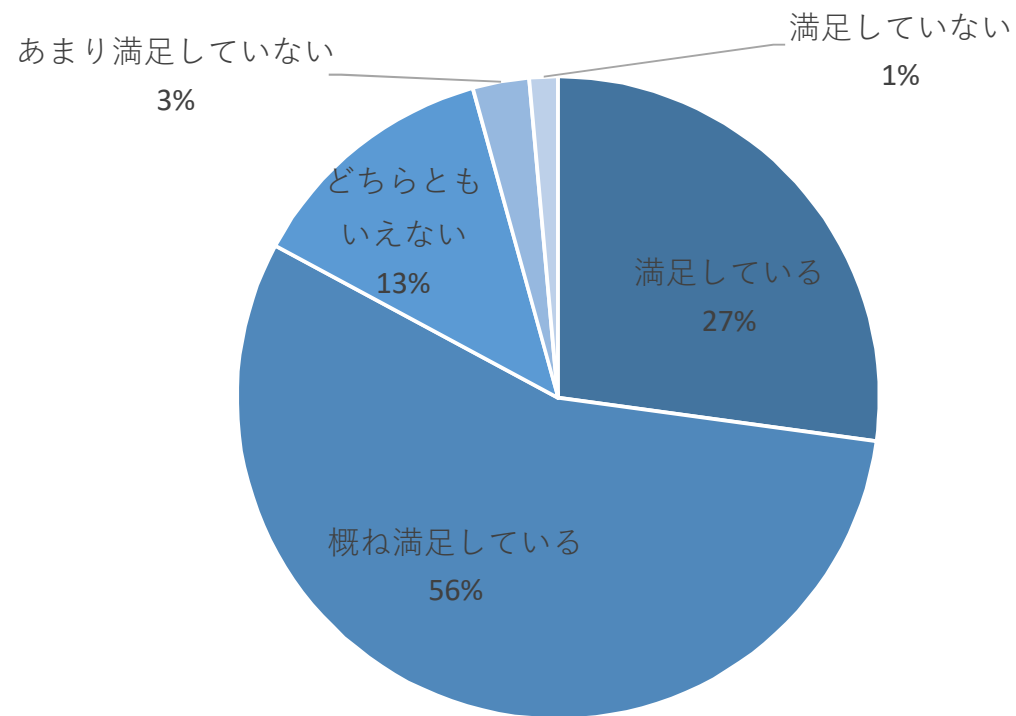
## 【その他意見】

- ・ 会長が活用できない
- ・ PC、スマホを利用しないメンバーがいる
- ・ 対応できる役員とできない役員の差が大きい
- ・ 町内会、社協など高齢者が多く活用に時間を要する
- ・ 個人端末のセキュリティ

9割の会長がICTの活用にあたり、何かしらの不安を感じている。

# 21.地域連携コーディネーターの 支援体制に対する評価

【N = 70】

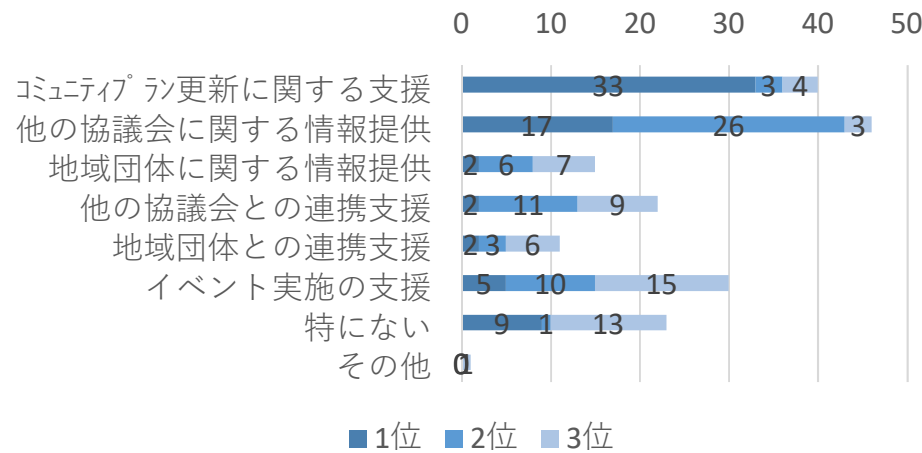


約8割が「満足している」又は「概ね満足している」と回答している。

# 22. 今後、コーディネーターに期待する役割 (上位3つ)

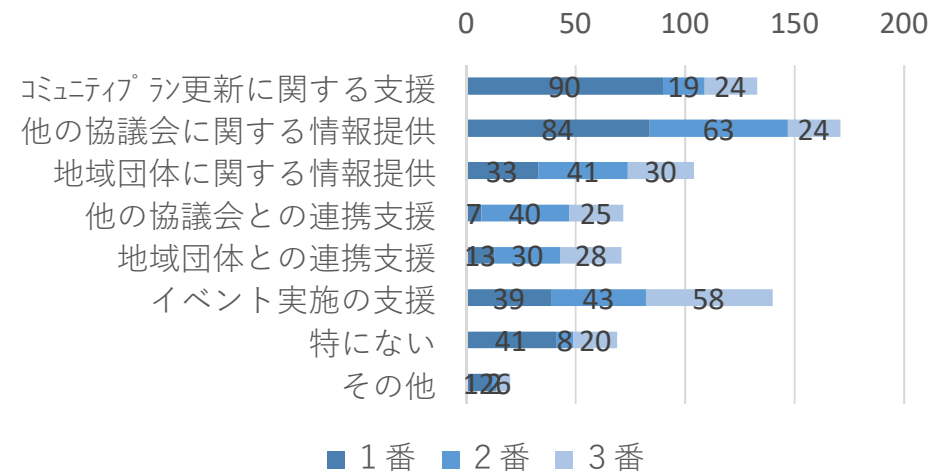
【N = 70】

会長



【N = 319】

部会長



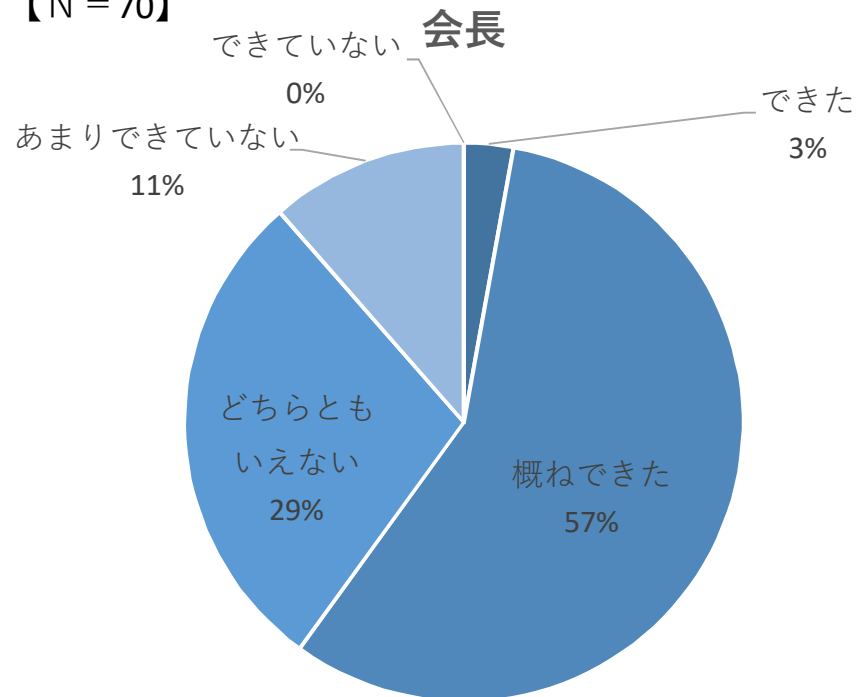
《その他の意見》

- ・鹿児島市全体として、各地域にコミュニティ協議会が置かれていることをもっと広報してほしい。
- ・どのように周りを巻き込んで進めていくのか
- ・積極的なデジタル化支援
- ・第三者の視点で活動に緊張感を与える役であって欲しい。
- ・コーディネーターとの関係は作っていない

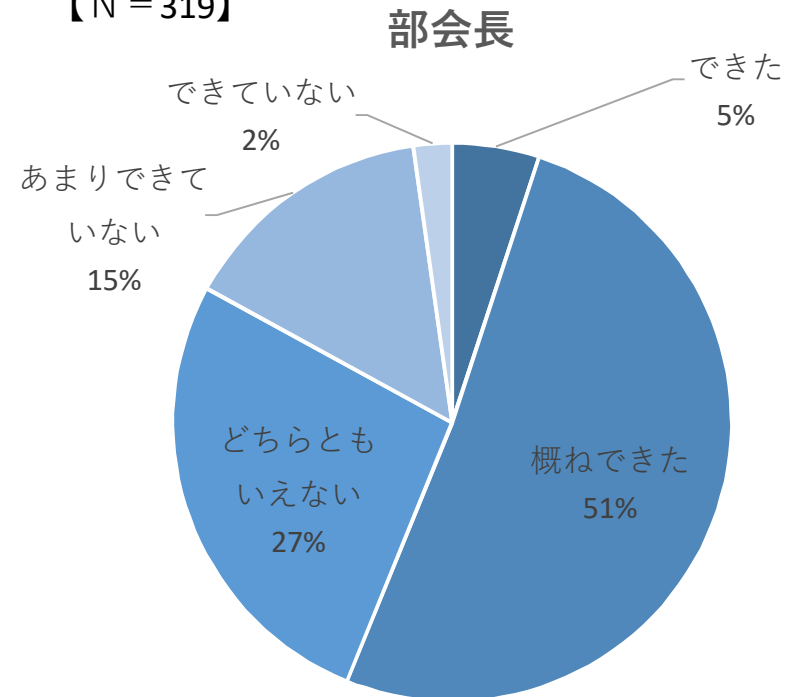
会長・部会長ともに現在も行っている「他の協議会に関する情報提供」や「コミュニティプラン更新の支援」が多く、現在は行っていない「イベント実施の支援」が次いで多かった。

## 23. 貴協議会の現状に対する評価 【住民参加（主体的な参加と協働）】

【N = 70】



【N = 319】

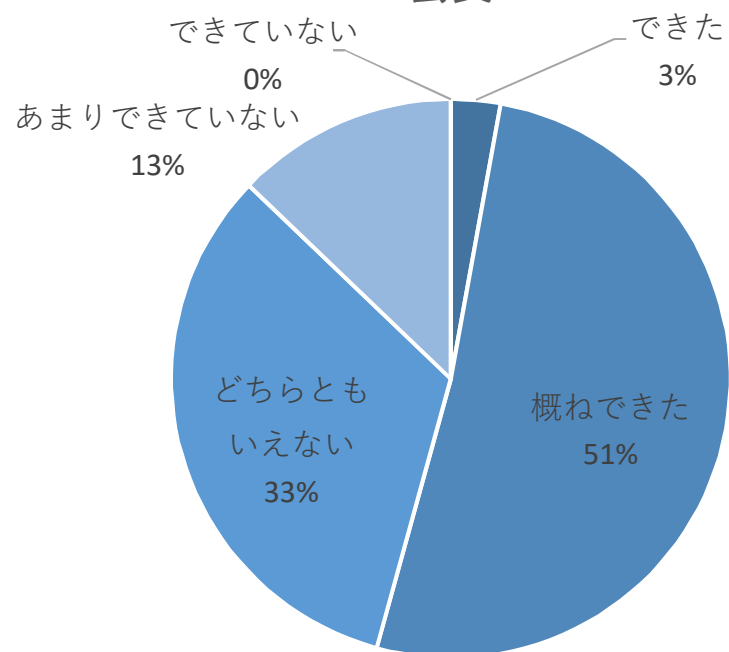


- ・会長と部会長の間に大きな差はみられなかった。
- ・会長・部会長ともに、「住民参加」、「共助と連携」については、約5割が「できた」又は「概ねできた」と回答しているのに対し、「多様性と創造（新たな取組の創出）」について、「できた」又は「概ねできた」と回答した割合は3割にとどまった。

## 23. 貴協議会の現状に対する評価 【共助と連携（団体間の連携）】

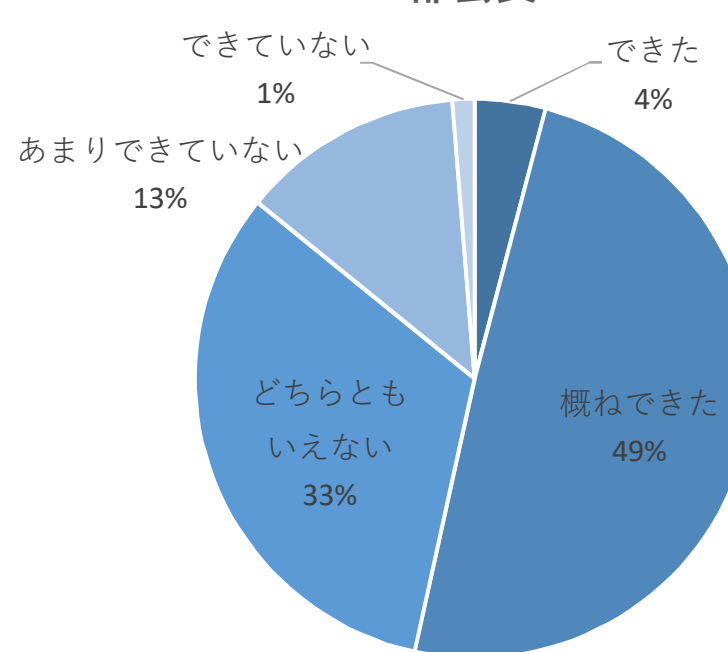
【N = 70】

会長



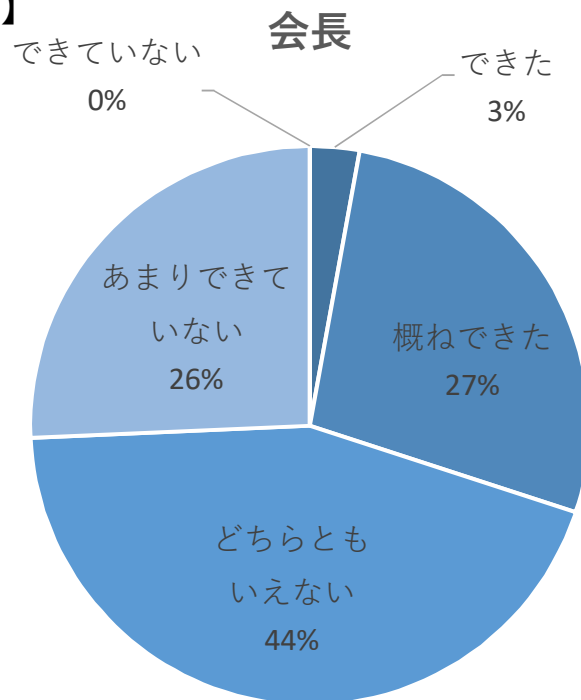
【N = 319】

部会長

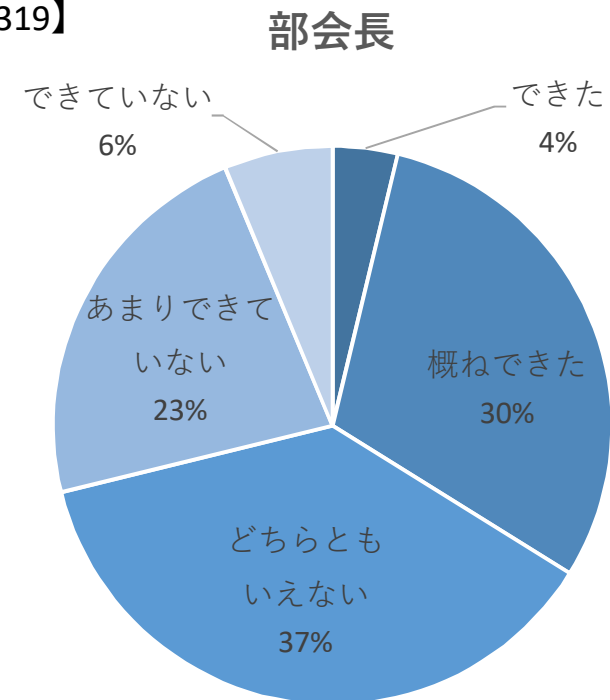


# 23. 貴協議会の現状に対する評価 【多様性と創造（新たな取組みの創出）】

【N = 70】



【N = 319】

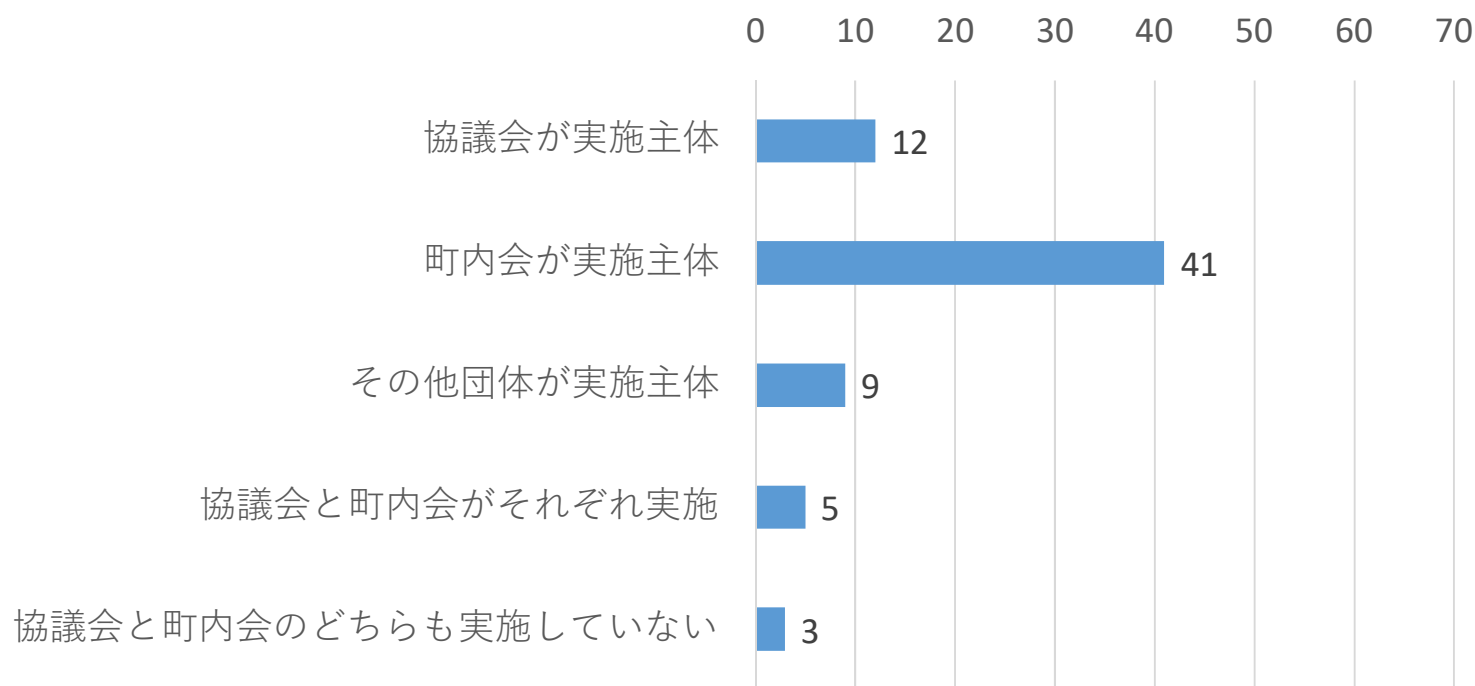






## 24.活動の実施主体 【夏祭り・六月灯】

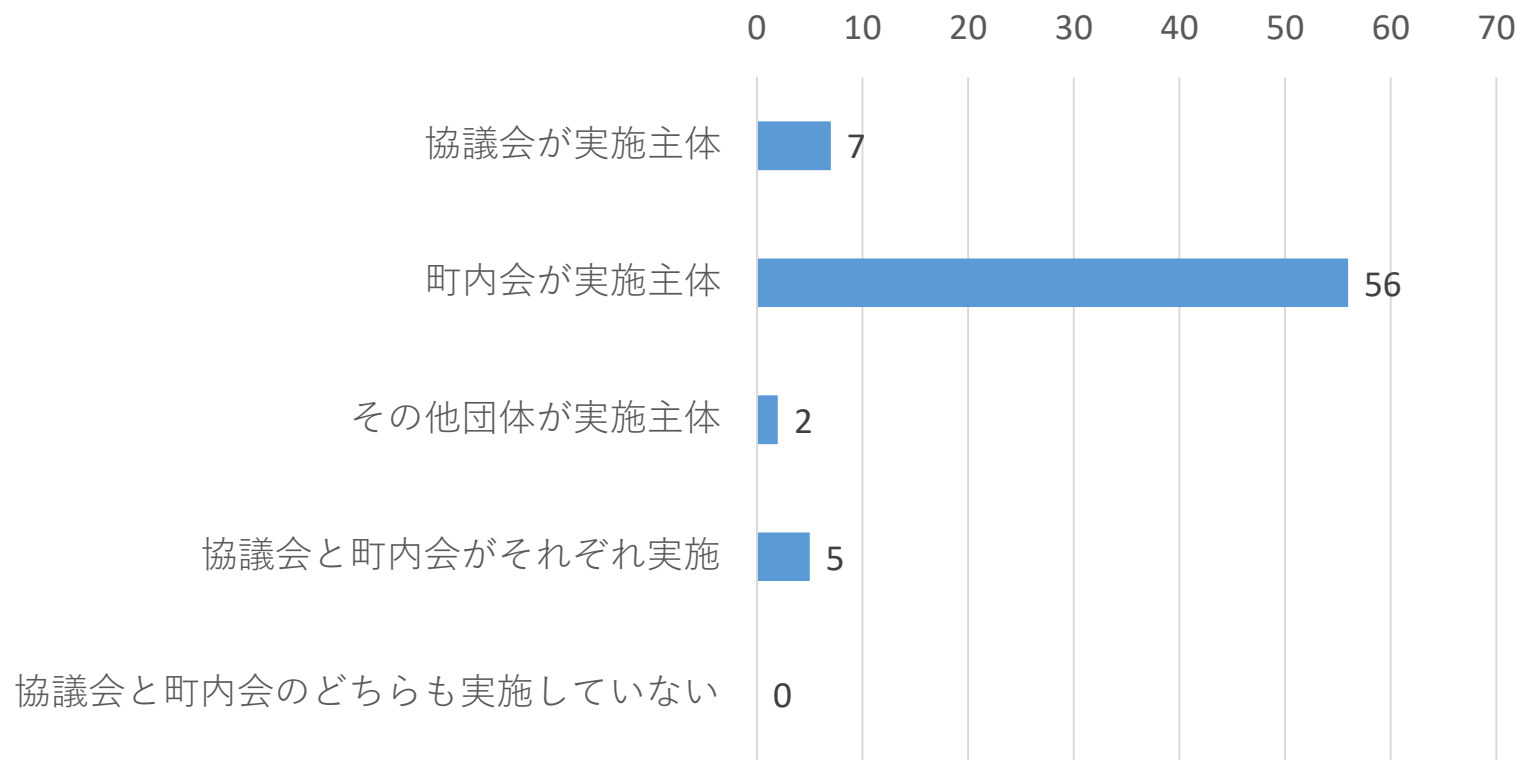
【N = 70】



多くの事業が、協議会と町内会で実施が分かれていたが、「各種講座」や「消防訓練」、「防災訓練」については、協議会と町内会がそれぞれ実施している協議会も一定数みられた。

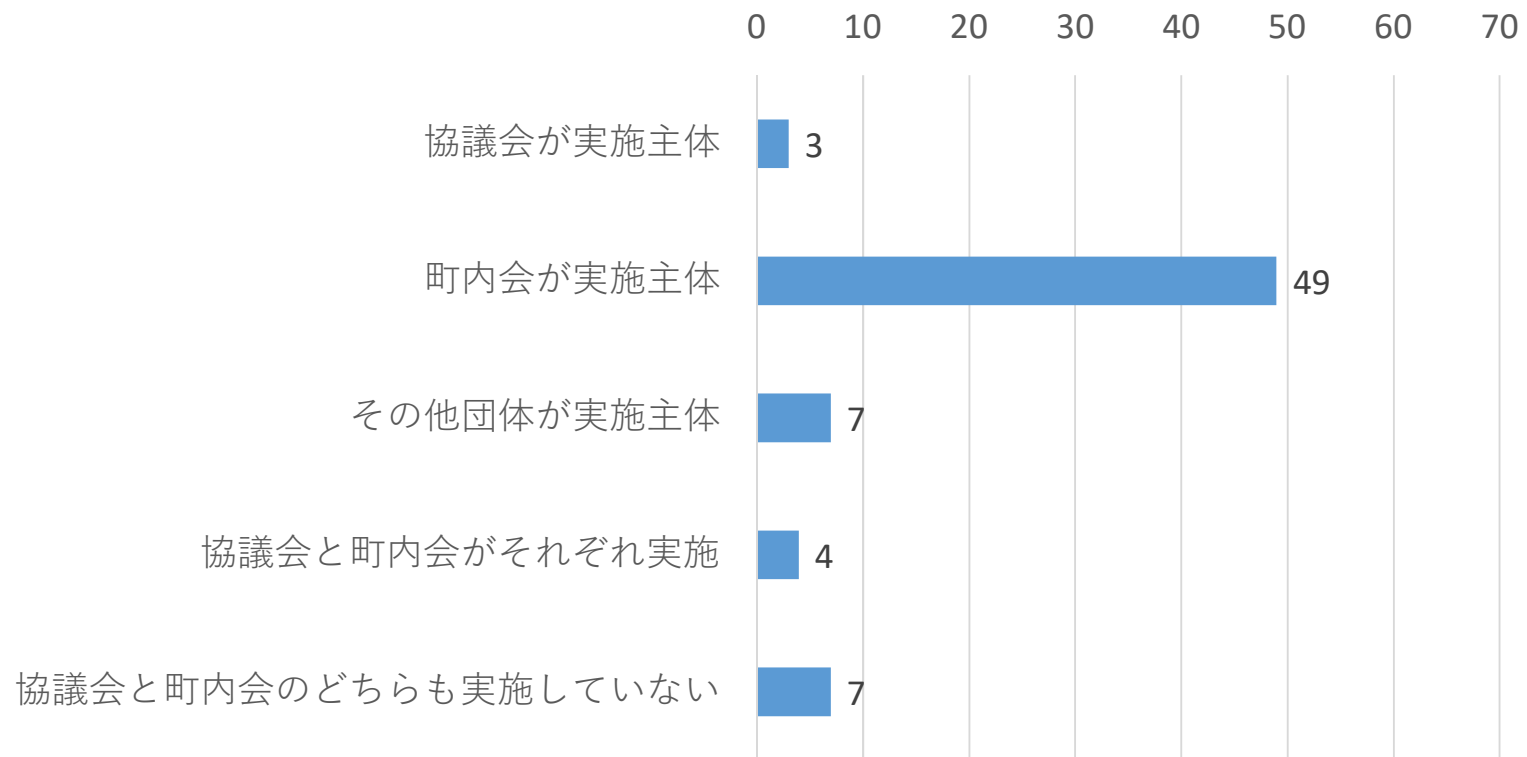
# 24.活動の実施主体 【敬老会】

【N = 70】



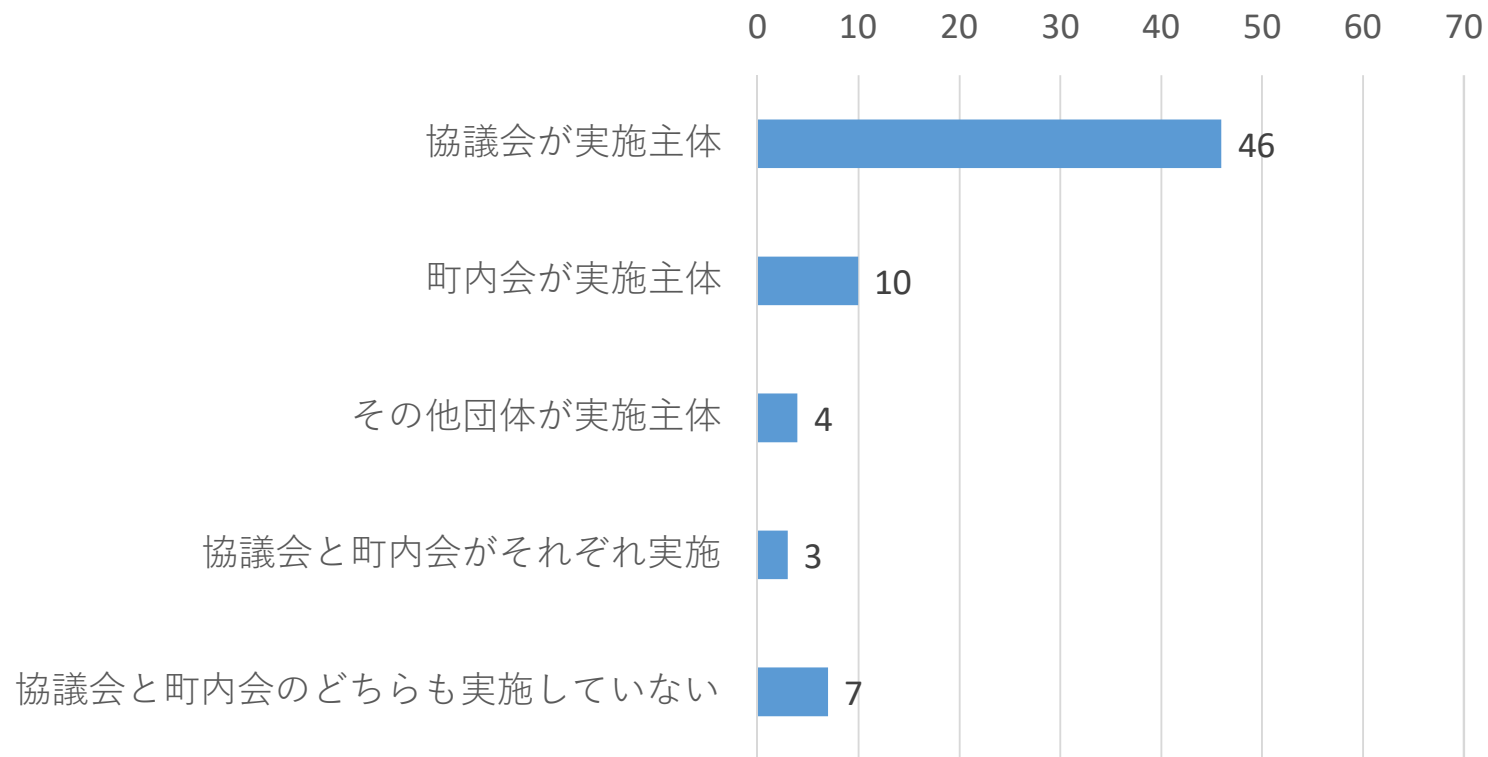
# 24.活動の実施主体 【十五夜】

【N = 70】



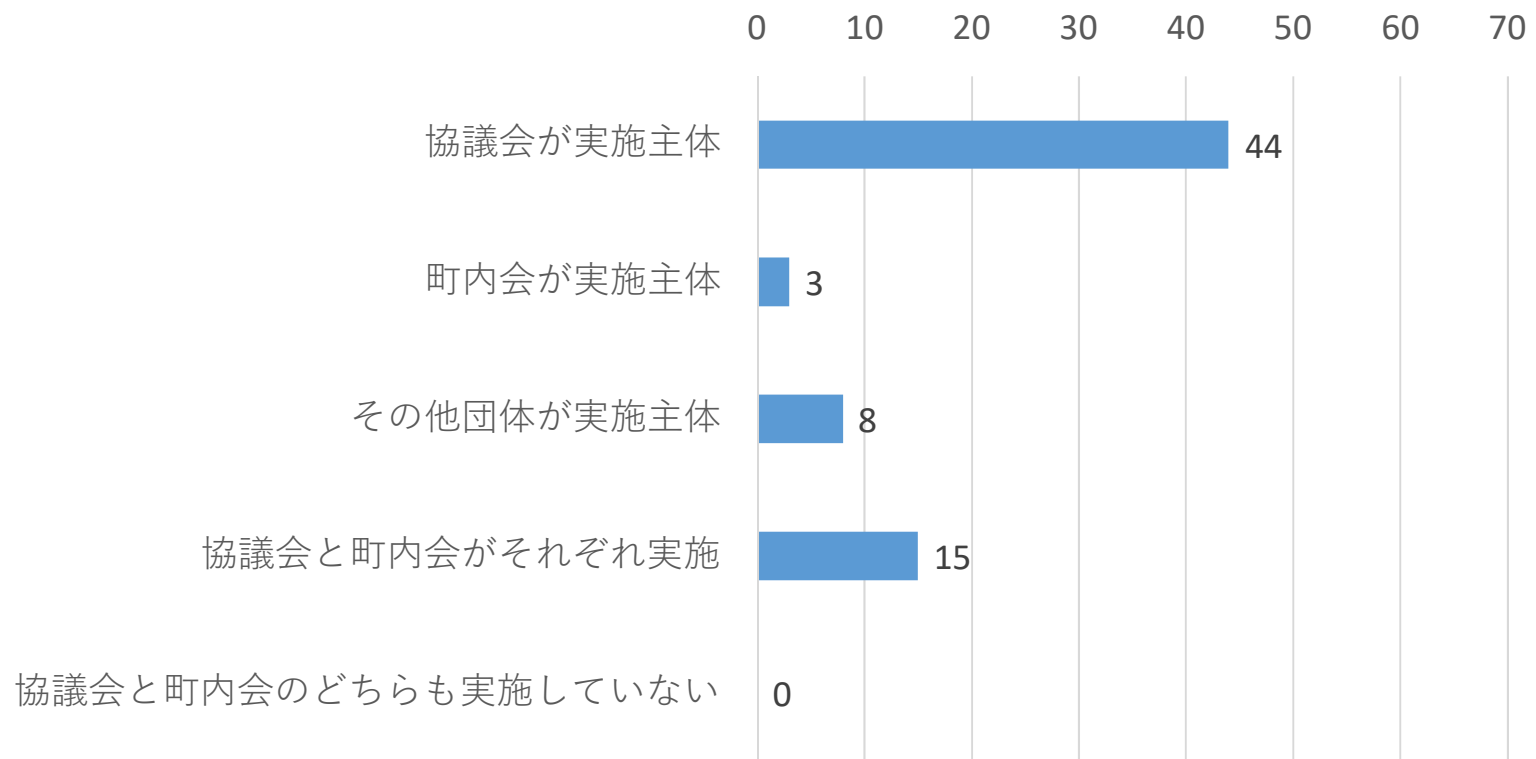
# 24.活動の実施主体 【運動会】

【N = 70】



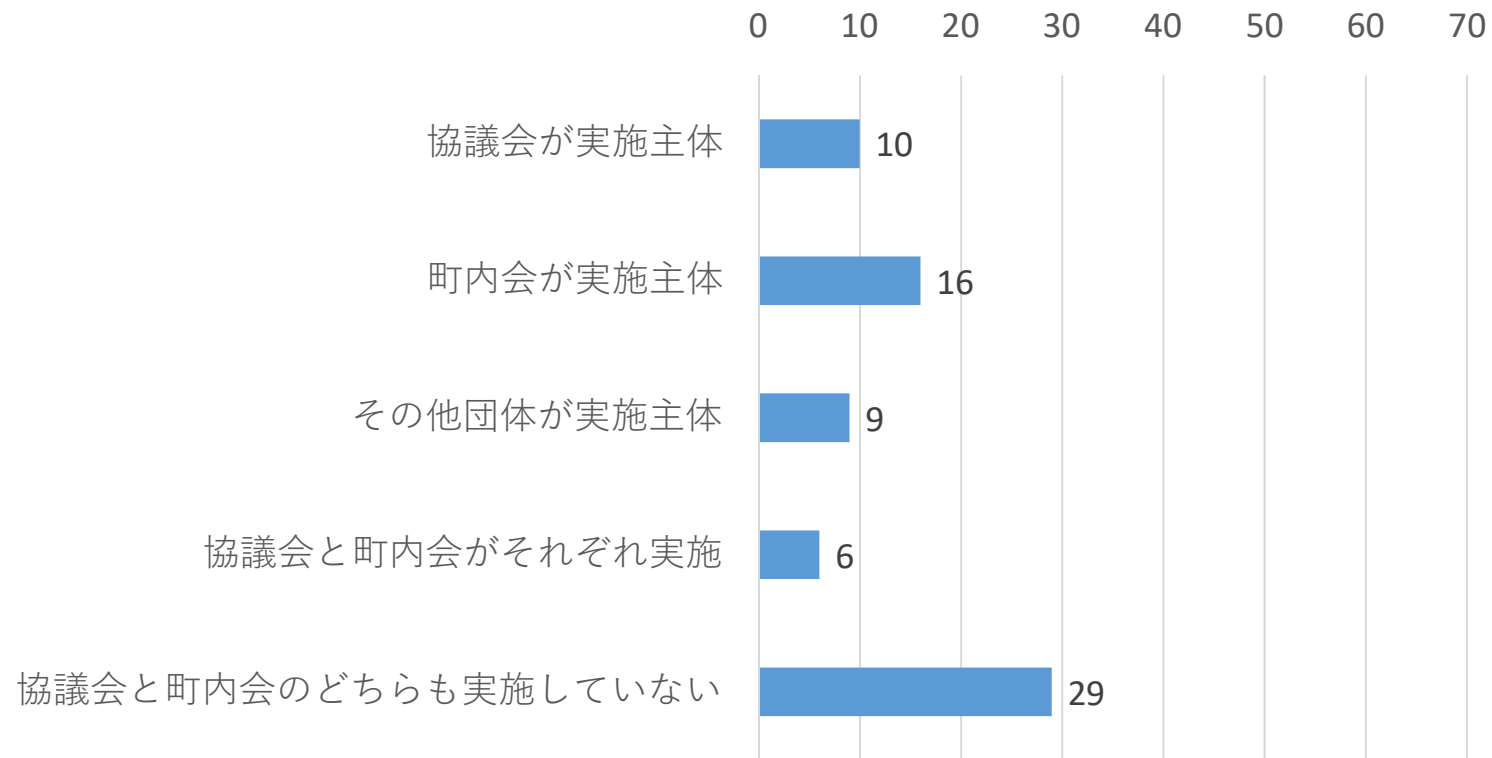
# 24.活動の実施主体 【各種スポーツ大会】

【N = 70】



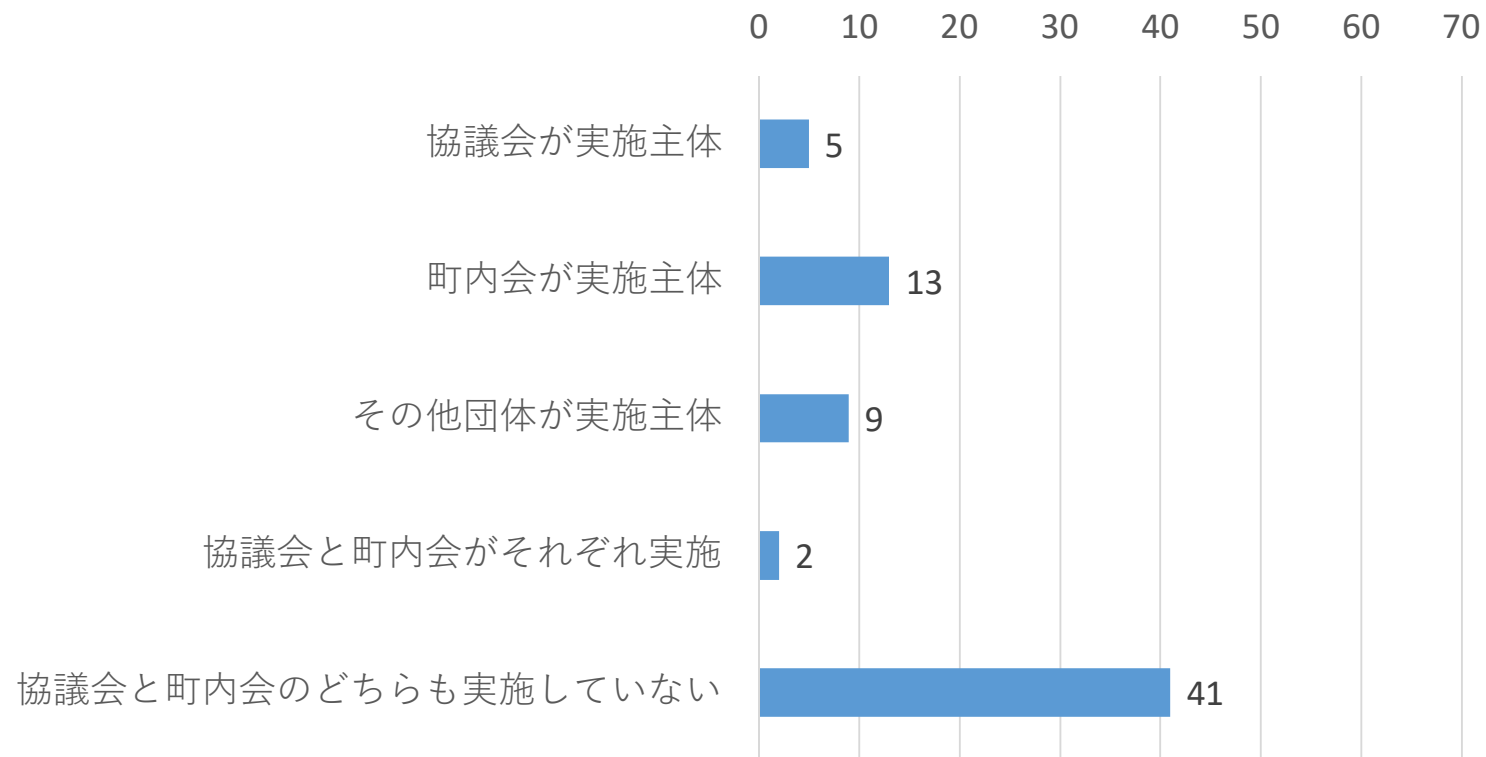
# 24.活動の実施主体 【親睦旅行】

【N = 70】



# 24.活動の実施主体 【おはら祭】

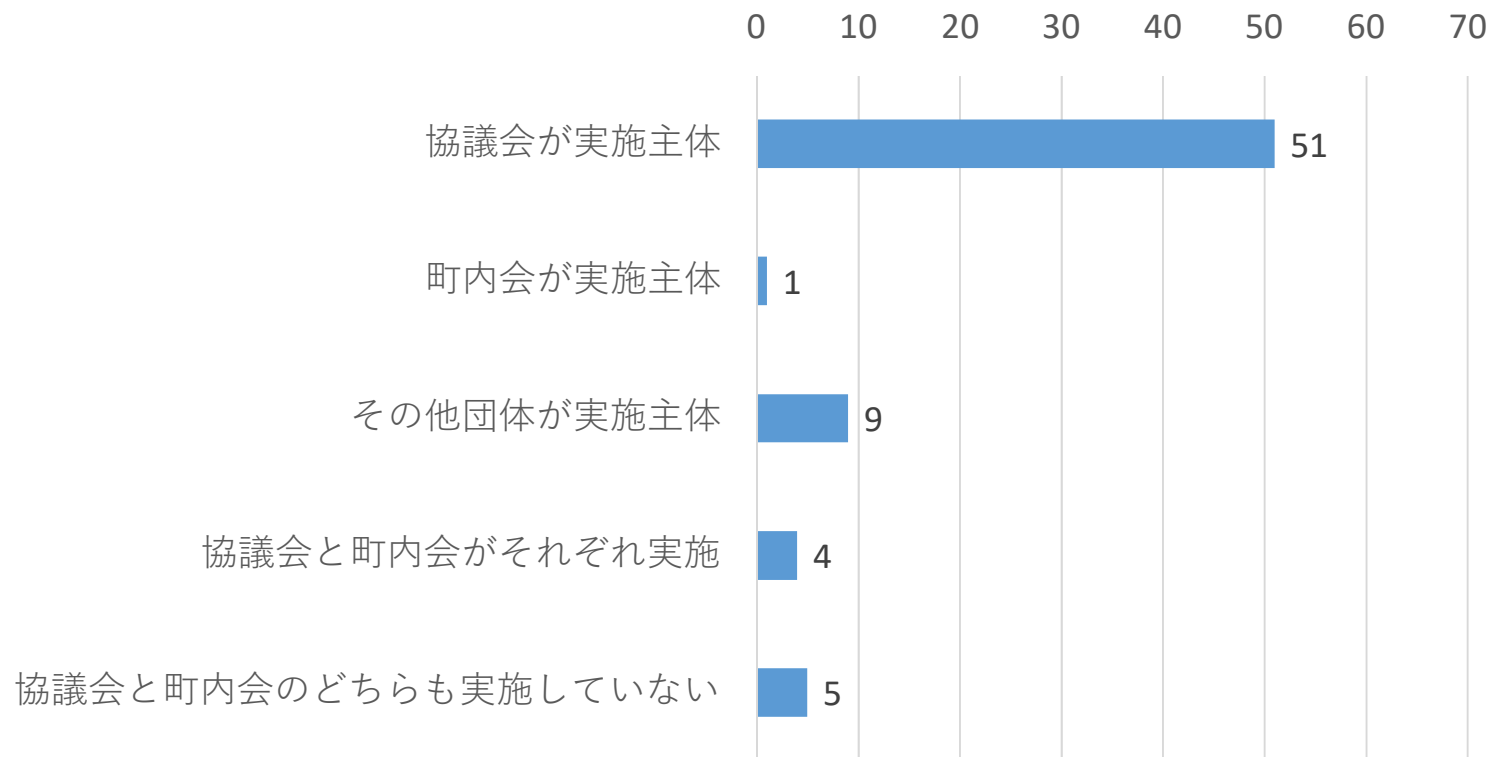
【N = 70】





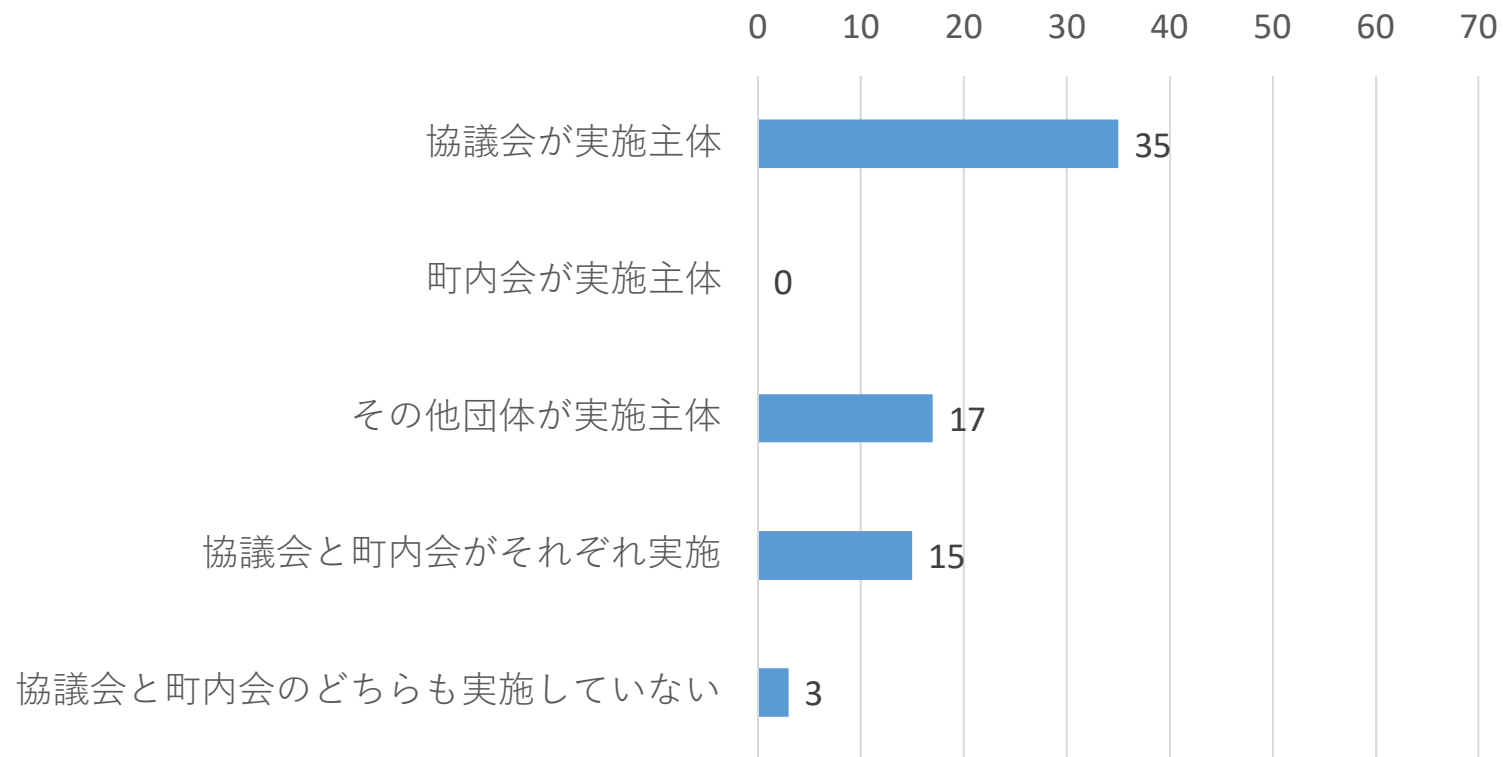
# 24.活動の実施主体 【文化祭】

【N = 70】



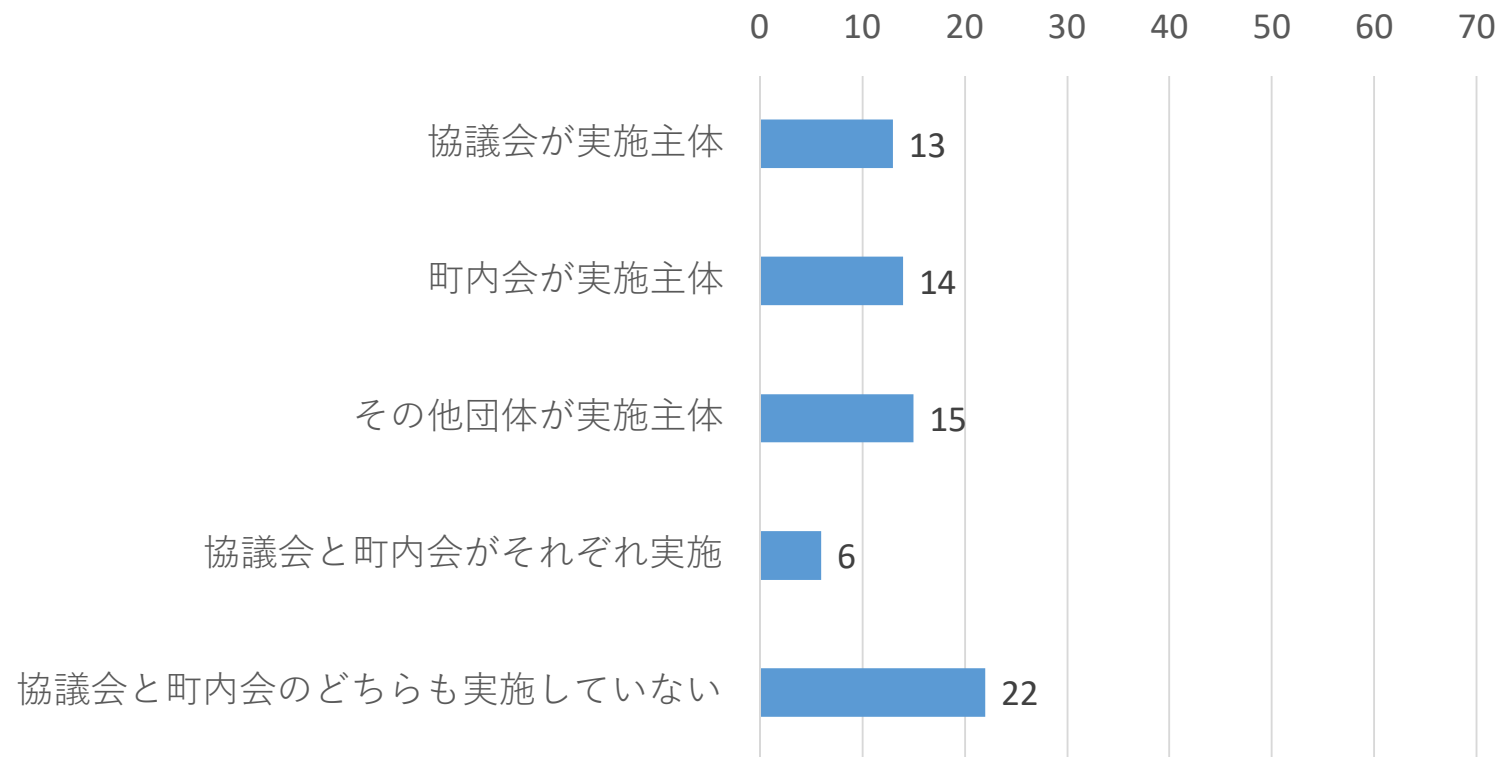
# 24.活動の実施主体 【各種講座・教室】

【N = 70】



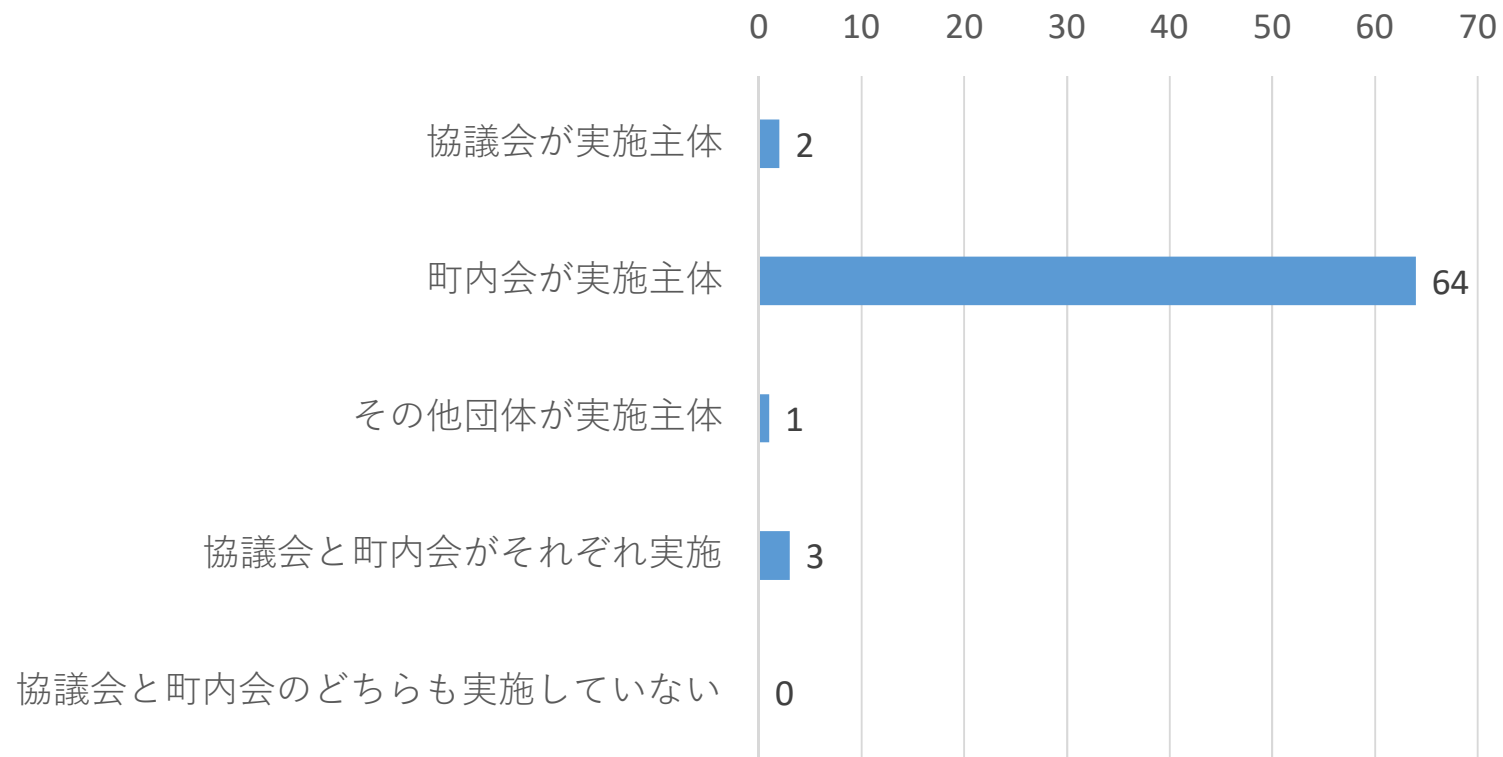
# 24.活動の実施主体 【伝統芸能の継承】

【N = 70】



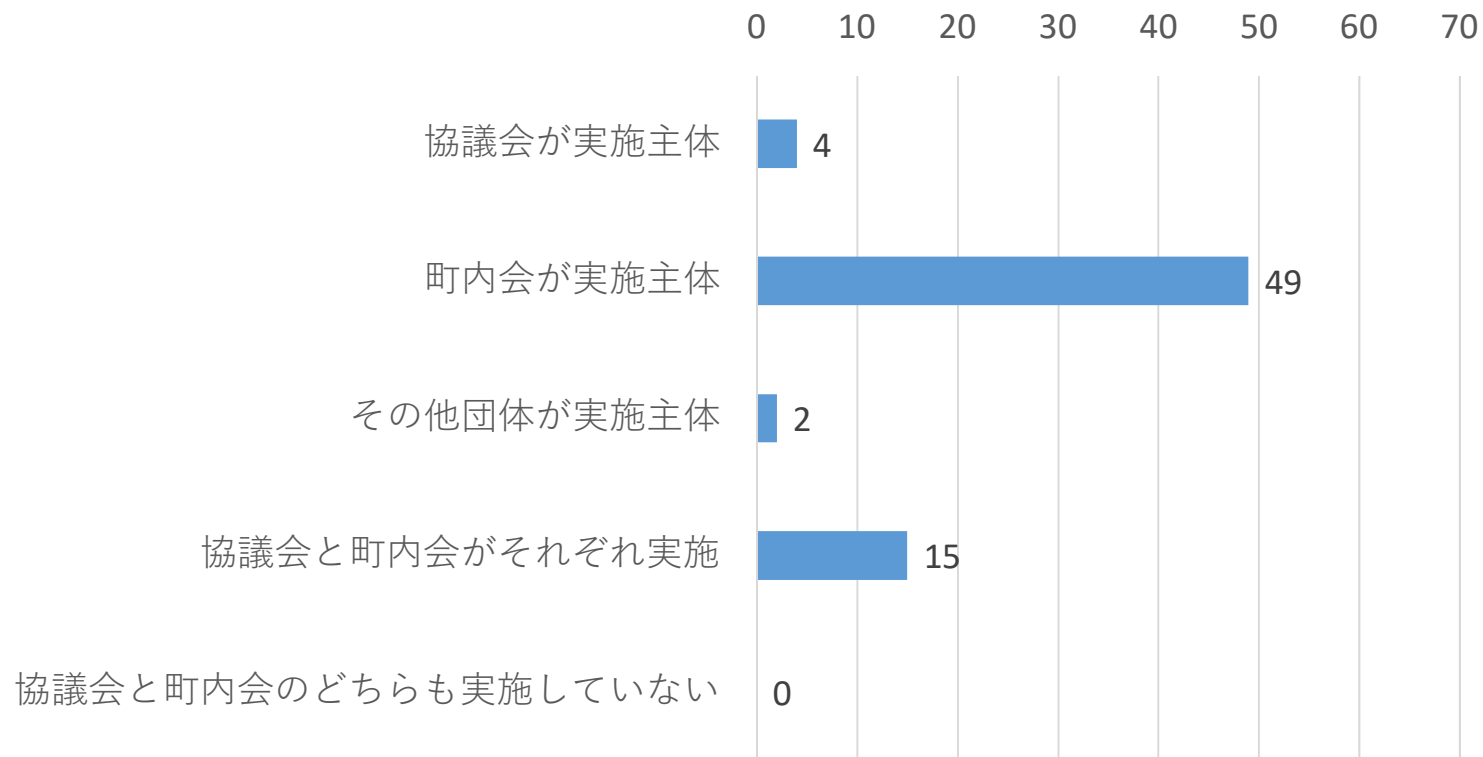
# 24.活動の実施主体 【ごみステーションの維持管理】

【N = 70】



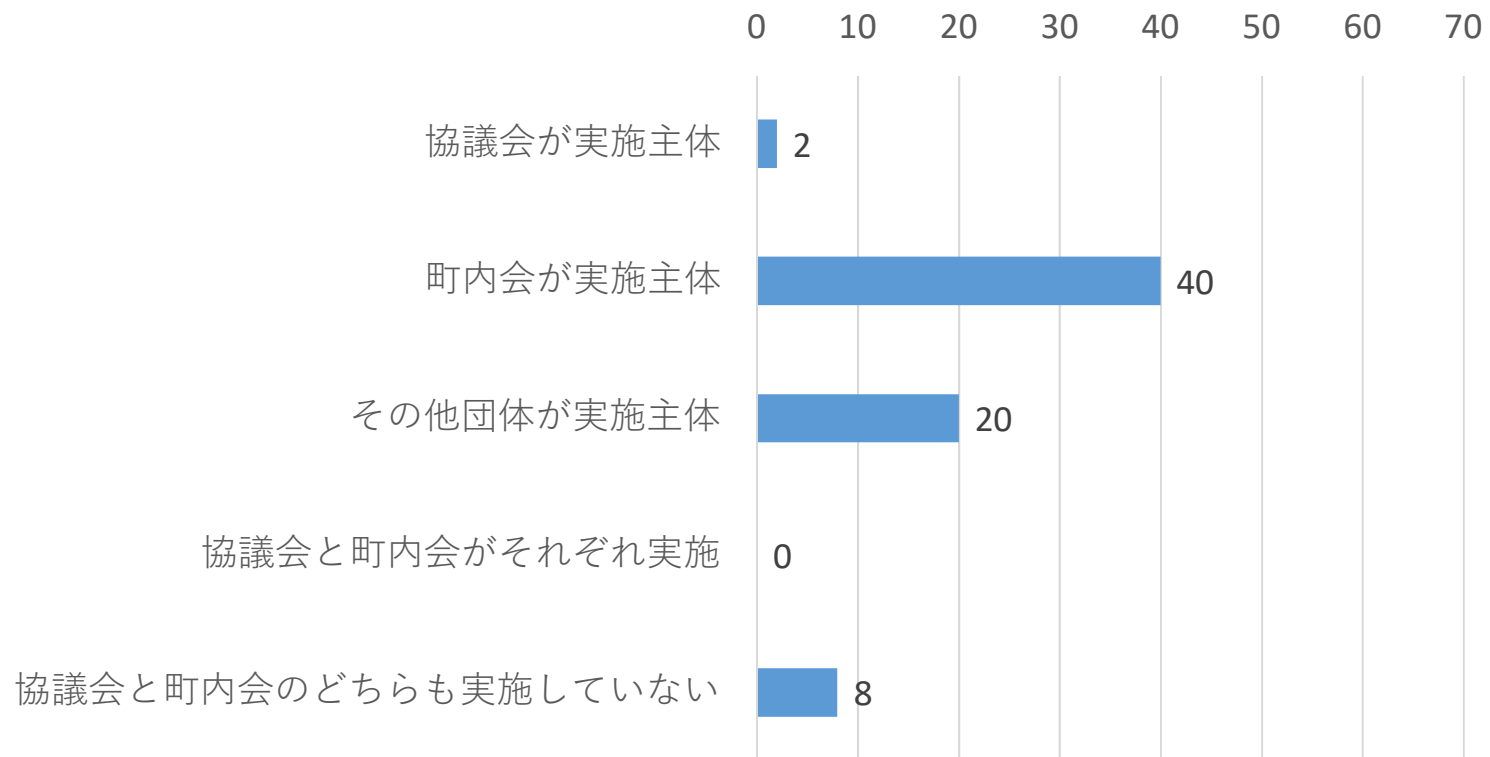
# 24.活動の実施主体 【町内（校区内）清掃】

【N = 70】



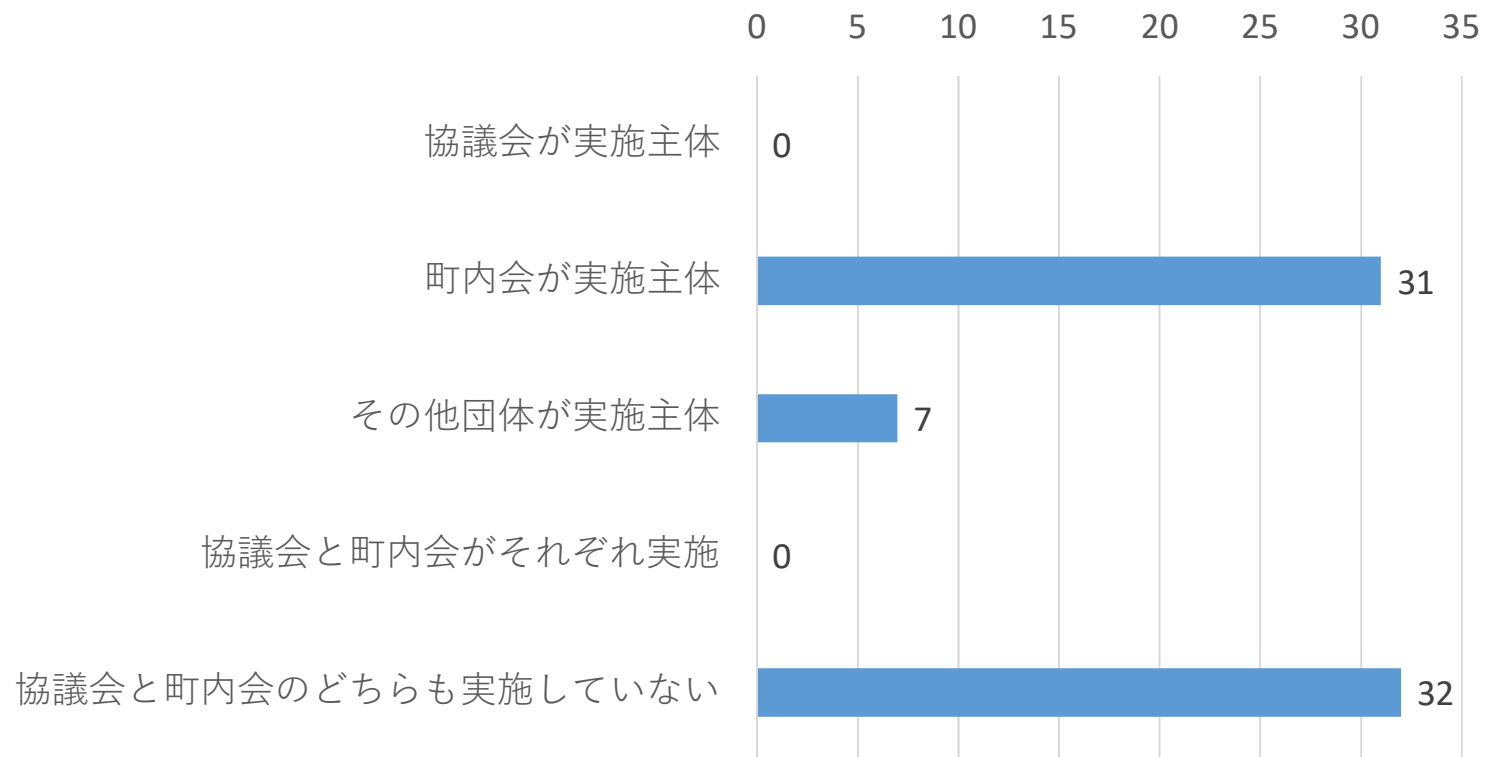
# 24.活動の実施主体 【資源ごみ回収】

【N = 70】



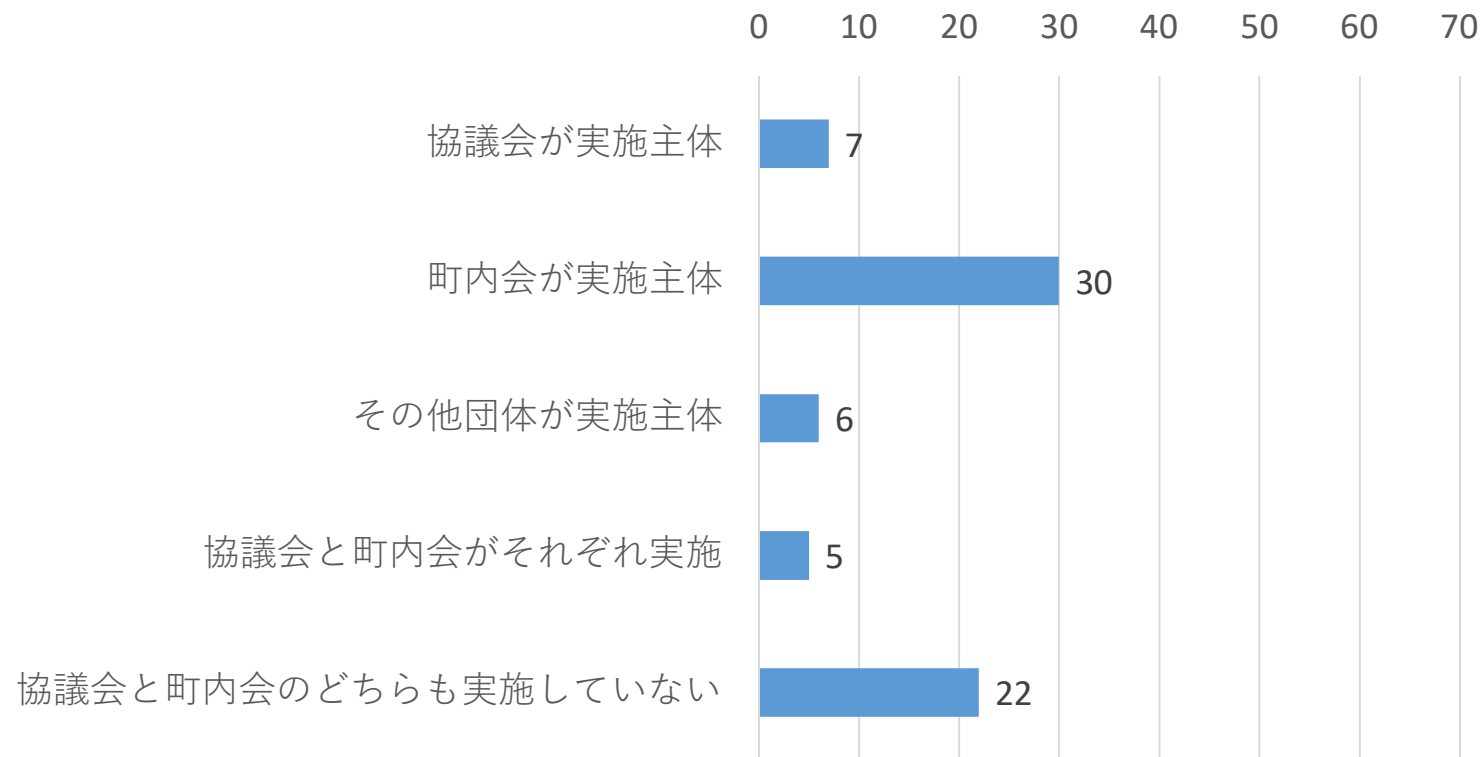
# 24.活動の実施主体 【薬剤散布】

【N = 70】



# 24.活動の実施主体 【緑化活動】

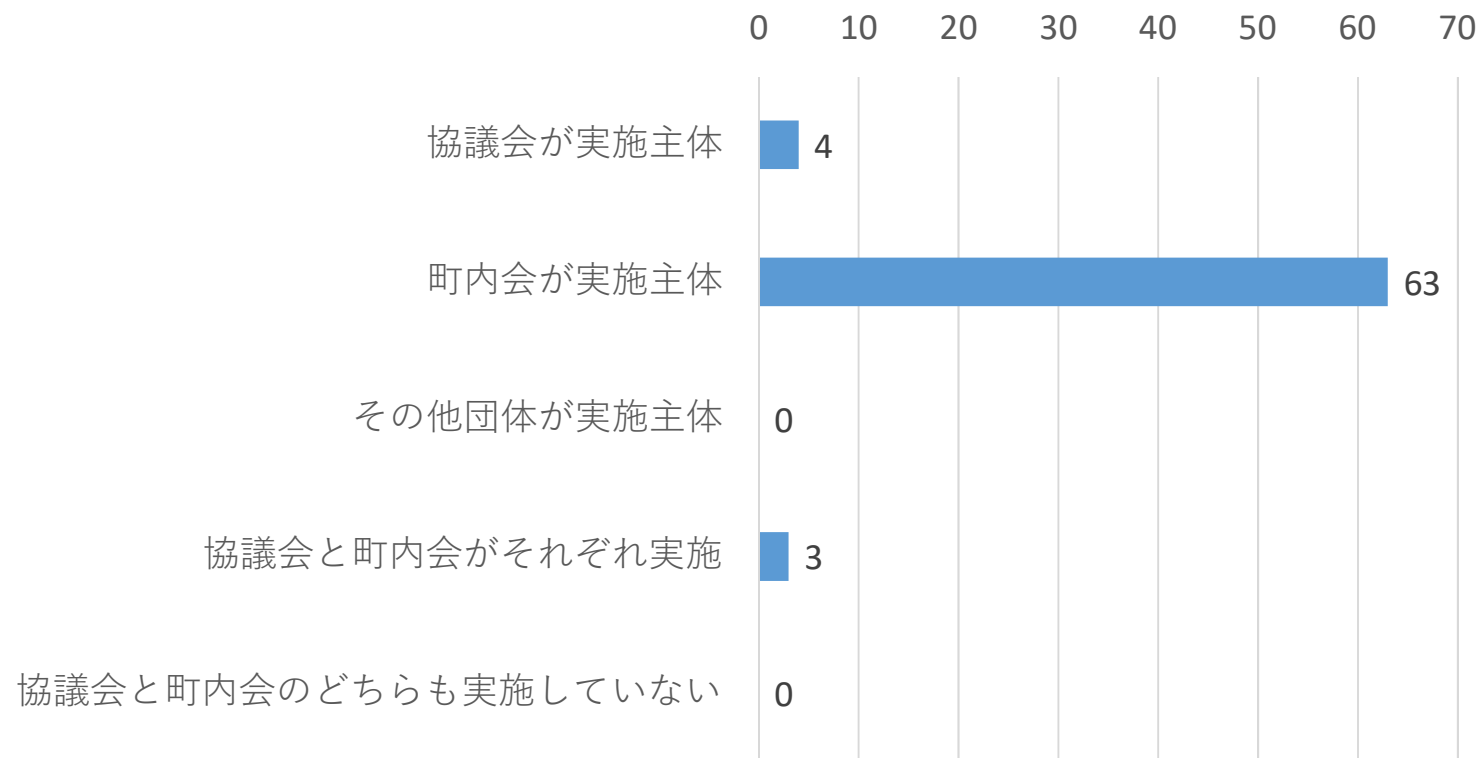
【N = 70】





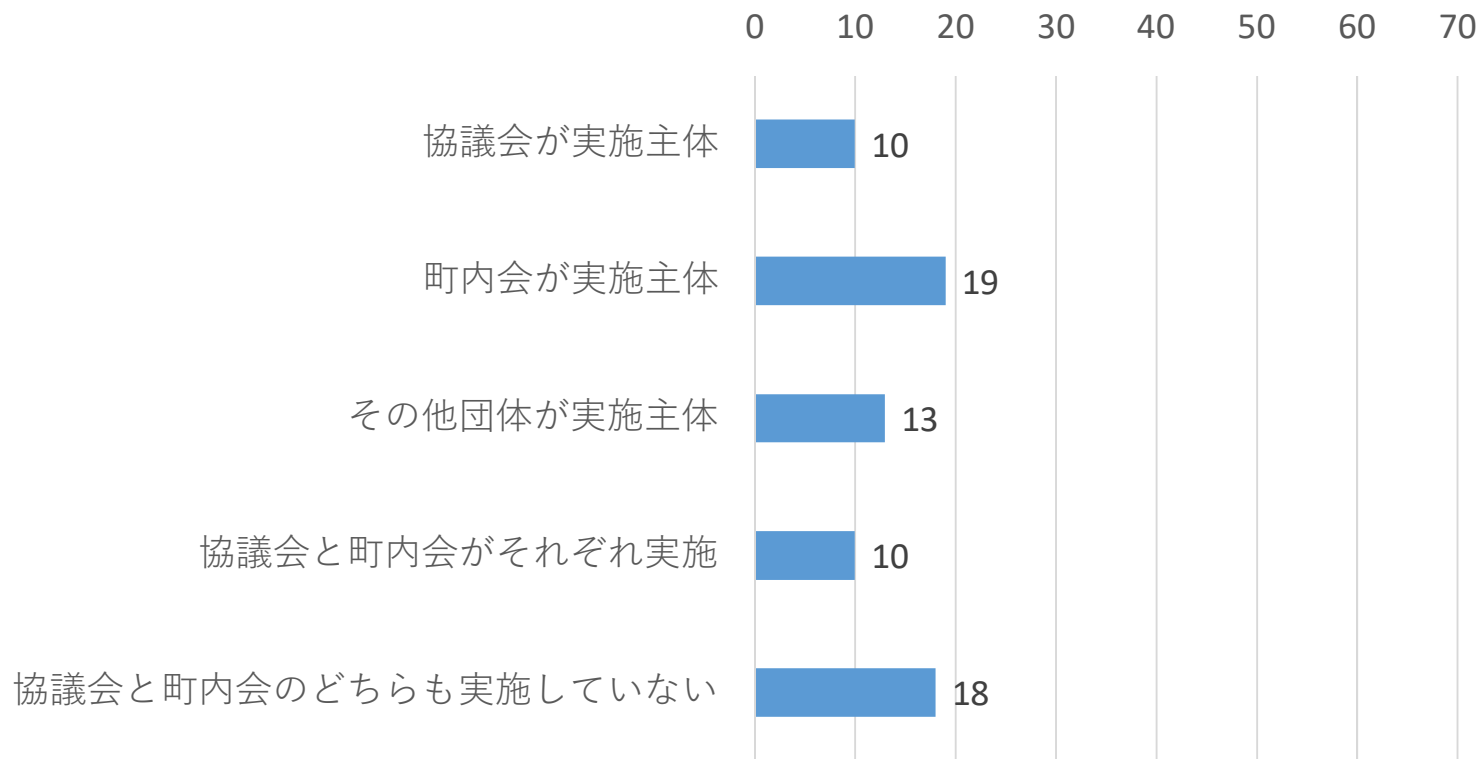
# 24.活動の実施主体 【防犯灯の維持管理】

【N = 70】



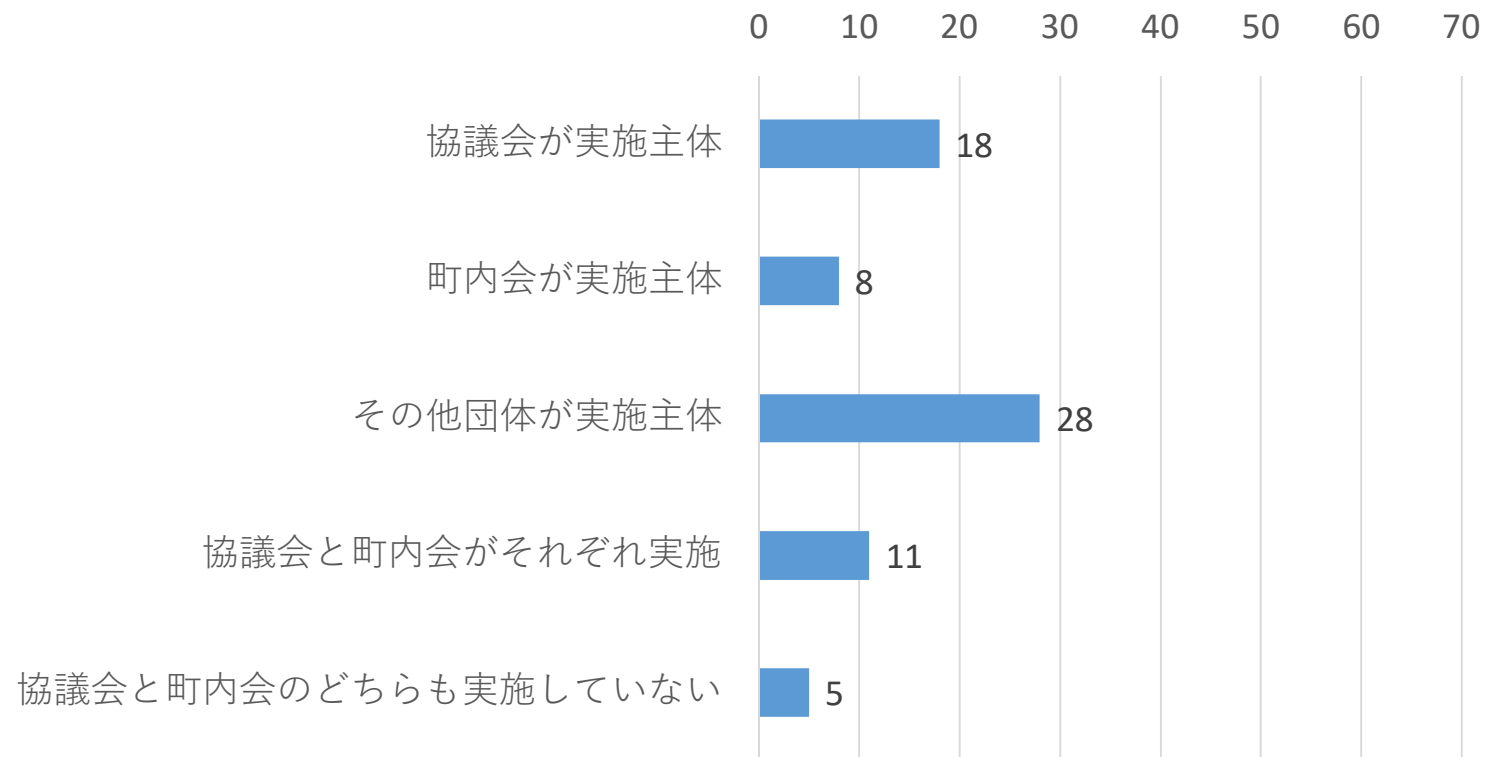
# 24.活動の実施主体 【夜警・夜回り】

【N = 70】



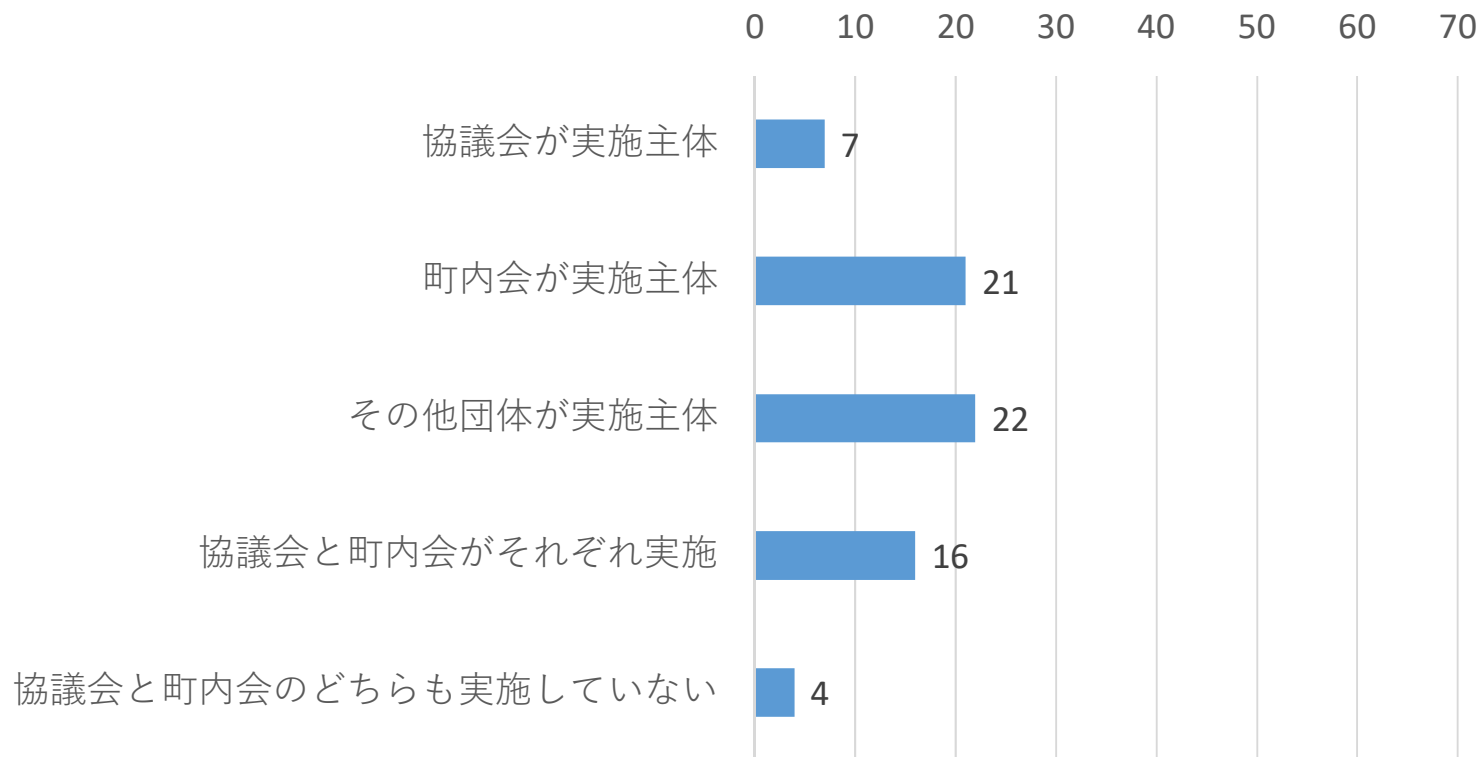
# 24.活動の実施主体 【交通安全指導】

【N = 70】



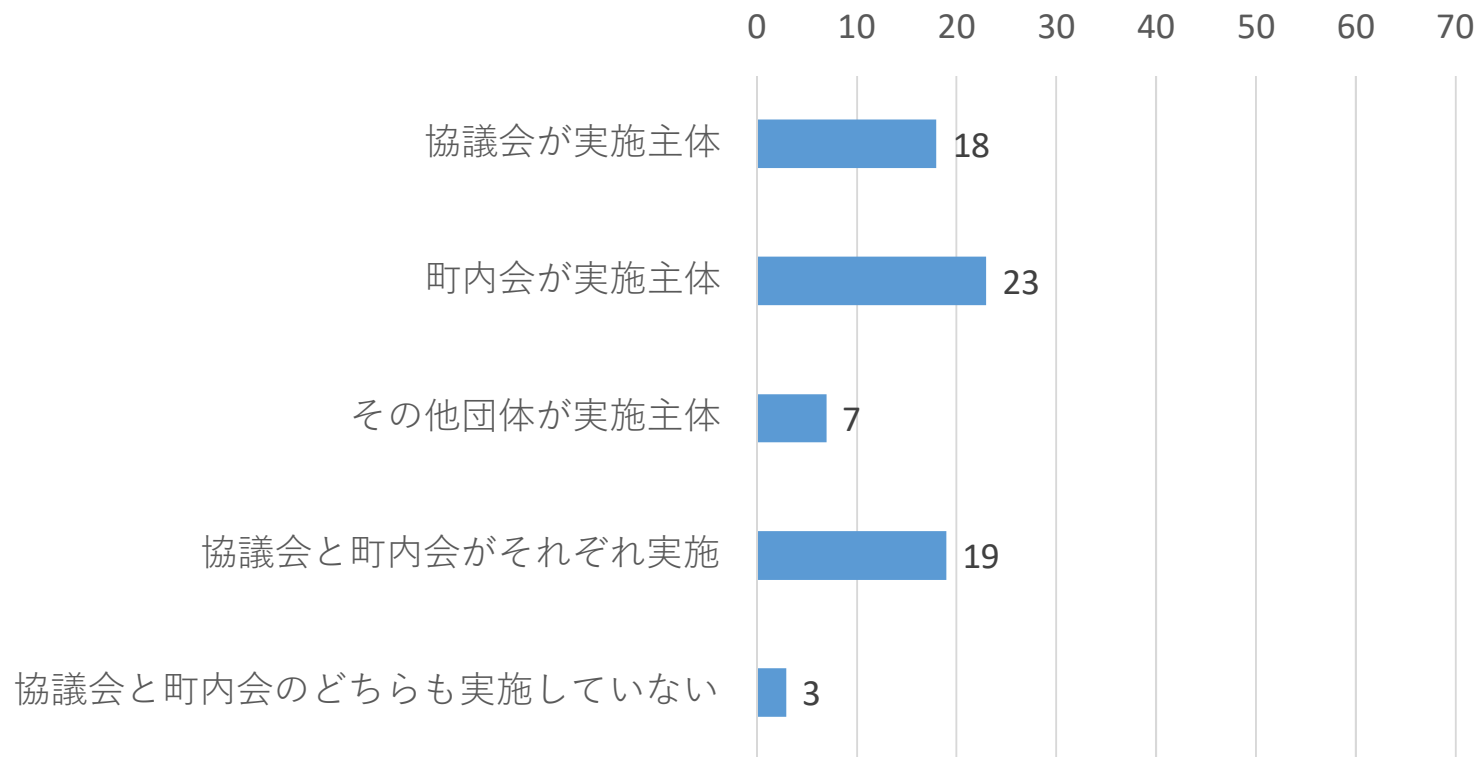
# 24.活動の実施主体 【消防訓練】

【N = 70】



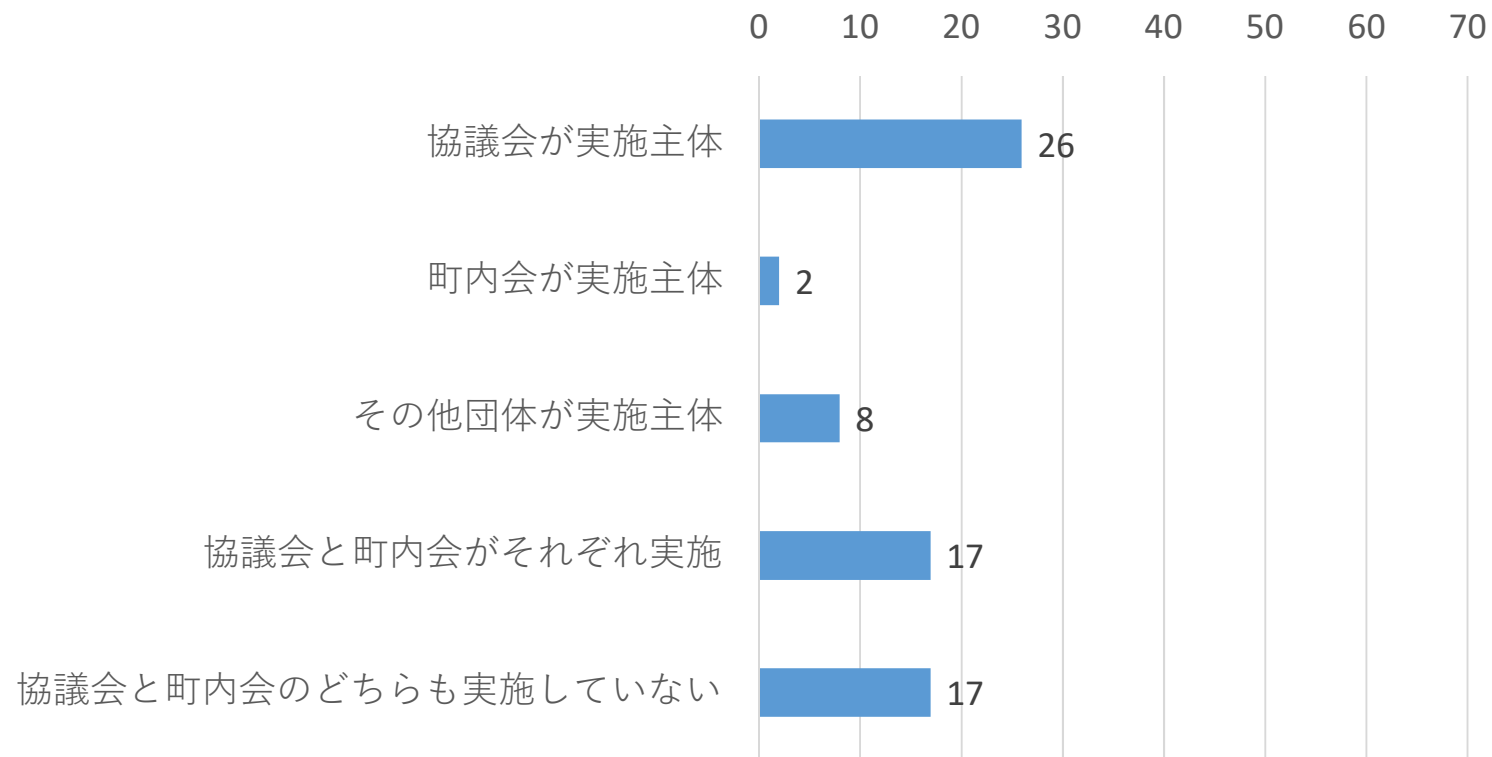
# 24.活動の実施主体 【防災訓練】

【N = 70】



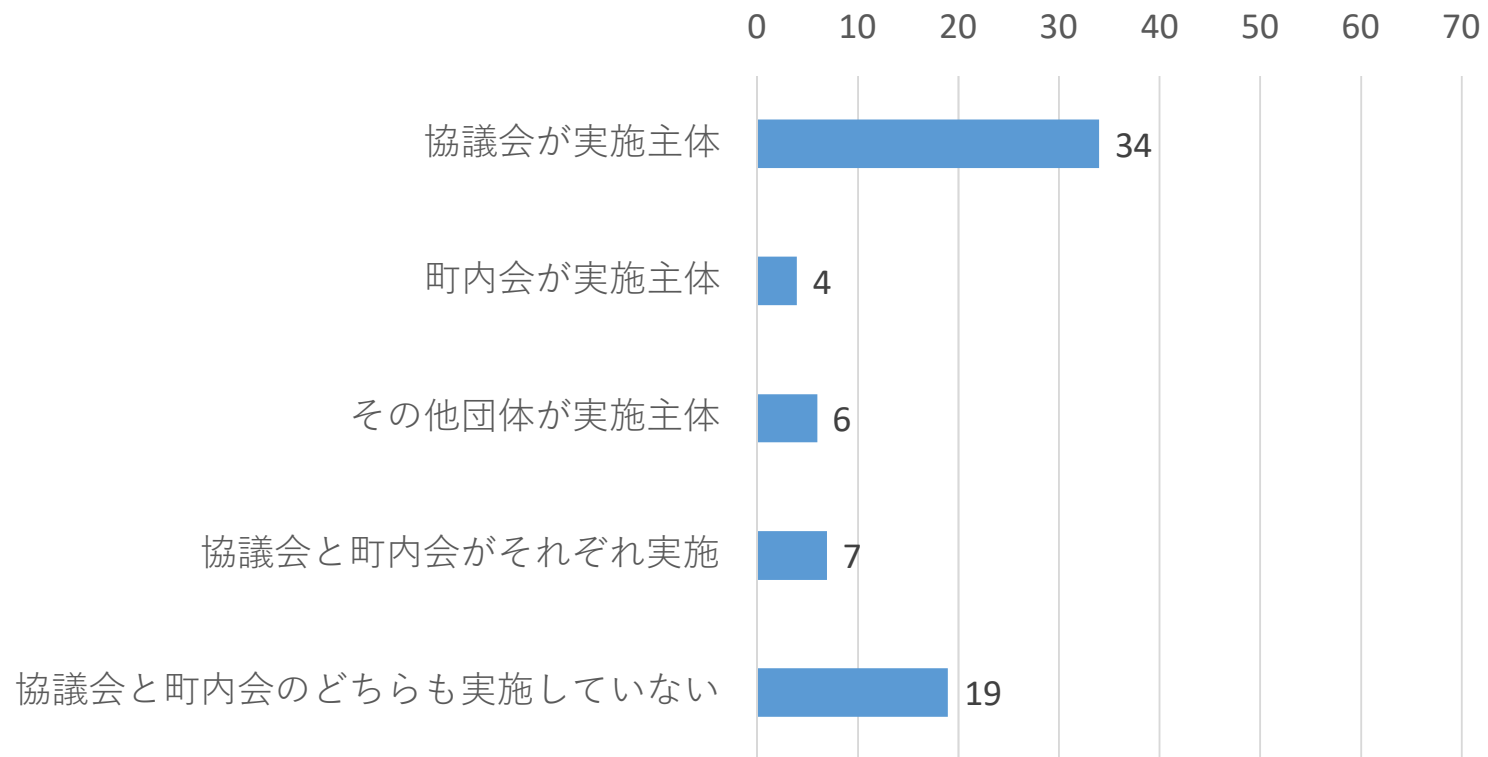
# 24.活動の実施主体 【役員研修】

【N = 70】



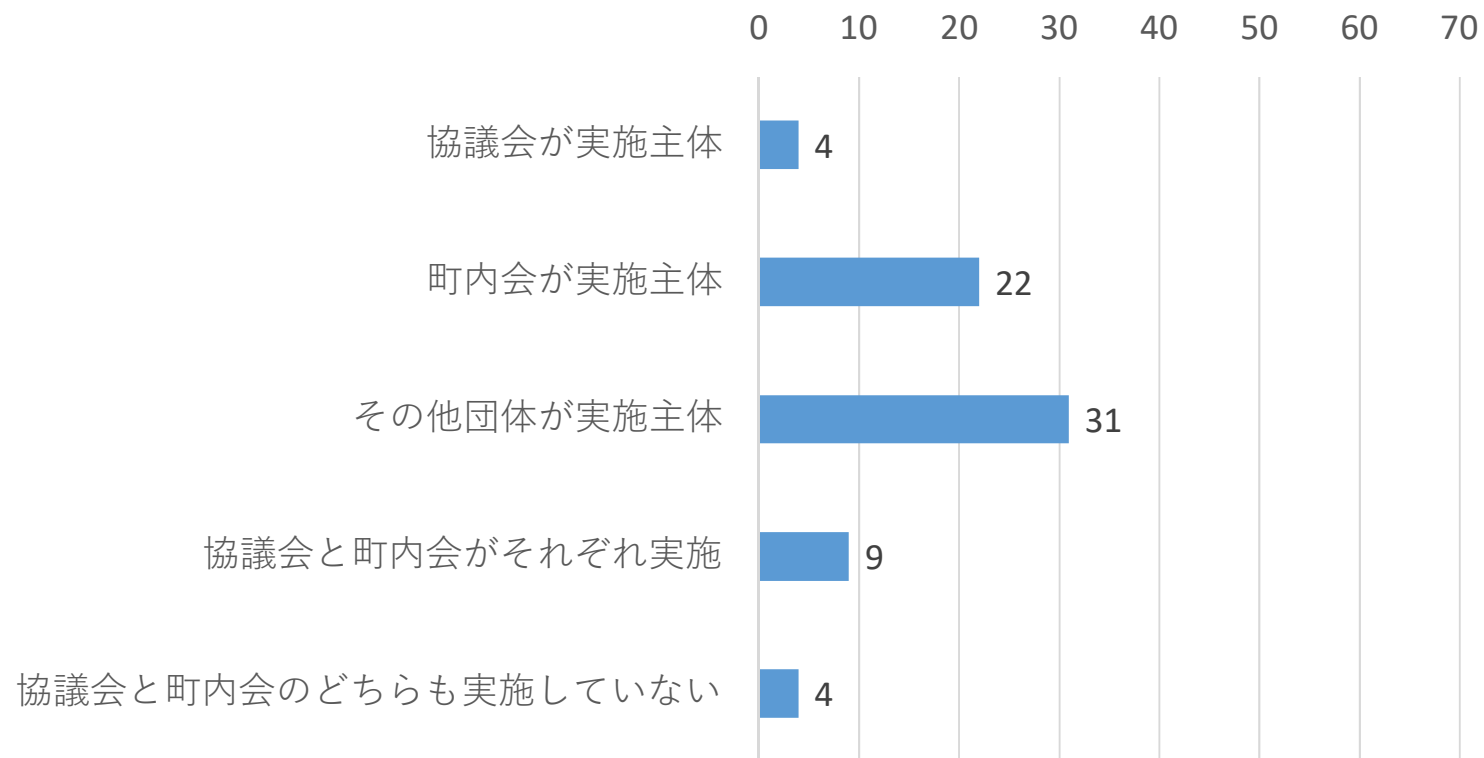
# 24.活動の実施主体 【まち歩き】

【N = 70】



# 24.活動の実施主体 【高齢者慰問・声かけ】

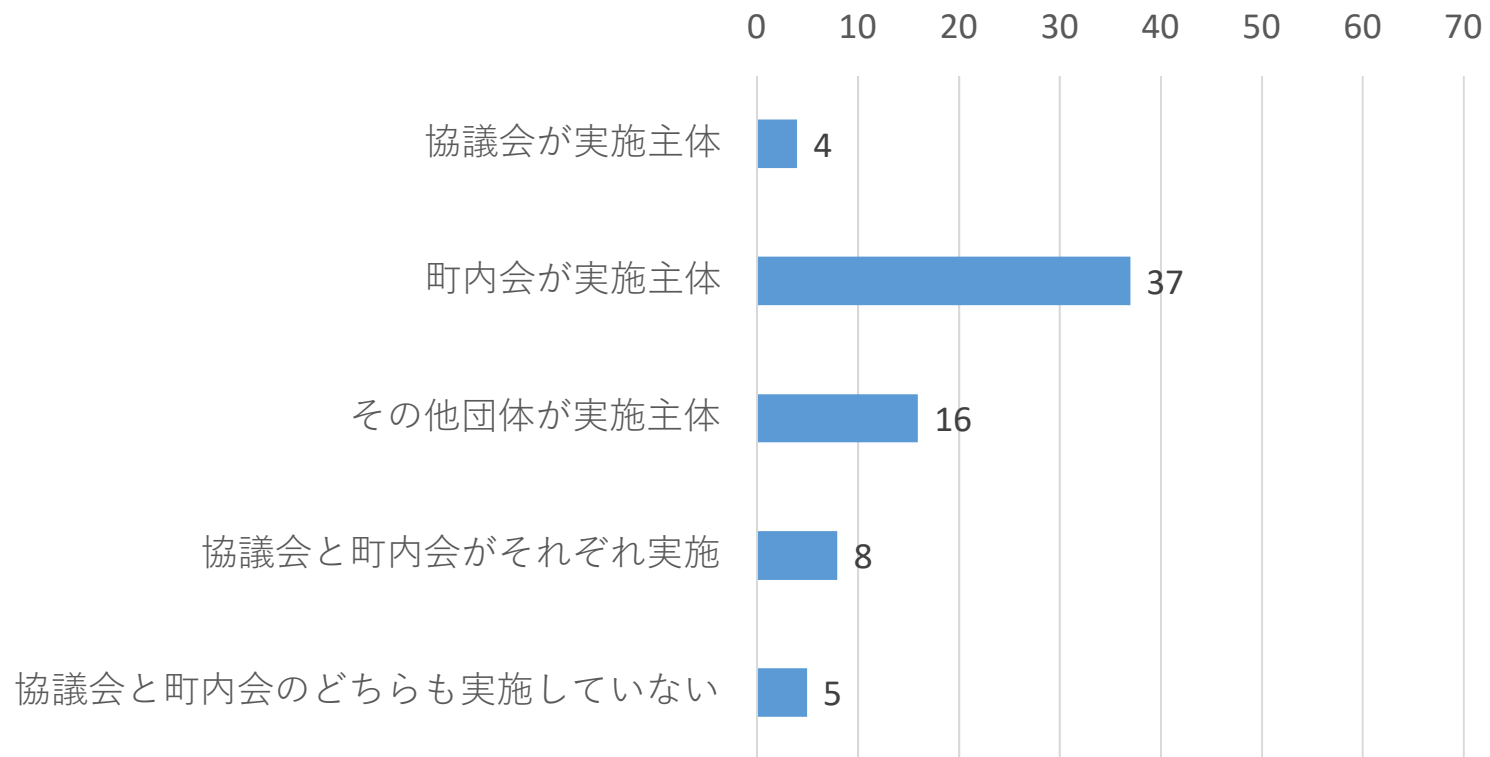
【N = 70】





# 24.活動の実施主体 【募金活動】

【N = 70】



# 24.活動の実施主体 【福祉に関する講座】

【N = 70】

